



淡路島 NEXT STAGE

～革新が伝統を創る～

2015 **JCI**  TM
一般社団法人淡路青年会議所
Junior Chamber International Awaji

一般社団法人 淡路青年会議所

2014 年度事業報告並びに決算報告書

2014 年度理事長 原田 啓行

1.	理事長報告	1
2.	副理事長	3
3.	専務理事報告	4
4.	諸会議報告	5
5.	委員会事業報告	12
6.	委員会別事業決算明細	26
7.	直前理事長報告	34
8.	出向報告	35
9.	監事報告	46
10.	会員動向	47
12.	役員名簿	49
13.	出向者一覧	50
14.	組織及び委員会構成	51
15.	褒賞	52
16.	決算報告	53
17.	監査報告	65
18.	資料	66

2015 年度事業計画並びに収支予算書

2015 年度理事長 平川 智己

1.	理事長所信	96
2.	基本方針	99
3.	副理事長抱負	100
4.	専務理事抱負	101
5.	監事抱負	102
6.	委員長・室長事業計画並びに予算及び役割業務	103
7.	出向者抱負	117
8.	一般会計収支予算	121
9.	役員名簿	125
10.	出向者一覧	126
11.	組織及び委員会構成	127
12.	年間スケジュール	128
13.	公益社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫7 th ブロック協議会組織図	129

2014年度

事業報告書

2014年1月1日～2014年12月31日

一般社団法人淡路青年会議所

**一 般 社 団 法 人
淡 路 青 年 会 議 所**

2014 年度 スローガン

妥協なき挑戦！

～新たなる 1 ページを刻むために～

2014 年度 基本方針

- 一、助け合いの心を大切にする
- 一、思考を深め本質を追及する
- 一、勇気が必要な道を選択する

1. 理 事 長 報 告



淡路 JC の第 52 代理事長という立場をいただき、諸先輩方並びにメンバー、そして多くの方々にご助力いただき、1 年間で全う出来ましたことを心より感謝申し上げます。ありがとうございました。リーダーとして組織の方向性、なすべきこと、ビジョンを指し示していく立場ではありましたが、振り返ってみると、ただただ勉強をさせて頂いたという印象が強く残っています。

本年はスローガンといたしまして「妥協なき挑戦！～新たなる 1 ページを刻むために～」を掲げさせて頂きました。予定者段階から 12 月例会～新たなる旅路へ～まで本当にいろいろな事があり、短いようで長い、長いようで短い 1 年 5 か月でありました。

本年度の重要な活動の一つとして「拡大活動」があげられます。近年の会員の減少傾向の中で何としてもその現状を打破したいとの思いから拡大戦略会議を設け、議長を池澄彦君にお願いし「個」の力だけに頼らず、拡大活動を戦略的に運営していくシステムの構築を目指しました。また、本年度は新たな試みとして入会金無料、入会から半期会費無料を実施し、出来る限り入会を阻害する要因を排除致しました。まさに背水の陣で臨む拡大活動であったと感じております。拡大活動もまちづくりの一環であるとの思いを持ち拡大目標を 30 名と掲げ一年間戦略的に拡大活動を展開してまいりました。残念ながら目標数には達する事ができませんでしたが、ここ数年ではもっとも多い新入会員を獲得できました。

また本年度の社会開発事業として「日本のふるさと淡路島～はじまりの地からのメッセージ～」を 10 月 26 日にしづかホールにて開催させて頂きました。私たちの愛する淡路島の唯一無二の絶対価値である「はじまりの地」をテーマに伊弉諾神宮 宮司 本名孝至氏による基調講演や「古事記」、「日本書紀」に書かれている国生み神話を題材にしたアニメーションを作成し、フォーラム内で上映したほか島内外を問わず多くの方に見てもらおうとインターネット動画投稿サイトなどでも発信する事業を展開してまいりました。またアニメーションと解説編映像も合わせて作成し、DVD にして島内三市、教育関係、観光関係及び関係各団体などにも足を運び配布させて頂きました。淡路島という地域の持つ特色をより多くの方々に認識して頂けたものと確信しております。またフォーラム内では、9 月 1 日より実施した「未来の淡路島 絵画・作文コンクール」の作品展示及び表彰式も行いました。子どもならではの自由な発想で描いた淡路島はどれも魅力的で素晴らしいものでありました。

この 1 年、理事長として多くの事を経験させて頂きました。あらためて思いを深めたこと。それは「すべては繋がっている」という事です。JC 活動も、仕事も、家庭も、遊びも、すべて根っこの部分で繋がっています。人生という大きな枠組みの中ですべてが内包されているといったイメージです。その同心円状の真ん中に、自分の生き様、いわゆる自分の哲学があるのだらうと思います。

また、組織運営において、きびしい言葉を発することも多々ありましたが、「関心のない相手や物事に対し、感情が動くことはない」ということに、あらためてご理解とご容赦をいただきたいと思います。1年間の活動内容を振り返り、心残りが無いといえば嘘になりますが、委員長の皆様方をはじめ、一人ひとりが、自らの持てる力を振り絞っていただいた事がなによりと感じます。

その中での反省を今後のJC活動、ひいては今後の人生にお役立ていただけたらと思います。残念ながら青年会議所は誰もが40歳で卒業を迎えます。この2014年度で経験した事全てが私にとってかけがえのない財産であります。1年間お世話になった方々に対しあらためて深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

2. 副 理 事 長 報 告

副理事長 廣井 公壽 平川 智己 三倉 克仁



まず初めに副理事長という大役を頂いたことを、原田理事長はじめ、関係者の皆様に改めてお礼申し上げます。

2014年度は3名の副理事長で、理事長の掲げる「妥協なき挑戦～新たなる1ページを刻む～」のスローガンの下、副理事長としてどうするべきかを十分に考え議論し、各委員会には方向性がぶれる事無く、緻密な事業になるように指導を行いました。しかしながら、思惑通りに進んだ事業、そうでなかった事業もあったと思います。我々が今年度、挑戦し得た経験は淡路JCの宝として次年度へと引き継がれていくと信じ、今後も伝播してまいります。

最後に、1年間関わっていただいたメンバーの皆様にあらためて感謝申し上げます報告とさせていただきます。

3. 専務理事報告

専務理事 高津 知也



2014 年度一般社団法人淡路青年会議所において組織の根幹を支える専務理事の重責を拝命いたしました。不測事態により思わぬ形での役職ではありましたが、原田理事長はじめ理事会構成者並びにメンバー諸兄の多大なるご協力のもと職務を全うすることができました。感謝申し上げます。

専務理事として、法人法上の業務遂行理事として日常の業務を行っていくうちに、不測の事態も想定し、常に先を読むことでコンセンサスを図り、広い視野で多角的に判断することの大切さを教えていただくと共に、他 LOM、特別会員、他団体と様々な連絡調整を続けていくうちに、青年会議所活動の意義や目的を再認識することができました。

本年度、組織の中で活動させていただく中で、至らぬ点もありましたが、様々な経験と気づきを得ることができました。また、時には厳しく接する事もあったかと思えます。これも全て組織が円滑に活動できることを思っただけの事とご理解頂きたいと思えます。

最後になりますが、ご指導・ご鞭撻をいただいた皆様に、心より感謝申し上げます。専務理事としての報告とさせていただきます。1年間ありがとうございました。

4. 諸 会 議 報 告

一般社団法人淡路青年会議所 第2回定時総会

2014年1月8日(水)於 夢泉景

出席者 30名 書面評決 19名 委任状 0名

- 第1号議案 定款変更の件
- 第2号議案 除名に関する件
- 第3号議案 2013年度事業報告承認に関する件
- 第4号議案 2013年度正味財産増減決算報告承認に関する件
- 第5号議案 2014年度正味財産増減修正予算承認に関する件

一般社団法人 淡路青年会議所 第3回臨時総会

2014年8月6日(水)於 洲本市文化体育館

出席者 29名 書面評決 22名 委任状 0名

- 第1号議案 2015年度 理事予定者承認に関する件
- 第2号議案 2015年度 監事予定者承認に関する件

一般社団法人 淡路青年会議所 第3回定時総会

2014年12月10日(水) 於 夢海游 淡路島

出席者 27名 書面評決 24名 委任状 0名

- 第1号議案 2014年度 預かり金処分に関する件
- 第2号議案 2014年度 正味財産増減決算報告承認に関する件
- 第3号議案 2015年度 組織構成及び委員会構成に関する件
- 第4号議案 2015年度 出向者に関する件
- 第5号議案 2015年度 正味財産増減予算に関する件
- 第6号議案 2015年度 事業計画に関する件
- 第7号議案 2015年度 例会・総会日時に関する件
- 第8号議案 2015年度 預かり金に関する件

理事会報告

月 日	内 容	場 所
1. 8 (水)	<p>1 月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 理事長、副理事長及び専務理事選任の件 (2) 2013 年度事業報告の件 (3) 2013 年度正味財産増減決算報告の件 (4) 新入会員承認の件 (5) 新入会員配属の件 (6) 定款変更の件 (7) 除名の件 (8) 休会者の件 (9) 一般社団法人淡路青年会議所運営規定変更の件 (10) 一般社団法人淡路青年会議所庶務規定変更の件 (11) 2014 年度正味財産増減修正予算承認に関する件 (12) 2014 年度会費徴収の件 (13) 対内広報紙発行の件 (14) 1 月例会～新たなる羅針盤を手に入れる～の件 (15) 第 2 回定時総会提出議案の件 (16) 第 2 回定時総会設営の件 (17) 新年会の件 (18) 総合資料作成の件 (19) 会員名簿作成の件 <p>【協議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 2 月例会の件～今こそ拡大の時～の件【2/2】 (2) 3 月例会～新たな自分を切り開く～の件【1/2】 (3) 兵庫ブロック協議会 LOM 役員懇談会の件【1/2】 	夢海游 淡路島
2. 5 (水)	<p>2 月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 2 月例会～今こそ拡大の刻～の件 (2) 兵庫ブロック協議会 LOM 役員懇談会の件【一部審議】 <p>【協議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 3 月例会～新たなる自分を切り拓く～の件【2/2】 (2) 4 月例会～今、必要な道徳とは～の件【1/2】 (3) 研修事業～Pride of Awaji Jaycee～の件【1/2】 (4) 第 20 回わんぱく相撲淡路場所の件【1/2】 	夢海游 淡路島
3. 5 (水)	<p>3 月理事会</p>	夢海游 淡路島

月 日	内 容	場 所
4. 2(水)	<p>4月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 準会員承認の件 (2) 1月例会～新たなる羅針盤を手に入れる～事業報告並びに決算報告の件 (3) 第2回定時総会事業報告並びに決算報告の件 (4) 新年会事業報告並びに決算報告の件 (5) 3月例会～新たなる自分を切り拓く～の件 (6) 兵庫ブロック協議会 LOM 役員懇談会の件 (7) 第20回わんぱく相撲淡路場所の件 【一部審議】</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 4月例会～呼び醒ませ!日本の精神!～の件 【2/2】 (2) 研修事業～Pride of Awaji Jaycee～の件 【2/2】 (3) 5月例会～今一度、より一層の関わりを～の件 【1/2】</p>	夢海游 淡路島
5. 7(金)	<p>5月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 準会員承認の件 (2) 新年会事業報告並びに決算報告の件 (3) 2月例会～今こそ拡大の刻～事業報告並びに決算報告の件 (4) 会員名簿の作成事業報告並びに決算報告の件 (5) 総合資料の作成事業報告並びに決算報告の件 (6) 4月例会～自ら燃える心を持つ～の件 (7) 研修事業～Pride of Awaji Jaycee～の件 (8) 第20回記念大会わんぱく相撲淡路場所の件</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 5月例会～めざせ!結束力 NO.1～の件 【2/2】 (2) 6月例会～次代の淡路 JC を担うのは俺たちだ!～の件 【1/2】 (3) 第4回わんぱく相撲兵庫ブロック大会の件 【1/1】</p>	夢海游 淡路島
5. 7(金)	<p>5月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 会員拡大会議拠出金依頼の件 (2) 準会員承認の件 (3) 3月例会～新たなる自分を切り拓く～事業報告並びに決算報告の件 (4) LOM 役員懇談会事業報告並びに決算報告の件 (5) 5月例会～団結せよ!組織力は委員会から～の件 (6) 2014年度わんぱく相撲兵庫ブロック大会の件</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 6月例会～未来の淡路を創造しよう!～の件 【2/2】</p>	夢海游 淡路島

月 日	内 容	場 所
5. 9 (金)	(2) 7月例会～一票に未来を託して～の件【1/2】 (3) 淡路島まつりおどり大会～広げよう交流の輪～の件【1/2】 (4) くにうみ文化祭～日本人のルーツ淡路島(仮称)の件【1/3】 第1回臨時理事会 【審議事項】 (1) 5月例会～団結せよ！組織力は委員会から～の件	事務局
6. 4 (水)	6月理事会 【審議事項】 (1) 一般社団法人淡路青年会議所運営規定変更の件 (2) 準会員承認の件 (3) 4月例会～自ら燃える心を持つ～事業報告並び決算報告の件 (4) 研修事業～Pride of Awaji Jaycee～事業報告並び決算報告の件 (5) 6月例会～“まちづくり”温故知新～の件 【協議事項】 (1) 一般社団法人淡路青年会議所役員選任に関する規定変更の件【1/1】 (2) 選挙管理委員会設置の件【1/1】 (3) 7月例会～一票に未来を託して～の件【2/2】 (4) 8月例会～The 淡路JCクイズ～の件【1/2】 (5) 淡路JCバトルシュミレーション～オペレーション友情～の件【1/2】	夢海游 淡路島
6. 17 (火)	第2回臨時理事会 【審議事項】 (1) 年間スケジュール変更の件 【協議事項】 (1) 淡路JC親睦会～広げよう交流の輪～の件【2/2】	事務局
7. 2 (水)	7月理事会 【審議事項】 (1) 一般社団法人淡路青年会議所 役員選任に関する規定変更の件 (2) 第20回記念大会わんぱく相撲淡路場所～事業報告並び決算報告の件 (3) 5月例会～団結せよ！組織力は委員会から！～事業報告並び決算報告の件 (4) 新入会員承認の件 (5) 新入会員配属の件 (6) 準会員承認の件 (7) 2014年度後期会費徴収の件 (8) 選挙管理委員会設置の件 (9) 7月例会～一票に未来を託して～の件 (10) 淡路島まつりおどり大会～みんなで広げよう交流の輪～の件 【協議事項】 (1) 8月例会～次代を担うJayceeとなれ！～の件【2/2】	夢海游 淡路島

月 日	内 容	場 所
7.30(水)	<p>8月理事会</p> <p>(2) 第3回臨時総会提出議案の件【1/1】 (3) 第3回臨時総会設営の件【1/1】 (4) 9月例会～万古不易！リーダーとしての条件～の件【1/2】 (5) Roots of Japan～くにうみこそが淡路島の羅針盤～の件【2/3】</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 6月例会～“まちづくり”温故知新～事業報告並び決算報告の件 (2) 2014年度わんぱく相撲兵庫ブロック大会事業報告並び決算報告の件 (3) 2014年度監事退任の件 (4) 2015年度理事予定者承認に関する件 (5) 2015年度監事予定者承認に関する件 (6) 新入会員承認の件 (7) 新入会員配属の件 (8) 8月例会～次代を担うJayceeとなれ！～の件 (9) 第3回臨時総会提出議案の件 (10) 第3回臨時総会設営の件 (11) 事務局員夏季休暇の件 (12) 日本のふるさと淡路島～はじまりの地からのメッセージ～(仮称)の件【一部審議】</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 9月例会～継続と発展の絶対条件～の件【2/2】 (2) 10月例会～考察！日本の始まり淡路島～の件【1/1】</p>	夢海游 淡路島
9.2(火)	<p>9月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 7月例会～一票に未来を託して～事業報告並び決算報告の件 (2) 準会員承認の件 (3) 9月例会～継続と発展の絶対条件～の件 (4) 日本のふるさと淡路島～はじまりの地からのメッセージ～(仮称)の件【一部審議】</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 10月例会～時代を超えて、受け継ぐもの～の件【2/2】 (2) 11月例会～Jayceeの精神の継承～の件【1/2】</p>	夢海游 淡路島
9.9(火)	<p>第3回臨時理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 日本のふるさと淡路島～はじまりの地からのメッセージ～の件【一部審議】</p>	事務局
9.22(月)	<p>第4回臨時理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 日本のふるさと淡路島～はじまりの地からのメッセージ～の件【一部審議】</p>	事務局

月 日	内 容	場 所
10.1(水)	<p>10月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 8月例会～次代を担うJayceeとなれ！～事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(2) 準会員承認の件</p> <p>(3) 10月例会～時代を超えて受け継がれるもの～の件</p> <p>(4) 日本のふるさと淡路島～はじまりの地からのメッセージ～の件</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 11月例会～Jaycee精神の継承～の件【2/2】</p> <p>(2) 12月例会～新たなる旅路へ～の件【1/2】</p>	夢海游 淡路島
11.5(水)	<p>11月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 9月例会～継続と発展の絶対条件～事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(2) 「日本のふるさと淡路島」DVD処分方法の件</p> <p>(3) 11月例会～Jaycee精神の継承～の件</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 12月例会～新たなる旅路へ～の件【2/2】</p> <p>(2) 第3回定時総会提出議案の件【1/1】</p> <p>(3) 第3回定時総会設営の件提出議案の件【1/1】</p>	夢海游 淡路島
12.3(水)	<p>12月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 淡路島まつりおどり大会～みんなで広げよう交流の輪～事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(2) 10月例会～時代を超えて受け継がれるもの～事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(3) 日本のふるさと淡路島～はじまりの地からのメッセージ～事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(4) 11月例会～Jaycee精神の継承～事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(5) 新入会員承認の件</p> <p>(6) 新入会員配属の件</p> <p>(7) 会員拡大会議解散の件</p> <p>(8) 2014年度預かり金処分の件</p> <p>(9) 2014年度正味財産増減決算報告の件</p> <p>(10) 2015年度組織及び委員会構成の件</p> <p>(11) 2015年度出向者の件</p> <p>(12) 2015年度正味財産増減予算の件</p> <p>(13) 2015年度事業計画の件</p> <p>(14) 2015年度例会・総会日時の件</p> <p>(15) 2015年度預かり金の件</p> <p>(16) 12月例会～新たなる旅路へ～の件</p> <p>(17) 第3回定時総会提出議案の件</p> <p>(18) 第3回定時総会設営の件</p>	夢海游 淡路島

月 日	内 容	場 所
2015. 1.7 (水)	<p>第 13 回理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 対内広報紙の発行事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(2) 12 月例会～新たなる旅路へ～事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(3) 第 3 回定時総会の設営事業報告の件</p> <p>(4) ホームページの管理・運営の事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(5) 2014 年度事業報告の件</p> <p>(6) 2014 年度決算報告の件</p> <p>(7) 新入会員承認の件</p> <p>(8) 理事会預かり金の件</p>	夢海游 淡路島

5. 委員会事業報告

拡大戦略会議

議長 池澄 泰彦



委員会スローガン

淡路 JC の興廃この拡大にあり！！

担当	高津 知也	議長	池澄 泰彦	副委員長	
委員	中村 篤弘、 後藤 宏暢、 笹津 寛照、 三原 聡、 村田 泰志				

総括報告

まず初めに、2014 年度一般社団法人淡路青年会議所の理事として議長という大変重い役を任命いただきました原田理事長に心からお礼を申し上げます。

予定者段階より、より拡大活動を活性化するために様々な議論する中、会員拡大会議という実行委員会をたち上げ一年間を通して拡大活動してまいりました。例年の単一委員会での運営より、拡大活動に対してだけの話し合い、情報共有が頻繁に行えたなど様々な利点があり、その結果、拡大目標人数には達しませんでした、大きな成果を残せました。これも経験豊富な 49 年会の皆様、そして、原田理事長を始めとするメンバーの皆様が積極的に拡大活動に関わっていただいたおかげであると思います。色々と無理なお願いにご協力いただきありがとうございます。

最後になりましたが、原田理事長、高津専務理事には様々な場面で叱咤激励を頂き本当にありがとうございました。また、一年間サポートを頂きました中村出向理事をはじめとする拡大戦略会議メンバーの皆様に感謝を申し上げ活動報告とさせていただきます。

委員会報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2013. 10. 4	淡路島観光ホテル	理事長所信・スローガンの件、議長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件	5名
11. 9	事務局	議長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件、ホームページの件、実行委員会の件	5名
2014. 1. 29	事務局	会員拡大会議の件、2月例会の件	4名
1. 31	事務局	会員拡大会議の件、2月例会の件	3名
2. 10	事務局	会員拡大会議の件、2月例会の件	5名
4. 3	事務局	会員拡大会議の件	3名
4. 21	事務局	会員拡大会議の件	4名
5. 12	事務局	会員拡大会議の件、準会員の件	3名
5. 19	事務局	会員拡大会議の件	3名
6. 5	事務局	会員拡大会議の件	3名
12. 18	事務局	ホームページ作成事業報告並びに決算報告の件	6名

事業報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2014. 2. 12	淡路島観光ホテル	2月例会～今こそ拡大の刻！～	37名
3. 18	淡路島観光ホテル	淡路JC説明会（前期）	32名
9. 17	淡路島観光ホテル	淡路JC説明会（後期）	51名

理事長公室 公室長 川越 勇輔



委員会スローガン 一隅を照らせ!!

担当	高津 知也	公室長	川越 勇輔	副委員長	寺岡 良祐
委員	太田 達雄、小森 祐輔、濱田 眞輔				

総括報告

初めに、2014年度一般社団法人淡路青年会議所 理事長公室 公室長の大役を任命いただきました原田理事長に心からお礼を申し上げます。

理事3年目の公室長として、三役と議長・委員長メンバーとの橋渡しとなれるよう、また伝えられる意見だけでなく、その行間を伝えることに重きを置き1年間努力を重ねて参りました。また公室長としてすべての議案に携わる中で、多くの事業で各委員会に参加する機会を得ることが出ました。抱負にも書きましたが積極的に参加し、時に厳しく接する中で、人との距離感や物事を俯瞰的に見る重要性など多くの事を学ばせて頂きました。

研修事業～Pride of Awaji Jaycee～では議長・委員長の皆様にご協力を頂きました。事業の最初に必ず行われるセレモニーの重要性は言うまでもなく、ここ数年行われていなかった、JCI クリッドや JC 宣言・綱領の暗唱テストは新入会員にとって、また入会の浅いメンバーにとってよい経験になったと感じています。

最後になりましたが、原田理事長・高津専務理事には様々な場面でご指導、ご鞭撻を頂き本当にありがとうございました。また、一年間サポートを頂きました寺岡副公室長をはじめとする公室メンバーの皆様とは互いに苦難を乗り越え1年間共に最後までやってくることができました。2014年度理事長公室という組織を共に構成できた事を本当にうれしく思っております。公室メンバー各位に対し、感謝を申し上げ活動報告とさせていただきます。

委員会報告

年月日	場 所	内 容	出席者数
2013. 10. 4	淡路島観光ホテル	理事長所信・スローガンの件、委員長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件	2名
12. 10	事務局	委員長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件	2名
2014. 1. 23	事務局	会員名簿作成の件、総合資料作成の件、研修事業の件	3名
2. 10	事務局	会員名簿作成の件、研修事業の件	3名
2. 20	事務局	研修事業の件	4名
2. 25	事務局	研修事業の件	3名
3. 20	事務局	会員名簿作成事業報告及び決算の件、総合資料作成事業報告及び決算の件、研修事業の件	3名
4. 10	事務局	研修事業の件	3名
4. 15	事務局	研修事業の件	2名
4. 17	淡路島観光ホテル	研修事業の件	4名
5. 16	事務局	ゴルフ同好会主催ゴルフコンペの件、研修事業事業報告及び決算の件	2名

事業報告

年月日	場 所	内 容	出席者数
2014. 1. 31	事務局	会員名簿の作成	—
2. 28	事務局	総合資料の作成	—
4. 19	淡路島観光ホテル	研修事業～Pride of Awaji Jaycee～	38名

人間力育成委員会 委員長 時枝 弘記



委員会スローガン

新たな未来を切り拓く

担当	三倉 克仁	委員長	時枝 弘記	副委員長	横山 泰明
委員	出田 裕重、久米 基支、中田 勝文、藤井 宏昌、三浦 義崇、増井 規頭、折田 修作				

総括報告

まず初めに、2014年度一般社団法人淡路青年会議所の理事として人間力育成委員会の大役を任命いただきました原田理事長に心から御礼申し上げます。

原田理事長の想い、そして予定者段階で作成した抱負をもとに、人間力育成委員会委員長として、LOM全体の人間力を育成するという気概を持ち、例会5回とわんぱく相撲淡路場所を担当させていただきました。意気揚々と臨んだ初めての委員長でしたが、自分の力の無さを感じるとともに委員会メンバーに助けられた一年でありました。事業を實際行う中で、行動力と表現力の大切さ、そして組織運営の大切さを学ばせていただきました。様々な失敗をしてきましたが、すべて自分自身の成長に繋がっていると感じます。この一年間で得た経験を次に繋げ活かしていくことこそが、本当に人間力育成できたのかがわかるものと考えています。

最後になりましたが、原田理事長、三倉副理事長には様々な場面でご指導いただきました。妥協なき挑戦をするという導きがあったからこそ、少しでもよくしたいという気持ちで一年間臨むことができたと感じています。本当にありがとうございました。また、一年間縁の下の力持ちとしてサポートしていただきました、横山副公室長をはじめとする委員会メンバーの皆様には感謝を申し上げ活動報告とさせていただきます。

委員会報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2013. 10. 4	淡路島観光ホテル	理事長所信・スローガンの件、委員長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件	3名
12. 18	事務局	委員長抱負及び事業計画の件、上程スケジュールの件	5名
12. 28	事務局	3月例会～新たなる自分を切り拓く～の件	6名
2014. 1. 23	事務局	3月例会～新たなる自分を切り拓く～の件、4月例会～自ら燃える心を持つ～の件、第20回記念大会わんぱく相撲淡路場所の件	5名
2. 19	事務局	3月例会～新たなる自分を切り拓く～の件、4月例会～自ら燃える心を持つ～の件、第20回記念大会わんぱく相撲淡路場所の件	4名
2. 27	事務局	3月例会～新たなる自分を切り拓く～の件、4月例会～自ら燃える心を持つ～の件、第20回記念大会わんぱく相撲淡路場所の件	3名
3. 6	事務局	4月例会～自ら燃える心を持つ～の件、第20回記念大会わんぱく相撲淡路場所の件	5名
3. 21	事務局	4月例会～自ら燃える心を持つ～の件、第20回記念大会わんぱく相撲淡路場所の件	4名
3. 27	事務局	4月例会～自ら燃える心を持つ～の件、第20回記念大会わんぱく相撲淡路場所の件	3名
4. 7	事務局	第20回記念大会わんぱく相撲淡路場所の件	5名
4. 17	事務局	第20回記念大会わんぱく相撲淡路場所の件、3月例会～新たなる自分を切り拓く～事業報告並びに決算報告の件	3名
4. 30	事務局	第20回記念大会わんぱく相撲淡路場所の件、3月例会～新たなる自分を切り拓く～事業報告並びに決算報告の件、2014年度わんぱく相撲兵庫ブロック大会の件	4名
5. 28	事務局	2014年度わんぱく相撲兵庫ブロック大会の件、4月例会～自ら燃える心を持つ～事業報告並びに決算報告の件	3名
6. 16	事務局	第20回記念大会わんぱく相撲淡路場所事業報告並びに決算報告の件、9月例会～継続と発展の絶対条件～の件	4名
6. 25	事務局	第20回記念大会わんぱく相撲淡路場所事業報告並びに決算報告の件、9月例会～継続と発展の絶対条件～の件	4名
7. 14	事務局	9月例会～継続と発展の絶対条件～の件、10月例会～時代を超えて受け継がれるもの～の件	5名
7. 23	事務局	9月例会～継続と発展の絶対条件～の件、10月例会～時代を超えて受け継がれるもの～の件	3名
8. 27	事務局	9月例会～継続と発展の絶対条件～の件、10月例会～時代を超えて受け継がれるもの～の件、11月例会～Jaycee精神の継承～の件	4名
9. 5	事務局	10月例会～時代を超えて受け継がれるもの～の件、11月例会～Jaycee精神の継承～の件	5名
9. 19	事務局	10月例会～時代を超えて受け継がれるもの～の件、11月例会～Jaycee精神の継承～の件	5名
9. 26	事務局	10月例会～時代を超えて受け継がれるもの～の件、11月例会～Jaycee精神の継承～の件	4名
10. 6	事務局	11月例会～Jaycee精神の継承～の件、9月例会～継続と	6名

年月日	場所	内 容	出席者数
10.21	事務局	発展の絶対条件～事業報告並びに決算報告の件 11月例会～Jaycee 精神の継承～の件、9月例会～継続と 発展の絶対条件～事業報告並びに決算報告の件、10月例 会～時代を超えて受け継がれるもの～事業報告並びに 決算報告の件	5名
11.6	事務局	11月例会～Jaycee 精神の継承～の件	6名

事業報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2014.3.12	洲本市文化体育館	3月例会～新たなる自分を切り拓く～	38名
4.9	洲本市文化体育館	4月例会～自ら燃える心を持つ～	39名
5.5	淡路市立石屋小学校	第20回記念大会わんぱく相撲淡路場所	30名
9.10	洲本市文化体育館	9月例会～継続と発展の絶対条件～	41名
10.8	洲本市文化体育館	10月例会～時代を超えて受け継がれるもの～	44名
11.12	洲本市文化体育館	11月例会～Jaycee 精神の継承～	42名

社会開発委員会

委員長 有賀 雄一



委員会スローガン

Change Myself

担当	平川 智己	委員長	有賀 雄一	副委員長	植野 泰幸
委員	安部 則行、池尻 明仁、岸本 篤人、木戸 隆一郎、滝本 拓之、竹田 良平、藤川 龍介、三原 正行、吉井崇行				

総括報告

まず初めに、2014年度一般社団法人淡路青年会議所の理事として委員長の大役を任命いただきました原田理事長に心からお礼を申し上げます。

今年度社会開発委員会では、「明るい豊かな淡路島」の実現に向け社会開発事業「日本のふるさと淡路島～はじまりの地からのメッセージ～」を企画・設営を行いました。事業実施に至る過程の中で壁にぶつかり悩み、立ち止まり、先が見えない時期もあり理事会校正者をはじめメンバーの皆様にご迷惑をおかけしました。

事業においては淡路島の唯一無二の価値であるくにうみ（日本の始まり）の地であることを大人から子どもまで理解していただけるように国生み神話に見識の深い有識者及び行政の方々からも意見を頂きアニメーションの制作を行いました。また、子どもたちに未来の淡路島を考える機会を創出すべく未来の淡路島絵画作文コンクールを実施し多数の応募を頂きました。そして、フォーラム当日には多数の来場者にお越しいただき、アニメーションの上映、本名宮司の基調講演、絵画作文コンクールの表彰を実施させていただき、お越しいただいた方々に、唯一無二の価値であるくにうみの地（日本の始まり）淡路島を認識頂き、今後のまちづくりにおいてコンセプトの必要性を感じていただくことで、淡路島の発展に向けた一助になったと確信しております。

最後になりましたが、原田理事長、平川担当副理事長には様々な場面でご指導、ご鞭撻を頂き本当にありがとうございました。また、一年間サポートを頂きました植野副委員長をはじめとする委員会メンバーの皆様にご感謝を申し上げます。活動報告とさせていただきます。

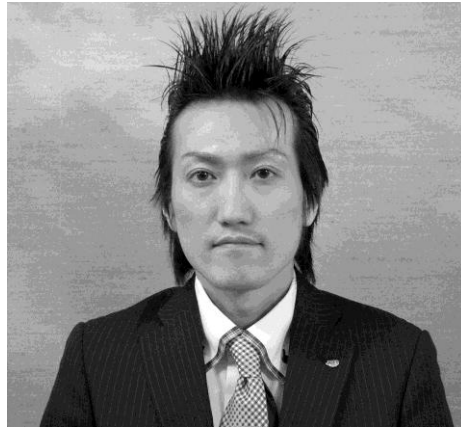
委員会報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2013. 10. 4	淡路島観光ホテル	委員長抱負、年間上程スケジュール、事業計画並びに予算及び役割業務の件	4名
12. 21	事務局	社会開発事業の件	5名
2014. 1. 10	事務局	社会開発事業の件 拡大の件	7名
1. 24	事務局	社会開発事業の件 拡大の件	8名
1. 30	事務局	社会開発事業の件 拡大の件	4名
2. 7	事務局	社会開発事業の件 拡大の件	6名
2. 14	事務局	社会開発事業の件 拡大の件	7名
3. 1	事務局	社会開発事業の件 拡大の件	7名
3. 8	事務局	社会開発事業の件 拡大の件	5名
3. 21	事務局	社会開発事業の件 拡大の件	6名
3. 27	事務局	社会開発事業の件 拡大の件	8名
4. 4	事務局	社会開発事業の件 拡大の件	5名
4. 19	事務局	社会開発事業の件 拡大の件	6名
4. 29	事務局	社会開発事業の件 拡大の件	7名
5. 13	事務局	社会開発事業の件 拡大の件	5名
5. 20	事務局	社会開発事業の件 拡大の件	6名
6. 18	事務局	社会開発事業の件 拡大の件	7名
6. 24	事務局	社会開発事業の件 拡大の件	7名
7. 7	事務局	社会開発事業の件 拡大の件	6名
7. 14	事務局	社会開発事業の件 拡大の件	6名
8. 4	事務局	社会開発事業の件 拡大の件	6名
8. 11	事務局	社会開発事業の件 拡大の件	7名
8. 29	事務局	社会開発事業の件 拡大の件	8名
9. 5	事務局	社会開発事業の件 拡大の件	6名
10. 7	事務局	社会開発事業の件 拡大の件	9名
11. 21	事務局	社会開発事業の件 拡大の件	5名

事業報告

年月日	場 所	内 容	出席者数
2014. 9. 1～30	島内小学校・保育園・幼稚園	未来の淡路島コンクール	作文 26点 絵画 256点
10. 9	事務局	日本のふるさと淡路島 完成報告会	9名
10. 26	しづかホール	日本のふるさと淡路島～はじまりの地からのメッセージ～	来場者 321名 正会員 39名 準会員 6名

LOM活性化委員会 委員長 西山 高右



委員会スローガン

No Activation No Lif

担当	廣井 公壽	委員長	西山 高右	副委員長	岡本 義弘
委員	片山 竜也、河井 義樹、北本 富士、新家 春輝、吉田 光佑、河野 崇志				

総括報告

まず初めにメンバーの皆様におかれましては今年一年間、多くの協力とご指導をいただき、誠にありがとうございました。

LOM活性化委員会では新年会、会員交流事業、対内広報紙の発行、そして公的出向の際のLOMナイトの設営を担当させていただきました。新年会では、理事長の所信表明、並びに新体制のお披露目と来賓の皆様へのご挨拶、日頃よりお世話になっている皆様へのお礼を伝える事を目的とし、感謝とおもてなしの気持ちで事業を運営いたしました。また、理事長が話しやすく、そして格好良く登場できるような舞台演出を考えさせていただきました。

事業目的を「交流の輪を広げる」とした会員交流事業では、事前練習と淡路島まつりおどり大会を通じ、参加者全員との親睦を深める事ができ、組織の一体感を増す事ができました。後の交流会でもメンバーの協力により設営がスムーズに行え、場を盛り上げる事ができました。

そして計12回に及ぶ、対内広報紙の発行では毎月の事業活動が記録でき、正会員と特別会員との間で情報共有が図られたのではないかと思います。一年を通じ、3つの事業を運営させていただきましたが自分のこだわりを表現する事は中々に難しいものであったと実感しております。また皆様と深く関わり、貴重な経験をさせていただきました事、深く御礼申し上げます。

最後となりますが原田理事長、廣井副理事長には多くのご指導、ご鞭撻を賜りました。

誠にありがとうございます。そして、岡本副委員長をはじめとするL O M活性化委員会メンバーの皆様、委員会を盛り立てていただき、本当にありがとうございました。

委員会報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2013.11.14	事務局	スローガン、委員長抱負、新年会、対内広報紙発刊の件	4名
11.21	事務局	スローガン、委員長抱負、新年会、対内広報紙発刊の件	3名
11.28	事務局	スローガン、委員長抱負、新年会、対内広報紙発刊の件	4名
12.5	事務局	新年会、対内広報紙発刊の件	4名
12.12	事務局	新年会、対内広報紙発刊の件	4名
12.19	事務局	新年会、対内広報紙発刊の件	5名
12.26	事務局	新年会、対内広報紙発刊の件	5名
12.30	淡路夢泉景	新年会の件	3名
2014.1.9	淡路夢泉景	新年会の件	4名
1.10	淡路夢泉景	新年会の件	5名
3.13	事務局	会員拡大、対内広報紙発刊の件	2名
4.21	事務局	会員拡大、対内広報紙発刊の件	4名
4.28	事務局	会員交流事業、会員拡大の件	3名
4.30	事務局	会員交流事業、会員拡大の件	2名
5.15	事務局	会員交流事業、会員拡大の件	5名
5.22	事務局	会員交流事業、会員拡大の件	5名
5.29	事務局	会員交流事業、会員拡大の件	3名
6.19	事務局	会員交流事業、会員拡大の件	5名
6.26	事務局	会員交流事業、会員拡大の件	2名
7.3	事務局	会員交流事業、会員拡大の件	5名
7.8	事務局	会員交流事業、会員拡大の件	5名
7.24	事務局	会員交流事業、会員拡大の件	5名
7.29	事務局	会員交流事業、会員拡大の件	4名
9.18	事務局	会員交流事業決算の件	4名

事業報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2014.1.15	淡路夢泉景	新年会	109名
7.11	淡路ワールドビレッジ	第1回事前練習	19名
7.25	大浜公園千畳敷	第2回事前練習	29名
8.2	厳島神社齋館	淡路島まつりおどり大会～みんなで広げよう交流の輪～ おどり大会	56名
8.2	洲本自動車教習所	淡路島まつりおどり大会～みんなで広げよう交流の輪～ 交流会	53名

例会委員会 委員長 浅井 克也



委員会スローガン 助け合いの心を育もう!

担当	三倉 克仁	委員長	浅井 克也	副委員長	福富 健介
委員	柴田 大介、高見 恵文、辰野 慶太、法月 正義、波戸 大樹、山形 兼一郎、 土井 孝浩、廣田 欣也				

総括報告

まず初めに、2014年度一般社団法人淡路青年会議所の理事として例会委員会 委員長の
大役を任命いただきました原田理事長に心からお礼を申し上げます。

今年度、例会委員会では6回の例会の企画・運営、L O M役員懇談会の設営、総会の設
営等をさせていただきました。その中において「助け合いの心を育もう！」の委員会スロ
ーガンのもと1年間活動してまいりました。改めて振り返ると、助け合いと言うより、本
当に皆さんに助けられてここまでできたという印象です。特に最初の事業である1月例会で
は、私自身が個人的な諸事情により例会当日の会場への到着が例会開始の直前になっ
てしまい、当日の打ち合わせやリハーサルに参加することができませんでした。しかし、三倉
担当副理事長や福富副委員長はじめ委員会メンバーに助けていただき無事終えることが
できました。また他の例会やL O M役員懇談会の設営・準備の段階においても、議長・公室
長・委員長はじめたくさんのメンバーにご協力をいただきました。例会委員会設営のすべ
ての事業において、皆さまのご協力がなければ成し得ることができなかつたと改めて感じ
ております。

私自身、次年度が最終年度になりますが、残り一年、皆さま方への感謝の心を大切にJ
C活動に邁進していきます。一年間本当にありがとうございました。

委員会報告

年月日	場 所	内 容	出席者数
2013. 10. 4	淡路島観光ホテル	委員長抱負、年間上程スケジュール、事業計画並びに予算及び役割業務の件	4名
10. 10	事務局	委員長抱負、年間上程スケジュール、事業計画並びに予算及び役割業務の件、1月例会の件	4名
11. 19	事務局	委員長抱負、年間上程スケジュール、事業計画並びに予算及び役割業務の件、1月例会の件	4名
11. 29	事務局	1月例会の件、第2回定時総会の件、L O M役員懇談会の件	4名
12. 10	事務局	1月例会の件、第2回定時総会の件、L O M役員懇談会の件	4名
12. 20	うめ丸	1月例会の件、第2回定時総会の件、L O M役員懇談会の件	5名
12. 26	事務局	1月例会の件、第2回定時総会の件、L O M役員懇談会の件	5名
2014. 1. 9	事務局	1月例会の件、第2回定時総会の件、L O M役員懇談会の件	4名
1. 14	夢泉景	1月例会の件、第2回定時総会の件	4名
2. 10	事務局	L O M役員懇談会の件、5月例会の件	4名
2. 14	事務局	L O M役員懇談会の件、5月例会の件	3名
2. 18	事務局	L O M役員懇談会の件、5月例会の件	5名
2. 27	事務局	L O M役員懇談会の件、5月例会の件	4名
3. 11	事務局	L O M役員懇談会の件、5月例会の件、6月例会の件	2名
3. 19	ホテルニューアワジ	L O M役員懇談会の件、5月例会の件、6月例会の件	3名
3. 26	事務局	5月例会の件、6月例会の件	4名
4. 8	事務局	5月例会の件、6月例会の件	4名
4. 14	事務局	5月例会の件、6月例会の件、7月例会の件、L O M役員懇談会事業報告及び決算報告の件	3名
5. 12	事務局	5月例会の件、6月例会の件、7月例会の件	4名
6. 6	事務局	6月例会の件、7月例会の件、8月例会の件	4名
6. 9	事務局	6月例会の件、7月例会の件、8月例会の件	4名
6. 16	事務局	7月例会の件、8月例会の件	4名
6. 26	事務局	5月例会事業報告及び決算報告の件、7月例会の件、8月例会の件、選挙管理委員会設置の件、会員拡大の件、第3回臨時総会の件	3名
7. 4	事務局	7月例会の件、8月例会の件、選挙管理委員会設置の件、会員拡大の件、第3回臨時総会の件	4名
7. 8	事務局	7月例会の件、8月例会の件、選挙管理委員会設置の件、会員拡大の件、第3回臨時総会の件	4名
7. 24	事務局	8月例会の件、会員拡大の件、第3回臨時総会の件	8名
8. 5	事務局	8月例会の件、会員拡大の件、第3回臨時総会の件	8名
9. 16	事務局	8月例会事業報告及び決算報告の件、会員拡大の件、12月例会の件	3名
9. 26	事務局	8月例会事業報告及び決算報告の件、会員拡大の件、12月例会の件	3名
10. 9	事務局	12月例会の件、会員拡大の件	3名
10. 20	事務局	12月例会の件、会員拡大の件	4名

年月日	場 所	内 容	出席者数
12. 4	事務局	1 2 月例会の件、第 3 回定時総会の件	7 名
12. 9	夢海游淡路島	1 2 月例会の件、第 3 回定時総会の件	7 名

事業報告

年月日	場 所	内 容	出席者数
2014. 1. 15	夢泉景	1 月例会～新たなる羅針盤を手に入れる～	41 名
3. 25	ホテルニューアワジ	L O M 役員懇談会	30 名
5. 14	洲本市文化体育館	5 月例会～団結せよ！組織力は委員会から～	39 名
6. 11	洲本市文化体育館	6 月例会～“まちづくり”温故知新～	39 名
7. 9	洲本市文化体育館	7 月例会～一票に未来を託して～	43 名
8. 6	洲本市文化体育館	8 月例会～次代を担う Jaycee となれ！～	40 名
12. 10	夢海游淡路島	12 月例会～新たなる旅路へ～	53 名

6. 委員会別事業決算明細

委員会別事業決算明細（１）

2014年1月1日～12月31日

委員会名	事業名称	科目	収入の部	支出の部	収入の部	支出の部	差額	備考	
			予算額	予算額	決算額	決算額			
拡大戦略会議	ホームページの管理・運営	事業収入	148,000		148,000			0	
		小計							
		会場費 賃借料							
		消耗品							
		食糧費							
		人件費							
		支払手数料							
		講師関係費							
		諸謝金							
		資料作成費		144,000		148,000			
		広告普及費							
		報告書作成費							
		旅費交通費							
		交際費							
		保険料							
		印刷製本費							
		通信運搬費							
	支払負担金								
	雑費								
	予備費		4,000						
	小計			148,000		148,000			
	合計		148,000	148,000	148,000	148,000			
	事業収入		33,000		33,000				
	小計		33,000		33,000				
	会場費 賃借料			21,000		21,000			
	消耗品			5,250		5,250			
	食糧費								
	人件費								
	支払手数料								
	講師関係費			5,250					
	諸謝金								
	資料作成費			798		798			
	広告普及費								
報告書作成費									
旅費交通費									
交際費									
保険料									
印刷製本費									
通信運搬費									
支払負担金									
雑費									
予備費			702						
小計			33,000		27,048				
合計		33,000	33,000	33,000	27,048	5,952			
事業収入		150,000		150,000					
小計		150,000		150,000					
会場費 賃借料			42,000		42,600				
消耗品			10,500		10,650				
食糧費									
人件費									
支払手数料									
講師関係費									
諸謝金									
資料作成費			90,000		18,678				
広告普及費					21,000				
報告書作成費									
旅費交通費									
交際費									
保険料									
印刷製本費									
通信運搬費									
支払負担金									
雑費									
予備費			7,500						
小計			150,000		92,928				
合計		150,000	150,000	150,000	92,928	57,072			
総合計		331,000	331,000	331,000	267,976	63,024			

委員会別事業決算明細(2)

2014年1月1日~12月31日

委員会名	事業名称	科目	収入の部	支出の部	収入の部	支出の部	差額	備考	
			予算額	予算額	決算額	決算額			
理事長公室	会員名簿	事業収入	320,000		320,000				
		小計	320,000		320,000				
		会場費 賃借料							
		消耗品							
		食糧費							
		人件費							
		支払手数料							
		講師関係費							
		諸謝金							
		資料作成費							
		広告普及費							
		報告書作成費							
		旅費交通費							
		交際費							
		保険料							
		印刷製本費		315,000		315,000			
		通信運搬費							
		支払負担金							
		雑費							
		予備費			5,000				
	小計			320,000		315,000			
	合計		320,000	320,000	320,000	315,000	5,000	事業費へ繰り戻す	
	総合資料	事業収入	1,000		1,000				
		小計	1,000		1,000				
		会場費 賃借料							
		消耗品							
		食糧費							
		人件費							
		支払手数料							
		講師関係費							
		諸謝金							
		資料作成費							
		広告普及費							
		報告書作成費		799		799			
		旅費交通費							
		交際費							
		保険料							
		印刷製本費							
		通信運搬費							
支払負担金									
雑費									
予備費				201					
小計			1,000		799				
合計		1,000	1,000	1,000	799	201	事業費へ繰り戻す		
研修事業	事業収入	28,000		28,000					
	小計	28,000		28,000					
	会場費 賃借料		21,000		21,000				
	消耗品		5,400		5,400				
	食糧費								
	人件費								
	支払手数料								
	講師関係費								
	諸謝金								
	資料作成費		798		820				
	広告普及費								
	報告書作成費								
	旅費交通費								
	交際費								
	保険料								
	印刷製本費								
	通信運搬費								
	支払負担金								
	雑費								
	予備費			802					
小計			28,000		27,220				
合計		28,000	28,000	28,000	27,220	780	事業費へ繰り戻す		
総合計		349,000	349,000	349,000	343,019	5,981			

委員会別事業決算明細（3 - 1）

2014年1月1日～12月31日

委員会名	事業名称	科目	収入の部	支出の部	収入の部	支出の部	差額	備考
			予算額	予算額	決算額	決算額		
人間力育成	3月例会	事業収入	82,000		82,000			
		小計	82,000		82,000			
		会場費 賃借料		13,000		11,000		
		消耗品		5,250		11,550		
		食糧費		5,250				
		人件費						
		支払手数料						
		講師関係費		5,250		10,800		
		諸謝金						
		資料作成費		798		798		
		広告普及費						
		報告書作成費						
		旅費交通費		50,000		17,850		
		交際費						
		保険料						
		印刷製本費						
		通信運搬費		240		160		
	支払負担金							
	雑費							
	予備費		2,212					
	小計			82,000		52,158		
	合計		82,000	82,000	82,000	52,158	29,842	事業費へ繰り戻す
	4月例会	事業収入	20,000		20,000			
		小計	20,000		20,000			
		会場費 賃借料		13,000		11,000		
		消耗品		5,400		5,400		
		食糧費						
		人件費						
		支払手数料						
		講師関係費						
		諸謝金						
		資料作成費		820		820		
		広告普及費						
報告書作成費								
旅費交通費								
交際費								
保険料								
印刷製本費								
通信運搬費								
支払負担金								
雑費								
予備費		780						
小計			20,000		17,220			
合計		20,000	20,000	20,000	17,220	2,780	事業費へ繰り戻す	
第20回わんぱく相撲淡路場所	事業収入	110,000		110,000				
	小計	110,000		110,000				
	会場費 賃借料							
	消耗品		9,500		8,344			
	食糧費		12,000		11,600			
	人件費							
	支払手数料							
	講師関係費							
	諸謝金							
	資料作成費		410		410			
	広告普及費		40,960		54,994			
	報告書作成費							
	旅費交通費							
	交際費							
	保険料		7,000		4,200			
	印刷製本費		27,000		12,970			
	通信運搬費		400		410			
	支払負担金		10,000		10,000			
	雑費		210					
予備費		2,520						
小計			110,000		102,928			
合計		110,000	110,000	110,000	102,928	7,072	事業費へ繰り戻す	

委員会別事業決算明細（3 - 2）

2014年1月1日～12月31日

人間力育成	9月例会	事業収入	387,000		387,000			
		小計	387,000		387,000			
		会場費 賃借料		13,000		13,000		
		消耗品		5,400		9,720		
		食糧費		5,400				
		人件費						
		支払手数料						
		講師関係費		5,400		5,550		
		諸謝金		300,000		300,000		
		資料作成費		820		820		
		広告普及費						
		報告書作成費						
		旅費交通費		50,000		50,000		
		交際費						
		保険料						
		印刷製本費						
		通信運搬費		240		246		
		支払負担金						
		雑費						
		予備費		6,740				
	小計		387,000		379,336			
	合計		387,000	387,000	387,000	379,336	7,664 事業費へ繰り戻す	
	10月例会	事業収入	43,000		43,000			
		小計	43,000		43,000			
		会場費 賃借料		30,000		36,000		
		消耗品		5,400		5,400		
		食糧費						
		人件費						
		支払手数料						
		講師関係費		5,400				
		諸謝金						
		資料作成費		820		820		
		広告普及費						
		報告書作成費						
		旅費交通費						
		交際費						
		保険料						
		印刷製本費						
		通信運搬費						
		支払負担金						
		雑費						
		予備費		1,380				
小計		43,000		42,220				
合計		43,000	43,000	43,000	42,220	780 事業費へ繰り戻す		
11月例会	事業収入	20,000		20,000				
	小計	20,000		20,000				
	会場費 賃借料		13,000		13,000			
	消耗品		5,400		5,400			
	食糧費							
	人件費							
	支払手数料							
	講師関係費							
	諸謝金							
	資料作成費		820		820			
	広告普及費							
	報告書作成費							
	旅費交通費							
	交際費							
	保険料							
	印刷製本費							
	通信運搬費							
	支払負担金							
	雑費							
	予備費		780					
小計		20,000		19,220				
合計		20,000	20,000	20,000	19,220	780 事業費へ繰り戻す		
総合計		662,000	662,000	662,000	613,082	48,918		

委員会別事業決算明細（４）

2014年1月1日～12月31日

委員会名	事業名称	科目	収入の部	支出の部	収入の部	支出の部	差額	備考	
			予算額	予算額	決算額	決算額			
社会開発	社会開発事業	事業収入	1,500,000		1,500,000				
		助成金			200,000				
		小計	1,500,000		1,700,000				
		会場費 賃借料		250,000		175,250			
		消耗品		25,000		45,718			
		食糧費		100,000					
		人件費		7,000					
		支払手数料		30,000		40,000			
		講師関係費		5,400		5,400			
		諸謝金		440,000					
		資料作成費		125,000		1,100,820			
		広告普及費		100,000		59,850			
		報告書作成費		3,000		200,000			
		旅費交通費		350,000					
		交際費							
		保険料		10,000					
		印刷製本費				60,480			
		通信運搬費		1,000		2,182			
		支払負担金							
		雑費		3,000		2,052			
		予備費		50,600					
		小計			1,500,000		1,691,752		
		合計		1,500,000	1,500,000	1,700,000	1,691,752	8,248	事業費へ繰り戻す
		総合計		1,500,000	1,500,000	1,700,000	1,691,752	8,248	

委員会別事業決算明細（５）

2014年1月1日～12月31日

委員会名	事業名称	科目	収入の部	支出の部	収入の部	支出の部	差額	備考	
			予算額	予算額	決算額	決算額			
L O M活性化	対内広報紙	事業収入	320,000		320,000				
		小計	320,000		320,000				
		会場費 賃借料							
		消耗品							
		食糧費							
		人件費							
		支払手数料							
		講師関係費							
		諸謝金							
		資料作成費					8,000		
		広告普及費							
		報告書作成費							
		旅費交通費							
		交際費							
		保険料							
		印刷製本費		312,000				312,000	
		通信運搬費							
	支払負担金								
	雑費								
	予備費		8,000						
	小計			320,000			320,000		
	合計		320,000	320,000	320,000	320,000	0		
	新年会	事業収入	245,000			245,000			
		登録料				1,410,000			
		小計	245,000			1,655,000			
		会場費 賃借料		42,000			42,000		
		消耗品		159,450			154,314		
		食糧費					6,160		
		人件費							
		支払手数料		30,000			30,000		
		講師関係費							
		諸謝金							
		資料作成費		820			798		
		広告普及費							
		報告書作成費							
		旅費交通費							
		交際費					1,410,000		
		保険料							
		印刷製本費					1,050		
通信運搬費		6,063			5,607				
支払負担金									
雑費					3,600				
予備費		6,667							
小計			245,000			1,653,529			
合計		245,000	245,000	1,655,000	1,653,529	1,471	事業費へ繰り戻す		
会員交流事業	事業収入	50,000			50,000				
	登録料				188,000				
	登録料				240,000				
	小計	50,000			478,000				
	会場費 賃借料		30,000			30,000			
	消耗品		10,000						
	食糧費								
	人件費								
	支払手数料					100,000			
	講師関係費								
	諸謝金								
	資料作成費					410			
	広告普及費								
	報告書作成費								
	旅費交通費								
	交際費					329,400			
	保険料					3,250			
印刷製本費									
通信運搬費		4,080			574				
支払負担金					1,000				
雑費		5,000			12,000				
予備費		920							
小計			50,000			476,634			
合計		50,000	50,000	478,000	476,634	1,366	事業費へ繰り戻す		
総合計		615,000	615,000	2,453,000	2,450,163	2,837			

委員会別事業決算明細（6-1）

2014年1月1日～12月31日

委員会名	事業名称	科目	収入の部	支出の部	収入の部	支出の部	差額	備考
			予算額	予算額	決算額	決算額		
例会	1月例会	事業収入	39,000		39,000			
		小計	39,000		39,000			
		会場費 賃借料		21,000		21,000		
		消耗品		15,750		15,750		
		食糧費						
		人件費						
		支払手数料						
		講師関係費						
		諸謝金						
		資料作成費		1,743		1,743		
		広告普及費						
		報告書作成費						
		旅費交通費						
		交際費						
		保険料						
		印刷製本費						
		通信運搬費						
		支払負担金						
		雑費						
		予備費		507				
	小計			39,000		38,493		
	合計		39,000	39,000	39,000	38,493	507	事業費へ繰り戻す
	5月例会	事業収入	50,000		50,000			
		小計	50,000		50,000			
		会場費 賃借料		16,000		16,000		
		消耗品		5,400		5,400		
		食糧費						
		人件費						
		支払手数料						
		講師関係費		15,000		3,240		
		諸謝金		3,240		15,000		
		資料作成費		820		820		
		広告普及費						
		報告書作成費						
		旅費交通費						
		交際費						
		保険料		7,820		6,440		
		印刷製本費						
		通信運搬費		240		246		
		支払負担金						
		雑費						
		予備費		1,480				
小計			50,000		47,146			
合計		50,000	50,000	50,000	47,146	2,854	事業費へ繰り戻す	
6月例会	事業収入	23,000		23,000				
	小計	23,000		23,000				
	会場費 賃借料		13,000		13,000			
	消耗品		5,400		5,400			
	食糧費							
	人件費							
	支払手数料							
	講師関係費							
	諸謝金		3,240					
	資料作成費		820		820			
	広告普及費							
	報告書作成費							
	旅費交通費							
	交際費							
	保険料							
	印刷製本費							
	通信運搬費							
	支払負担金							
	雑費							
	予備費		540					
小計			23,000		19,220			
合計		23,000	23,000	23,000	19,220	3,780	事業費へ繰り戻す	

委員会別事業決算明細（6-2）

2014年1月1日～12月31日

例会	7月例会	事業収入	20,000		20,000		
		小計	20,000		20,000		
		会場費 賃借料		13,000		13,000	
		消耗品		5,400		5,400	
		食糧費					
		人件費					
		支払手数料					
		講師関係費					
		諸謝金					
		資料作成費		820		1,250	
		広告普及費					
		報告書作成費					
		旅費交通費					
		交際費					
		保険料					
		印刷製本費					
	通信運搬費						
	支払負担金						
	雑費						
	予備費		780				
	小計		20,000		19,650		
	合計	20,000	20,000	20,000	19,650	350	事業費へ繰り戻す
	8月例会	事業収入	20,000		20,000		
		小計	20,000		20,000		
		会場費 賃借料		13,000		13,000	
		消耗品		5,400		5,400	
		食糧費					
		人件費					
		支払手数料					
		講師関係費					
		諸謝金					
		資料作成費		820		820	
		広告普及費					
		報告書作成費					
		旅費交通費					
		交際費					
		保険料					
		印刷製本費					
	通信運搬費						
支払負担金							
雑費							
予備費		780					
小計		20,000		19,220			
合計	20,000	20,000	20,000	19,220	780	事業費へ繰り戻す	
12月例会	事業収入	90,000		90,000			
	小計	90,000		90,000			
	会場費 賃借料		28,080		28,080		
	消耗品		58,760		60,000		
	食糧費						
	人件費						
	支払手数料						
	講師関係費						
	諸謝金						
	資料作成費		820		1,920		
	広告普及費						
	報告書作成費						
	旅費交通費						
	交際費						
	保険料						
	印刷製本費						
	通信運搬費						
支払負担金							
雑費							
予備費		2,340					
小計		90,000		90,000			
合計	90,000	90,000	90,000	90,000	0		
総合計	242,000	242,000	242,000	233,729	8,271		

7. 直前理事長報告

直前理事長 向内 英光



2014年度は、原田理事長の掲げる「妥協なき挑戦！～新たなる1ページを刻むために～」のローガンの基、各委員長をはじめメンバーそれぞれが思い・考えJC活動に邁進されてきたことと存じます。私自身は直前理事長として、何をすべきか悩みもありましたが、先輩諸兄より教わってきたものを自分の経験も踏まえて伝えていくことであると考え、皆様と関わりを持ってきました。しかし、経験者が伝えられるものは経験だけであり、正解ではありませんでした。それは10年

のJC生活の中で感じたものも同じでした。正解は一つだけではなく、数多く存在し、思いを持って考え、最後までやりきった時に正解を手にする事ができる。そしてその正解も、人によっては違うものであります。

私は直前理事長の役割を全うできたかはわかりませんが、自分なりの行動ができたものと考えておりますが、判断するのは自分ではなく自分以外であります。これは、この先何か行動をするときには必ずついてまわるものでありますので、自己満足せず多くのことに向かっていきたいと考えます。メンバーの皆様には何事にでもチャレンジしていただきたいと考えます。最後に淡路JCの設立以来掲げております「淡路はひとつ」の基本理念の基、「明るい豊かな淡路島」創造に邁進されることを祈念いたしまして、直前理事長報告とさせていただきます。

8. 出 向 報 告

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

監査担当役員

上村 雄二郎



いよいよラストイヤーとなった本年度、兵庫ブロック協議会に監査担当役員として出向させて頂きました。

L O M内においても監事という事で、同じようなお役目を兵庫ブロックでも務めさせて頂きました。監査担当役員という立場上、各事業の企画段階より、メンバーの有益なものになっているか、またはその目的に相応しい内容になっているか、そして的確に予算執行がなされているかを中心に見させて頂きました。その中で今まで私が培った事を若手に伝えていくべく、日々参加をさせて頂きました。本年は委員長として中村君も出向されてましたので、私は少々控えめに影をひそめておりましたが、私がどうの言う事も無く頑張られておられる姿を見て頼もしさすら感じました。L O Mでもやはり委員長が一番勉強になる場ですが、ブロックでも委員長、議長として出向する事が何よりであると改めて感じた一年でもありました。来年は残念ながら役員出向は無いようですが、今後の為にも是非また淡路からブロック役員を排出頂く事を願うばかりです。

何はともあれ、大変充実したラストイヤーを過ごさせて頂けた事に改めて心からの感謝を申し上げ、出向報告とさせて頂きます。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2014. 1. 18	西宮	第 1 回正副会長会議・第 1 回役員会議
2014. 2. 22	加古川	第 2 回正副会長会議・第 2 回役員会議
2014. 3. 15	神戸	会頭訪問
2014. 3. 21	豊岡	第 2 回会員会議所会議
2014. 4. 12	淡路	第 4 回正副会長会議・第 4 回役員会議
2014. 4. 26	明石	第 3 回会員会議所会議
2014. 6. 14	南但	第 5 回正副会長会議・第 5 階役員会議
2014. 6. 28	姫路	第 4 回会員会議所会議

2014. 8. 1	尼崎	第6回正副会長会議・第6回役員会議
2014. 10. 4	姫路	第7回正副会長会議・第7回役員会議
2014. 10. 18	三田	第5回会員会議所会議
2014. 11. 1	宝塚	第8回正副会長会議・第8回役員会議
2014. 11. 16	神戸	第6回会員会議所会議

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

上村監査担当役員セクレタリー

法月 正義



後藤監査担当役員セクレタリーとして、一年間出向させていただきました。卒業年度にも関わりませづ、このような機会を与えていただきました理事長、そして後藤監査には感謝申し上げます。本当にありがとうございました。お世話になりました。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

上村監査担当役員セクレタリー

濱田 眞輔



2014年度上村監査担当役員のセクレタリーとして、一年間兵庫ブロックへ出向させていただきました。LOM役員懇談会や会員会議所等にご一緒させていただき、ブロックの役員の皆様や各地青年会議所の方々と交流することができ、多くの経験、学びがありよい機会を得られました。

一年間このような機会を与えていただき本当にありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

上村監査担当役員セクレタリー

村田 泰志



今年度、上村監査担当役員のセクレタリーとして近畿地区兵庫ブロック協議会に出向させていただきました。LOMでの活動のほかにブロックでの活動と幅広い考え方や交流が出来る貴重な場となりました。1年間このような機会を与えていただきまして感謝しております。ありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

日本 JC 連携推進委員会

副委員長 三倉 克仁



この度、日本 JC 連携推進委員会に出向し、会頭座談会の設営や憲法事業、ブロック大会分科会の企画・設営の機会をいただき、あらためて気づくことが多く大変勉強になりました。経験豊富なメンバーが集まっている委員会ということもあり、細部までこだわった積極的な意見が飛び交い、自分自身も刺激を受けるとともに得るものも沢山ありました。この経験を LOM に活かし、今後の JC 活動を行っていきます。最後に理事長を含めお世話になった方々、一年間ありがとうございました。

出 向 記 録

年月日	場 所	内 容
2013. 11. 23	神戸ポートピアホテル	第 1 回委員会（予定者）
2014. 2. 3	兵庫県民会館	第 1 回臨時委員会
2014. 2. 8	神戸ポートピアホテル	第 2 回合同委員会
2014. 3. 4	兵庫県民会館	第 2 回臨時委員会
2014. 3. 14	兵庫県民会館	第 3 回委員会
2014. 3. 15	ホテルサンルートソプラ神戸	会頭座談会
2014. 4. 5	姫路商工会館新館 JC 事務局	第 4 回委員会
2014. 5. 2	神戸市東灘区民センター	憲法事業
2014. 6. 12	加古川商工会議所	第 5 回委員会
2014. 8. 29	宝塚市立勤労市民センター	第 6 回委員会
2014. 9. 14	宝塚ホテル	ブロック大会 分科会

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫ビジョン創造委員会

副委員長 時枝 弘記



本年度、近畿地区兵庫ブロック協議会兵庫ビジョン創造委員会に出向させていただきました。委員会として知事との討論会、青少年育成事業、防災ネットワークという3つの事業を行いました。私は、青少年育成事業の副委員長として、南山委員長の補佐をさせていただきました。兵庫県各地区の中学生を対象とした事業で、「好きやで兵庫！未来を切り拓くヒーローズ育成塾—Boys and girls, Be ambitious!!(青少年よ、大志を抱け!!)」という事業名そのままに、愛郷心そして道徳心を育むために様々なプログラムを受けていただく事業を実施しました。子どもたちにこのような体験の場を与えることができたことは本当によい経験になりました。この経験をLOMで活かしたいと思います。最後になりましたが1年間出向させていただき、また、副委員長という機会を与えていただいたことに感謝しております。ありがとうございました。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2013. 11. 23	神戸ポートピアホテル	第1回予定者兵庫ビジョン創造委員会
2013. 12. 26	姫路商工会議所	第2回予定者兵庫ビジョン創造委員会
2014. 1. 22	明石 料亭旅館 人丸花壇	第1回兵庫ビジョン創造委員会
2014. 2. 8	神戸ポートピアホテル	第2回兵庫ビジョン創造委員会
2014. 3. 24	姫路 しらさぎ風雅 生松	第3回兵庫ビジョン創造委員会
2014. 4. 16	三田 まちづくり協働センター	第4回兵庫ビジョン創造委員会
2014. 5. 14	芦屋市民センター	第5回兵庫ビジョン創造委員会
2014. 7. 22	姫路 しらさぎ風雅 生松	第6回兵庫ビジョン創造委員会
2014. 7. 29	姫路 西はりま地場産業センター	臨時委員会
2014. 11. 12	姫路市藤ノ木山野外活動センター	青少年育成事業
2014. 9. 3	兵庫県公館	兵庫県知事との討論会
2014. 9. 14	宝塚ホテル及び末広中央公園芝生広場	防災・JC-AID 普及事業
2014. 10. 22	神戸センタープラザ西館	第7回兵庫ビジョン創造委員会

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫アカデミー委員会

委員長 中村 篤弘



2014年度、兵庫アカデミー委員会の委員長として出向させていただきました。80名もの若手人財を預かる身として責任重大であると感じながら一年を全うさせていただきました。担いとしましては、アカデミー事業の開催と会員拡大についてであります。アカデミー事業に関しては3回/年を企画し、「率先垂範」「協働」「発想力」をテーマに開催致しました。その他にも委員会事業を7回開催し、うち2回は会員拡大の必要性を訴えかけ意識付けを行いました

た。本年度、ブロック会長は「経験は人生において成功は約束されてはいないが、成長は約束されている」と常々おっしゃっており、アカデミーメンバーにも是非多くの経験をしていただき、成長そしてメンバー間の友情を築き、今後のJC活動に繋げていただきたいと考えていました。中でも最終の事業において出席率100%を達成できたことはメンバーが一丸となった瞬間でした。私自身も今年一年若手人財と関わることで多くの学びをいただき、多くの経験を積ませていただけたことはかけがえのない一年となりました。本当にご支援、ご協力いただいた皆様に厚く感謝御礼を申し上げます。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2013. 09. 21	神戸	第1回 予定者正副・役員会議
2013. 10. 18		第2回 予定者正副・役員会議
2013. 10. 27		第3回 予定者正副・役員会議
2013. 11. 02		第1回 予定者理事長会議
2013. 11. 16		第4回 予定者正副・役員会議
2013. 11. 23	神戸	第2回 予定者理事長会議・合同委員長会議
2013. 12. 14	神戸	第5回 予定者正副・役員会議
2014. 01. 07	西宮	第1回 財審・コンプライアンス会議
2014. 01. 18	神戸	第1回 正副・役員会議
2014. 01. 20	京都	兵庫アカデミー委員会 スタッフ会議
2014. 01. 25	西宮	京都会議
2014. 02. 06	神戸	LOM 役員懇談会
2014. 02. 08	川西	第1回 会員会議所会議
		第1回 兵庫アカデミー委員会～ボディーランゲージ～
2014. 02. 14	加古川	第2回 財務・コンプライアンス会議
2014. 02. 22	尼崎	第2回 正副・役員会議
2014. 02. 25	豊岡	LOM 役員懇談会
2014. 02. 26	姫路	LOM 役員懇談会
2014. 02. 28	神戸	LOM 役員懇談会
2014. 03. 03	三木	第3回 財務・コンプライアンス会議
		JC 兵庫県議連懇談会
		兵庫アカデミー委員会 スタッフ会議

2014. 03. 10	丹波	LOM 役員懇談会（丹波・篠山）
2014. 03. 13	神戸	第3回 正副・役員会議
2014. 03. 15		第2回 兵庫アカデミー委員会～VMV セミナー～ 公益社団法人日本青年会議所 会頭訪問
	三木	LOM 役員懇談会
2014. 03. 19	美方	LOM 役員懇談会（香住・美方・南但）
2014. 03. 20	豊岡	第2回 会員会議所会議
2014. 03. 21	淡路	LOM 役員懇談会
2014. 03. 25	篠山	第1回 兵庫アカデミー事業～率先垂範～
2014. 03. 29	明石	LOM 役員懇談会
2014. 04. 01	南但	第4回 財審・コンプライアンス会議
2014. 04. 02	伊丹	LOM 役員懇談会（伊丹・川西）
2014. 04. 04	淡路	第4回 正副・役員会議
2014. 04. 12	箕面	近畿地区協議会 グローバル経済推進委員会事業
2014. 04. 13	龍野	LOM 役員懇談会
2014. 04. 17	神戸	第3回 兵庫アカデミー委員会～拡大セミナー～
2014. 04. 20	明石	第3回 会員会議所会議
2014. 04. 26	宝塚	LOM 役員懇談会
2014. 04. 30	神戸	兵庫アカデミー委員会 スタッフ会議
2014. 05. 01	神戸	第5回 財審・コンプライアンス会議
2014. 05. 02		憲法タウンミーティング
2014. 05. 10	赤穂	第5回 正副・役員会議
2014. 05. 15	三田	LOM 役員懇談会
2014. 05. 18	相生	一般社団法人相生青年会議所 50周年記念式典
2014. 05. 22	赤穂	LOM 役員懇談会
2014. 05. 24・25	香川・高知	第2回 兵庫アカデミー事業～協働～
2014. 05. 26	加古川	LOM 役員懇談会
2014. 05. 27	神戸	第6回 財審・コンプライアンス会議
2014. 06. 14	南但	第6回 正副・役員会議
2014. 06. 19	姫路	LOM 役員懇談会
2014. 06. 21	三田	第4回 兵庫アカデミー委員会～ストイックヨガ～
2014. 06. 22	尼崎	一般社団法人尼崎青年会議所 55周年記念式典
2014. 06. 28	姫路	第4回 会員会議所会議
2014. 06. 29	小野加東	一般社団法人小野加東青年会議所 50周年記念式典
2014. 07. 05	白浜田辺	近畿地区大会 白浜田辺大会
2014. 07. 12	明石	一般社団法人明石青年会議所 55周年記念式典
2014. 07. 19	横浜	サマーコンファレンス 2014
2014. 07. 22	篠山	第7回 財務・コンプライアンス会議
2014. 08. 01	尼崎	第7回 正副・役員会議
2014. 08. 04	篠山	第1回 兵庫アカデミー委員会 勉強会
2014. 08. 11	加古川	第2回 兵庫アカデミー委員会 勉強会
2014. 08. 19	三木	第3回 兵庫アカデミー委員会 勉強会
2014. 08. 20	丹波	丹波市土砂災害復興支援
2014. 08. 25	川西	第5回 兵庫アカデミー委員会～ロバート議事法～
2014. 08. 26	丹波	第8回 財務・コンプライアンス会議
2014. 08. 28	丹波	丹波市土砂災害復興支援
2014. 08. 29	川西	第4回 兵庫アカデミー委員会 勉強会
2014. 08. 31	淡路	近畿地区協議会 グローバル経済推進委員会
2014. 09. 03	神戸	兵庫ブロック協議会 知事討論会
2014. 09. 05	丹波	第8回 正副・役員会議
2014. 09. 13	宝塚	兵庫ブロック協議会 50周年記念式典
2014. 09. 14	宝塚	兵庫ブロック協議会 ブロック大会 宝塚大会
2014. 09. 16	三木	第5回 兵庫アカデミー委員会 勉強会
2014. 09. 19	神戸	第6回 兵庫アカデミー委員会 勉強会

2014. 09. 27	三木	第3回 兵庫アカデミー事業～千思万考～
2014. 10. 04	姫路	第9回 正副・役員会議
2014. 10. 11	松山	公益社団法人日本青年会議所 全国大会 松山大会
2014. 10. 18	三田	第5回 会員会議所会議
2014. 10. 23	西宮	第10回 財務・コンプライアンス会議
2014. 10. 25	加古川	第6回 兵庫アカデミー委員会～拡大セミナーⅡ～
2014. 11. 01	宝塚	第10回 正副・役員会議
2014. 11. 16	神戸	第6回 会員会議所会議
2014. 11. 23	淡路	第7回 兵庫アカデミー委員会～最終章～
2014. 12. 05	神戸	納会

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫アカデミー委員会

委員 植野 泰幸



この度、公益社団法人日本青年会議所兵庫ブロック協議会兵庫アカデミー委員会に出向させて頂きました。JC歴の浅いメンバーが集う中で、様々な経験をし、多くの学びや気づきを得る機会となりました。またLOM内だけでは中々知り合うことの難しい他ロムの方と委員会や事業を通じて交流することで、多くの友情を育むこともできました。この経験をこれからのJC活動において、活かしていきたいと思えます。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫アカデミー委員会

委員 藤川 龍介



本年度兵庫ブロック協議会、兵庫アカデミー委員会へ出向させて頂きました。委員会は入会3年未満のメンバーで構成されており、他LOMの近い立場・年齢の方と一緒に委員会・事業を執り行うことで、新たな学びと気づき、そして多くの絆を得られる事が出来ました。また本年度は中村出向理事が委員長ということで、セクレタリーの皆様と共に委員会運営に御尽力される姿を身近に見られた事は、他の年度では得難い貴重な経験でありました。このような機会を与えて頂いた事に感謝を申し上げ、出向報告と致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫アカデミー委員会 中村委員長セクレタリー



出田 裕重

一年という短い期間ではありましたが、多くの出会いと普段の仕事や生活では触れることのない貴重な機会をいただきました。兵庫未来は明るい信じてやみません。今後ますますの発展を記念いたします。一年間お世話になり本当にありがとうございました。また、どこかでお会いしました時は宜しくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫アカデミー委員会 中村委員長セクレタリー



中田 勝文

2014 年度、中村委員長のセクレタリーとして、一年間兵庫ブロックへ出向させていただきました。LOM 役員懇談会や会員会議所等にご一緒させていただき、ブロックの役員の皆様や各地青年会議所の方々と交流することができ、多くの経験、学びがあり良い機会を得られました。

一年間このような機会を与えていただき本当にありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫アカデミー委員会 中村委員長セクレタリー



三浦 義崇

今年度、兵庫アカデミー委員会 中村委員長のセクレタリーとして兵庫ブロック協議会に出向させていただきました。初めての出向であり、セクレタリーでしたので、当初は戸惑いばかりでしたが、中村委員長を始め、出田セクレタリー、中田セクレタリー、アカデミー委員会のメンバーに助けられ一年を乗り切ることが出来ました。そして、多くの淡路 JC のメンバーからも支援をして頂きました。多くの方の支えがあればこそ、出向ができるのだということを感じさせていただきました。この経験を生かし、今後の JC 活動をより

充実したものにしたいと思います。一年間ありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

JC 運動発信委員会

委員 有賀 雄一



本年度、公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会 JC 運動発信委員会に出向させていただきました。委員会ではホームページ等での JC 運動の発信及び京都会議、サマーコンファレンスなどのブロックナイトの設営を主な事業として実施いたしました。また、近畿地区白浜田辺大会、全国大会松山大会では兵庫県の特産品を使用し共鳴おにぎり、粕汁を振る舞い、兵庫県の PR を行いました。

私自身、初めての出向ということもあり当初は緊張しておりましたが、丹波 JC の松浪委員長をはじめ、とてもよいメンバーに恵まれ、実りある 1 年を過ごすことができました。最後になりましたが、このような貴重な機会を与えて頂いたことに感謝を申し上げ、出向者報告と致します。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2013. 11. 23	神戸ポートピアホテル	第 1 回予定者委員会
2014. 1. 15	喜作	第 1 回委員会
2014. 1. 25	京都プリンスホテル	第 2 回委員会
2014. 1. 25	京都プリンスホテル	京都会議ブロックナイト
2014. 2. 8	ポートピアホテル	第 3 回委員会
2014. 3. 11	ホテルクレール日笠	第 4 回委員会
2014. 5. 17	篠山市商工振興会館	第 5 回委員会
2014. 6. 23	三田市キッピーモール	第 6 回委員会
2014. 7. 5	田辺市扇ヶ浜公園	近畿地区白浜田辺大会
2014. 7. 19	横浜ベイホテル東急	サマコンブロックナイト
2014. 8. 27	川西市商工会館	第 7 回委員会
2014. 9. 14	宝塚ホテル	ブロック大会宝塚大会褒賞事業

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

ブロック大会運営委員会

委員 浅井 克也



本年度、公益社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会ブロック大会運営委員会に出向させていただきました。柴田委員長のもと、式典やイベントの設営や運営手法について多くのことを学び、また多くの友人を作ることができました。大会当日の来場者は10,000人を超え、淡路JCからも多くのメンバーが参加され、大会は大成功に終わることができました。今後この経験をLOMに伝えていきたいと考えます。このような機会を与えてくださり本当にありがとうございました。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2013. 11. 23	神戸ポートピアホテル	予定者委員会
2014. 2. 1	加古川商工会議所	第1回委員会
2014. 2. 8	神戸ポートピアホテル	第2回委員会
2014. 4. 5	西宮市民会館	第3回委員会
2014. 5. 17	三木市立教育センター	第4回委員会
2014. 9. 9	宝塚ホテル 末広公園	第5回委員会
2014. 9. 13	宝塚ホテル	第6回委員会
2014. 9. 14	宝塚ホテル 末広公園	ブロック大会宝塚大会

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

財務規則審査会議

委員 寺岡 良祐



本年度、兵庫ブロック協議会財務規則審査会議へ出向させていただきました。

財務規則審査会議は、兵庫ブロック協議会の事業すべてに関し、財政及びコンプライアンスの観点から稽查し、健全で適切な事業の遂行を担保するという役割を担っています。

同会議は、専ら各委員会から提出された資料を精査することにより進行します。具体的な診査項目は、支出内容に照らして費目は適切であるか、見積書の添付漏れはないか、映像や音楽を使用する場合には著作権上の問題はないのか等です。これら

診査事項は分厚いマニュアルにまとめられています。ただ、支出内訳を記載せねばならない範囲等、L O Mの遣り方とは異なった部分がありましたので、ブロックの形式に慣れるまでに相当の時間を要しました。

同会議に出向しているメンバーの意識は高く、年間を通じて交流を深めることができ、L O Mとは異なる考え方等を学ぶことができました。また、最後の委員会及び懇親会を淡路島で行うことができたことが非常に印象に残っています。

貴重な機会を与えていただいたことに感謝し、出向者報告と致します。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2013. 1. 24	神戸ポートピアホテル	第 1 回委員会
2014. 1. 15	兵庫県民会館	第 2 回委員会
2014. 2. 10	神戸ポートピアホテル	第 3 回委員会
2014. 3. 2	尼崎中小企業センター	第 4 回委員会
2014. 5. 25	三田まちづくり協働センター	第 5 回委員会
2014. 8. 3	豊岡市城崎地区公民館	第 6 回委員会
2014. 9. 21	明石平和園	第 7 回委員会
2014. 10.	淡路島観光ホテル	第 8 回委員会

9. 監 事 報 告

監事 上村 雄二郎 飛松 孝治



本年、監事という役職をいただき、各事業が目的に沿ってなされているか、業務及び財産の状況を責任をもって確認させていただきました。また、各会議においては今までの経験を可能な限り皆様にお伝えすることが私たちの使命ととらえ、時には厳しい意見を述べさせて頂きました。

一般社団法人淡路青年会議所のメンバーが何事にも真剣に挑戦し、淡路島の未来のために邁進して頂きますよう祈念申し上げ、監事報告とさせていただきます。

10. 会 員 動 向

1. 2013 年度末会員数

正会員 49 名 特別会員 302 名 準会員 5 名

2. 2014 年度入会者

新入会者名	推 薦 者		
小森 祐輔	川越 勇輔	時枝 弘記	寺岡 良祐
後藤 宏暢	三倉 克仁	中田 勝文	池澄 泰彦
滝本 拓之	有賀 雄一	中村 篤弘	藤井 宏昌
竹田 良平	有賀 雄一	吉井 崇行	平川 智己
吉田 光佑	横山 泰明	川越 勇輔	時枝 弘記
安倍 則行	池澄 泰彦	平川 智己	中村 篤弘
折田 修作	平川 智己	池澄 泰彦	有賀 雄一
河野 崇志	平川 智己	池澄 泰彦	有賀 雄一
増井 規顕	池澄 泰彦	川越 勇輔	中村 篤弘
山形 兼一郎	平川 智己	池澄 泰彦	有賀 雄一
木戸 隆一郎	中村 篤弘	池澄 泰彦	村田 泰志
土井 孝浩	池澄 泰彦	三倉 克仁	浅井 克也
廣田 欣也	池澄 泰彦	中村 篤弘	村田 泰志

3. 2014 年度会員数

正会員 57 名 特別会員 302 名

4. 2013 年度退会者

大畑 一也

5. 2013 年度休会者

なし

6. 2014 年度物故会員

国本 孝之 坂本 博彦 石見 弘美 齊藤 勝巳 泉 寿郎

7. 2014 年度除名者

磯村 浩史

8. 2014 年度卒業会員

11 名

上村 雄二郎 岡本 義弘 片山 竜也 河井 義樹 北本 富士
高津 知也 飛松 孝治 西山 高右 廣井 公壽 三原 正行
向内 英光

9. 2014 年度役員選考委員

上村 雄二郎 向内 英光 原田 啓行 三倉 克仁 平川 智己
中田 勝文 新家 春輝 時枝 弘記

1 1. 2014 年度 社団法人淡路青年会議所

役員名簿

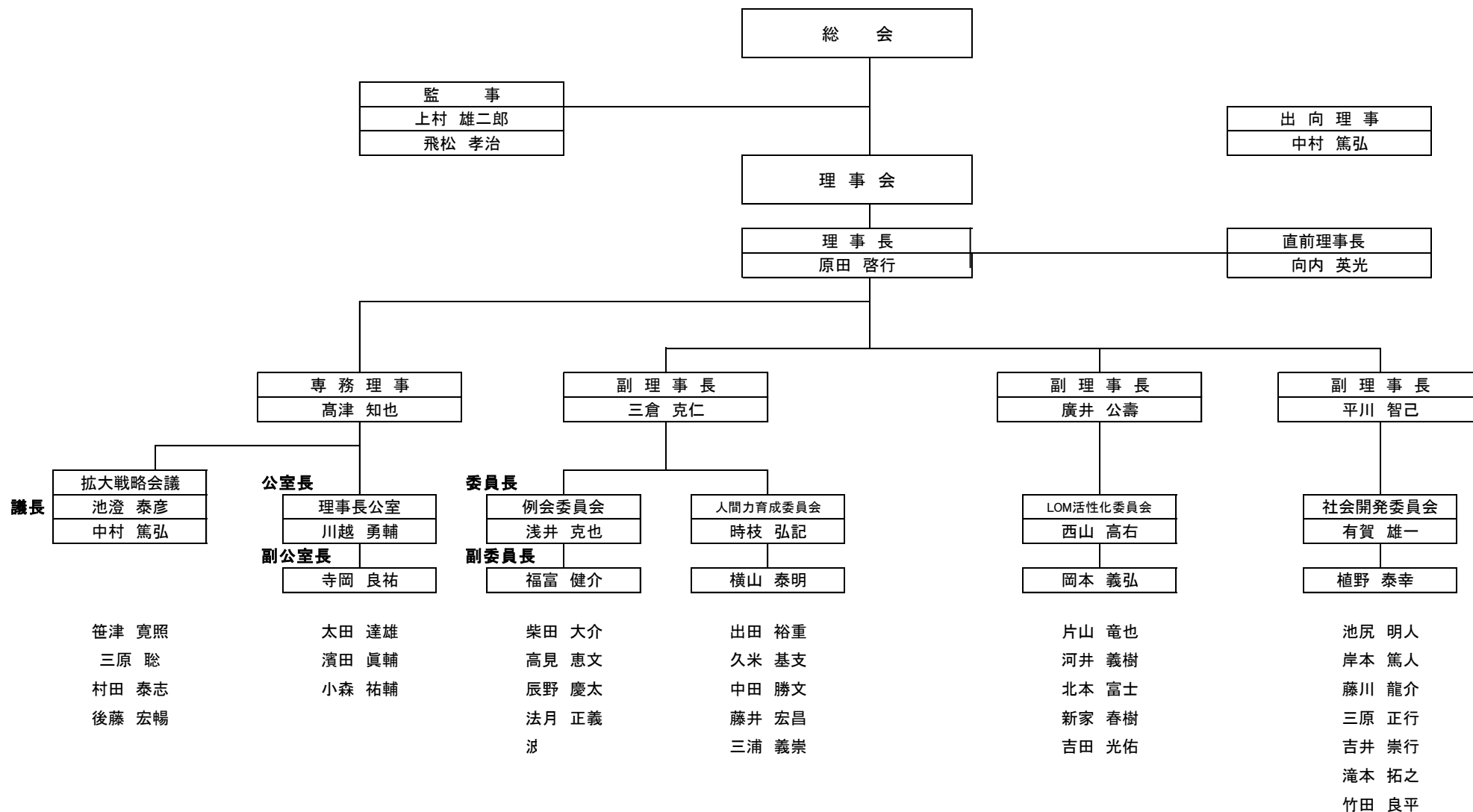
理 事 長	原 田	啓 行
直前理事長	向 内	英 光
副理事長	廣 井	公 壽
	平 川	智 己
	飛 松	孝 治
	三 倉	克 仁
専務理事	高 津	知 也
理 事	池 澄	泰 彦
	川 越	勇 輔
	有 賀	雄 一
	時 枝	弘 記
	西 山	高 右
	浅 井	克 也
出向理事	中 村	篤 弘
監 事	上 村	雄二郎
	飛 松	孝 治

12. 出向者一覧

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

出 向 先	役 職	出向者氏名
	監査担当役員	上村 雄二郎
	セクレタリー	法月 正義
	セクレタリー	濱田 眞輔
	セクレタリー	村田 泰志
日本 JC 連携推進委員会	副 委 員 長	三倉 克仁
兵庫ビジョン創造委員会	副 委 員 長	時枝 弘記
兵庫アカデミー委員会	委 員 長	中村 篤弘
	委 員	植野 泰幸
	委 員	藤川 龍介
	セクレタリー	出田 裕重
	セクレタリー	中田 勝文
	セクレタリー	三浦 義崇
JC 運動発信委員会	委 員	有賀 雄一
ブロック大会運営委員会	委 員	浅井 克也
財務規則審査会議	委 員	寺岡 良祐

13. 組織及び委員会構成



14. 褒 賞

褒章委員会	原田 啓行 理事長	向内 英光 直前理事長
	上村 雄二郎 監事	飛松 孝治 監事
	廣井 公壽 副理事長	平川 智己 副理事長
	三倉 克仁 副理事長	高津 知也 専務理事

- | | |
|-------------|----------------------------|
| 1. 最優秀委員会賞 | 人間力育成委員会 |
| 2. 優秀委員会賞 | 例会委員会 |
| 3. 優秀事業賞 | 日本のふるさと淡路島～はじまりの地からのメッセージ～ |
| 4. 最優秀会員賞 | 植野 泰幸 |
| 5. 優秀会員賞 | 寺岡 良祐 |
| 6. 最優秀新会員賞 | 竹田 良平 |
| 7. 優秀新会員賞 | 滝本 拓之 |
| 8. LOM 功労賞 | 拡大戦略会議 理事長公室 |
| 9. 出向者功労賞 | 中村 篤弘 |
| 10. 出向者奨励賞 | 出田 裕重 中田 勝文 三浦 義崇 |
| 11. 例会出席奨励賞 | 浅井 克也 有賀 雄一 池澄 康彦 上村 雄二郎 |
| | 植野 泰幸 片山 竜也 川越 勇輔 高津 知也 |
| | 滝本 拓之 竹田 良平 寺岡 良祐 時枝 弘記 |
| | 飛松 孝治 中田 勝文 中村 篤弘 西山 高右 |
| | 法月 正義 原田 啓行 平川 智己 廣井 公壽 |
| | 福富 健介 三浦 義崇 三倉 克仁 向内 英光 |
| | 村田 泰志 横山 泰明 |
| 12. 特別功労賞 | 上村 雄二郎 向内 英光 |
| 13. 卒業生感謝状 | 上村 雄二郎 岡本 義弘 片山 竜也 河井 義樹 |
| | 北本 富士 高津 知也 飛松 孝治 西山 高右 |
| | 廣井 公壽 三原 正行 向内 英光 |

15. 決算報告

貸借対照表

2014年12月31日現在

科 目	当年度（第2期）	前年度（第1期）	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	8,093,411	7,541,601	551,810
未収金	0		
前渡金	0		
流動資産合計	8,093,411	7,541,601	551,810
2. 固定資産			
(1) 基本財産	0	0	0
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定財産	0		0
特定財産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
什器備品	232,862	386,649	△ 153,787
有価証券	10,000	10,000	0
敷金	300,000	300,000	0
その他固定資産合計	542,862	696,649	△ 153,787
資 産 合 計	8,636,273	8,238,250	398,023
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計	0	0	0
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負 債 合 計	0	0	0
III 正味財産の部			0
1. 指定正味財産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定財産への充当額)	0	0	0
一般正味財産合計	8,636,273	8,238,250	398,023
正味財産合計	8,636,273	8,238,250	398,023
負債及び正味財産合計	8,636,273	8,238,250	398,023

正味財産増減決算書

自 平成 26 年 1 月 1 日

至 平成 26 年 12 月 31 日

単位:円

科 目	当年度	前年度(9ヶ月間)	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①受取入会金	250,000	200,000	50,000
入会金	250,000	200,000	50,000
②受取会費	7,990,000	4,620,000	3,370,000
正会員受取会費	7,840,000	4,560,000	3,280,000
その他受取会費	150,000	60,000	90,000
③事業収益	2,253,000	1,127,000	1,126,000
受託事業収益	0	0	0
登録料	1,838,000	1,121,000	717,000
その他事業収益	415,000	6,000	409,000
④受取負担金	0	0	0
⑤受取寄付金	300,000	620,000	△ 320,000
寄付金	300,000	620,000	△ 320,000
⑥雑収益	13,124	15,472	△ 2,348
受取利息	1,448	723	725
受取配当金	500	500	0
雑収益	11,176	14,249	△ 3,073
経常収益計	10,806,124	6,582,472	4,223,652
(2) 経常費用			
①事業費			
給料手当	232,328	150,402	81,926
福利厚生費	30,202	20,304	9,898
会場費、賃借料	766,430	619,550	146,880
消耗品費	452,805	308,500	144,305
レンタル料	0	15,750	△ 15,750
食糧費	17,760	71,374	△ 53,614
減価償却費	34,723	39,087	△ 4,364
水道光熱費	56,531	31,256	25,275
支払手数料	170,000	130,000	40,000
講師関係費	24,990	19,750	5,240
諸謝金	315,000	25,000	290,000
資料作成費	1,291,425	537,493	753,932
広告普及費	135,844	237,579	△ 101,735
報告書作成費	200,799	2,247	198,552
旅費交通費	67,850	220,550	△ 152,700
交際費	1,739,400	1,259,630	479,770
保険料	13,890	16,020	△ 2,130
印刷製本費	708,054	391,155	316,899
通信運搬費	116,632	289,916	△ 173,284
支払負担金	11,000	11,000	0
雑費	17,652	19,770	△ 2,118
事業費 計	6,403,315	4,416,333	1,986,982

科 目	当年度	前年度	増減
② 管理費			
会議費	10,400	175,100	△ 164,700
給料手当	727,672	574,878	152,794
福利厚生費	94,771	75,871	18,900
渉外費	302,019	265,090	36,929
慶弔費	126,260	98,965	27,295
減価償却費	108,956	146,064	△ 37,108
消耗品費	280,997	299,091	△ 18,094
通信費	336,406	277,045	59,361
印刷製本費	20,746	45,883	△ 25,137
賃借料	773,500	603,500	170,000
光熱水料費	177,391	116,799	60,592
諸謝金	108,000	105,000	3,000
修理費	28,823	0	28,823
租税公課	22,552	1,050	21,502
雑費	80,994	38,718	42,276
管理費 計	3,199,487	2,823,054	376,433
③ 負担金			0
JCI会費	55,566	0	55,566
日本JC会費	275,000	0	275,000
国際協力資金	89,425	0	89,425
近畿地区会費	90,200	0	90,200
兵庫ブロック会費	285,000	0	285,000
負担金 計	795,191	0	795,191
経常費用計	10,397,993	7,239,387	3,158,606
当期経常増減額	408,131	△ 656,915	1,065,046
2.経常外増減の部			0
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
什器備品除却損	10,108		10,108
経常外費用計	10,108	0	10,108
当期経常外増減額	△ 10,108	0	△ 10,108
当期一般正味財産増減額	398,023	△ 656,915	1,054,938
一般正味財産期首残高	8,238,250	8,895,165	△ 656,915
一般正味財産期末残高	8,636,273	8,238,250	398,023
Ⅱ 指定正味財産増減の部			0
基本財産評価益	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	8,636,273	8,238,250	398,023

正味財産増減決算書

自 平成26年 1月 1日

至 平成26年12月31日

単位:円

科 目	決算額 H26.1.1～H26.12.31	修正予算額 H26.1.1～H26.12.31	修正予算額との比較	当初予算額 H26.1.1～H26.12.31	決算額 H25.1.1～H25.12.31	備 考
I 一般正味財産増減の部						
1.経常増減の部						
(1)経常収益						
①受取入会金	250,000	250,000	0	0	250,000	新入会員5名×¥50,000
②受取会費	7,990,000	7,990,000	0	7,510,000	8,380,000	
正会員受取会費	7,840,000	7,840,000	0	7,360,000	7,840,000	49名×¥160,000
その他受取会費	150,000	150,000	0	150,000	540,000	卒業生5名×¥30,000
③事業収益	2,253,000	0	2,253,000	0	2,955,000	
受託事業収益	0	0	0	0	0	
登録料	1,838,000	0	1,838,000	0	2,689,000	新年会・島まつり
その他事業収益	415,000	0	415,000	0	266,000	新年会お祝い・助成金
④受取負担金	0	0	0	0	0	
⑤寄付金	300,000	0	300,000	0	620,000	OB会・卒業記念品
⑥雑収益	13,124	1,500	11,624	1,500	16,473	
受取利息	1,448	1,500	▲ 52	1,500	1,724	
配当金	500	0	500	0	500	
雑収益	11,176	0	11,176	0	14,249	日本JC還元金・預かり金返金
経常収益計	10,806,124	8,241,500	2,564,624	7,511,500	12,221,473	
(2)経常費用						
①事業費						
給料手当	72,400	72,400	0	72,400	70,000	
福利厚生費	0	0	0	0	0	
会議費 貸借料	519,930	592,080	▲ 72,150	592,080	531,050	
消耗品費	363,256	453,291	▲ 90,035	453,291	491,212	
レンタル料	0	0	0	0	15,750	
食糧費	17,760	122,650	▲ 104,890	122,650	71,374	
人件費	0	7,000	▲ 7,000	7,000	0	
支払手数料	170,000	60,000	110,000	60,000	485,000	
講師関係費	24,990	41,700	▲ 16,710	41,700	19,750	
諸謝金	315,000	746,480	▲ 431,480	746,480	25,000	
資料作成費	1,291,425	371,747	919,678	371,747	739,727	
広告普及費	135,844	140,960	▲ 5,116	140,960	239,028	
報告書作成費	200,799	3,799	197,000	3,799	2,247	
旅費交通費	67,850	450,000	▲ 382,150	450,000	220,550	
交際費	1,739,400	0	1,739,400	0	2,502,630	
保険料	13,890	24,820	▲ 10,930	24,820	16,020	
印刷製本費	701,500	654,000	47,500	654,000	778,638	
通信運搬費	9,425	12,263	▲ 2,838	12,263	220,188	
支払負担金	11,000	10,000	1,000	10,000	11,000	
雑費	17,652	8,210	9,442	8,210	44,488	
事業費計	5,672,121	3,771,400	1,900,721	3,771,400	6,483,652	

科 目	決算額 H26.1.1～H26.12.31	修正予算額 H26.1.1～H26.12.31	修正予算額との比較	当初予算額 H26.1.1～H26.12.31	決算額 H25.1.1～H25.12.31	備 考
②管理費						
会議費	10,400	15,000	▲ 4,600	15,000	231,800	総会ハガキ代
給料手当	887,600	887,600	0	887,600	890,000	
退職給付引当金	0	0	0	20,000	0	
福利厚生費	124,973	165,000	▲ 40,027	165,000	123,174	雇用保険料・交通費
渉外費	302,019	365,000	▲ 62,981	365,000	344,018	明石JCお祝い・褒賞・公式訪問・各種団体委員
慶弔費	126,260	150,000	▲ 23,740	200,000	114,795	
減価償却費	143,679	130,000	13,679	58,994	200,856	
消耗品費	370,546	250,000	120,546	250,000	421,045	コピー用紙・トナー代
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	
通信費	443,613	505,000	▲ 61,387	505,000	492,570	電話代・JCプレス送料他
印刷製本費	27,300	45,000	▲ 17,700	45,000	109,040	年始の挨拶状
賃借料	1,020,000	1,020,000	0	1,020,000	1,020,000	¥85,000×12ヶ月
光熱水料費	233,922	250,000	▲ 16,078	250,000	219,908	
諸謝金	108,000	100,000	8,000	100,000	105,000	税理士報酬
修理費	28,823	50,000	▲ 21,177	50,000	37,149	コピー機修理代
租税公課	22,552	25,000	▲ 2,448	25,000	3,598	印紙代・県民税
雑費	80,994	150,000	▲ 69,006	150,000	78,743	新聞代
	3,930,681	4,107,600	▲ 176,919	4,106,594	4,391,696	
③負担金						
JCI会費	55,566	55,566	0	52,164	43,708	¥1,134×49名
日本JC会費	275,000	275,000	0	260,000	275,000	¥30,000+¥5,000×49名
国際協力資金	89,425	89,425	0	83,950	89,425	¥5×365日×49名
近畿地区会費	90,200	90,200	0	84,800	90,200	¥2,000+¥1,800×49名
兵庫ブロック会費	285,000	285,000	0	270,000	285,000	¥40,000+¥5,000×49名
	795,191	795,191	0	750,914	783,333	
管理費計	4,725,872	4,902,791	▲ 176,919	4,857,508	5,175,029	
経常費用計	10,397,993	8,674,191	1,723,802	8,628,908	11,658,681	
当期経常増減額	408,131	▲ 432,691	840,822	▲ 1,117,408	562,792	
2.経常外増減の部						
(1)経常外収益						
経常外収益計						
(2)経常外費用						
経常外費用計	10,108	0	10,108			
経常外費用増減額						
一般正味財産増減額	398,023	▲ 432,691	830,714	▲ 1,117,408	562,792	
一般正味財産期首残高	8,238,250	8,238,250	0		7,675,458	
一般正味財産期末残高	8,636,273	7,805,559	830,714	▲ 1,117,408	8,238,250	
II 正味財産期末残高	8,636,273	7,805,559	830,714	▲ 1,117,408	8,238,250	

正味財産増減決算書

自 平成26年 1月 1日

至 平成26年12月31日

単位:円

科 目	実施事業等会計			その他会計		法人会計	内部取引消去	合 計
	継続1	継続2	小計	その他事業	小計			
	わんぱく相撲	社会開発		研修交流等				
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
①受取入金						250,000		250,000
受取入金						250,000		250,000
②受取会費						7,990,000		7,990,000
正会員受取会費						7,840,000		7,840,000
その他受取会費						150,000		150,000
③事業収益						2,253,000		2,253,000
受託事業収益								
登録料						1,838,000		1,838,000
その他事業収益						415,000		415,000
④受取負担金						0		0
⑤受取寄付金						300,000		300,000
寄付金						300,000		300,000
⑥雑収益						13,124		13,124
受取利息						1,448		1,448
配当金						500		500
雑収益						11,176		11,176
経常収益計			0	0	0	10,806,124		10,806,124
2. 経常費用								
①事業費								
給料手当	20,000	52,400	72,400	159,928	159,928	232,328		232,328
福利厚生費	2,604	6,769	9,373	20,829	20,829	30,202		30,202
会議・賃借料	21,250	230,500	251,750	514,680	514,680	766,430		766,430
消耗品費	16,064	65,789	81,853	370,952	370,952	452,805		452,805
食糧費	11,600	0	11,600	6,160	6,160	17,760		17,760
レンタル料	0	0	0	0	0	0		0
人件費	0	0	0	0	0	0		0
支払手数料	0	40,000	40,000	130,000	130,000	170,000		170,000
講師関係費	0	5,400	5,400	19,590	19,590	24,990		24,990
諸謝金	0	0	0	315,000	315,000	315,000		315,000
資料作成費	410	1,100,820	1,101,230	190,195	190,195	1,291,425		1,291,425
広告普及費	54,994	59,850	114,844	21,000	21,000	135,844		135,844
報告書作成費	0	200,000	200,000	799	799	200,799		200,799
旅費交通費	0	0	0	67,850	67,850	67,850		67,850
交際費	0	0	0	1,739,400	1,739,400	1,739,400		1,739,400
保険料	4,200	0	4,200	9,690	9,690	13,890		13,890
印刷製本費	13,540	61,905	75,445	632,609	632,609	708,054		708,054
通信費	9,652	26,211	35,863	80,769	80,769	116,632		116,632
支払負担金	10,000	0	10,000	1,000	1,000	11,000		11,000
水道光熱費	4,873	12,671	17,544	38,987	38,987	56,531		56,531
減価償却費	2,993	7,783	10,776	23,947	23,947	34,723		34,723
雑費	0	2,052	2,052	15,600	15,600	17,652		17,652
事業費 計	172,180	1,872,150	2,044,330	4,358,985	4,358,985	6,403,315		6,403,315

②管理費								
会議費						10,400		10,400
給料手当						727,672		727,672
福利厚生費						94,771		94,771
減価償却費						108,956		108,956
渉外費						302,019		302,019
慶弔費						126,260		126,260
消耗品費						280,997		280,997
消耗什器備品費						0		0
賃借料						773,500		773,500
通信費						336,406		336,406
印刷製本費						20,746		20,746
光熱水料費						177,391		177,391
諸謝費						108,000		108,000
修理費						28,823		28,823
租税公課						22,552		22,552
雑費						80,994		80,994
管理費 計	0	0	0	0	0	3,199,487		3,199,487
③負担金								
JCI会費						55,566		55,566
日本JC会費						275,000		275,000
国際協力資金						89,425		89,425
近畿地区会費						90,200		90,200
兵庫ブロック会費						285,000		285,000
負担金 計	0	0	0	0	0	795,191		795,191
経常費用計	172,180	1,872,150	2,044,330	4,358,985	4,358,985	10,397,993		10,397,993
当期経常増減額	△ 172,180	△ 1,872,150	△ 2,044,330	△ 4,358,985	△ 4,358,985	408,131		408,131
3. 経常外増減の部								
①経常外収益	0	0	0	0	0	0		0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0		0
②経常外費用								
什器備品除却損						10,108		10,108
経常外費用計	0	0	0	0	0	10,108		10,108
経常外費用増減額	0	0	0	0	0	△ 10,108	0	△ 10,108
当期一般正味財産増減額	△ 172,180	△ 1,872,150	△ 2,044,330	△ 4,358,985	△ 4,358,985	398,023	0	398,023
一般正味財産期首残高						8,238,250		8,238,250
一般正味財産期末残高	△ 172,180	△ 1,872,150	△ 2,044,330	△ 4,358,985	△ 4,358,985	8,636,273		8,636,273
II 指定正味財産増減の部								
基本財産評価益	0	0	0	0	0	0		0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0		0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0		0
III 正味財産期末残高	△ 172,180	△ 1,872,150	△ 2,044,330	△ 4,358,985	△ 4,358,985	8,636,273		8,636,273

正味財産増減内訳表

科目	実施事業会計						その他会計											法人会計	
	わんぱく相撲		社会開発事業		計		理事長公室		拡大戦略会議		人間力育成		LOM活性化		例会		計		
	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額小計	決算額小計	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額		決算額
I 一般正味財産増減の部																			
1. 経常増減の部																			
①受取入会金																			250,000
受取入会金																			7,840,000
②受取会費																			150,000
正会員受取会費																			
その他受取会費																			
③事業収益																			415,000
受託事業収益																			
その他事業収益																			
登録料																			1,838,000
④受取負担金																			
⑤寄付金																			300,000
⑥雑収益																			1,448
受取利息																			500
配当金																			11,176
雑収益																			
⑦特別会計受入																			
経常収益計																			10,806,124
2. 経常費用																			
①事業費																			
給料手当		20,000		52,400	0	72,400													72,400
福利厚生費					0	0													0
会議費 賃借料			250,000	175,250	250,000	175,250	21,000	21,000	63,000	63,600	82,000	84,000	72,000	72,000	104,080	104,080	342,080	344,680	519,930
消耗品費	9,500	8,344	75,600	45,718	85,100	54,062	11,403	5,400	27,952	15,900	41,262	37,470	185,037	154,314	102,537	96,110	368,191	309,194	363,256
食糧費	14,520	11,600	100,000	0	114,520	11,600					8,130			6,160			8,130	6,160	17,760
レンタル料				0	0	0											0	0	0
人件費			7,000	0	7,000	0											0	0	0
支払手数料			30,000	40,000	30,000	40,000							30,000	130,000			30,000	130,000	170,000
講師関係費			5,400	5,400	5,400	5,400			5,250	0	16,050	16,350			15,000	3,240	36,300	19,590	24,990
諸謝金			440,000	0	440,000	0					300,000	300,000			6,480	15,000	306,480	315,000	315,000
資料作成費	410	410	125,000	1,100,820	125,410	1,101,230	798	820	234,798	167,476	4,078	4,078	820	9,208	5,843	8,613	246,337	190,195	1,291,425
広告普及費	40,960	54,994	100,000	59,850	140,960	114,844				21,000	0						0	21,000	135,844
報告書作成費			3,000	200,000	3,000	200,000	799	799									799	799	200,799
旅費交通費			350,000	0	350,000	0					100,000	67,850					100,000	67,850	67,850
交際費				0	0	0	0							1,739,400			0	1,739,400	1,739,400
保険料	7,000	4,200	10,000	0	17,000	4,200								3,250	7,820	6,440	7,820	9,690	13,890
印刷製本費	27,000	12,970		60,480	27,000	73,450	315,000	315,000		0			312,000	313,050			627,000	628,050	701,500
通信運搬費	400	410	1,000	2,182	1,400	2,592					480	406	10,143	6,181	240	246	10,863	6,833	9,425
支払負担金	10,000	10,000			10,000	10,000								1,000			0	1,000	11,000
雑費	210		3,000	2,052	3,210	2,052				0	0		5,000	15,600			5,000	15,600	17,652
小計	110,000	122,928	1,500,000	1,744,152	1,610,000	1,867,080	349,000	343,019	331,000	267,976	552,000	510,154	615,000	2,450,163	242,000	233,729	2,089,000	3,805,041	5,672,121

②管理費																				
会議費																				10,400
給料手当																				887,600
福利厚生費																				124,973
減価償却費																				143,679
渉外費																				302,019
慶弔費																				126,260
消耗品費																				370,546
消耗什器備品費																				
賃借料																				1,020,000
通信費																				443,613
印刷製本費																				27,300
光熱水料費																				233,922
諸謝費																				108,000
修理費																				28,823
租税公課																				22,552
雑費																				80,994
小計	0																			3,930,681
③負担金																				
JCI会費																				55,566
日本JC会費																				275,000
国際協力資金																				89,425
近畿地区会費																				90,200
兵庫ブロック会費																				285,000
小計	0																			795,191
経常費用計																				4,725,872
当期経常増減額																				408,131
3. 経常外増減の部																				
①経常外収益																				
経常外収益計																				0
②経常外費用																				
什器備品除却損																				10,108
経常外費用計																				10,108
経常外費用増減額																				▲ 10,108
一般正味財産増減額																				398,023
一般正味財産期首残高																				8,238,250
一般正味財産期末残高																				8,636,273
II 正味財産期末残高																				8,636,273

2014 年度 事業収益明細一覧

自 2013 年 4 月 1 日

至 2013 年 12 月 31 日

単位：円

款	中科目	事業名	合計	金額（1人当り）	参加人数	小計	返金	担当委員会	備考	
事業収益	受託事業収益									
	小計		0							
	登録料	新年会		1,410,000	15,000	94	1,410,000	0	LOM活性化委員会	
		会員交流事業		188,000	4,000	47	188,000	0	LOM活性化委員会	淡路島まつり大会 出立
		会員交流事業		240,000	5,000	48	240,000	0	LOM活性化委員会	淡路島まつり大会 交流会
								0		
							0			
							0			
	小計		1,838,000			1,838,000	0			
	その他事業収益 助成金	新年会		215,000			215,000	0	LOM活性化委員会	お祝い
社会開発事業			200,000			200,000	0	社会開発委員会	一般財団法人淡路島くにうみ協会	
	小計		415,000			415,000				
	合計		2,253,000							

2014 年度寄付金収入明細一覧

寄付金	寄付金		0						
	一般寄付金		150,000						OB会
			150,000						卒業生記念品5名×¥30,000
	小計		300,000						
	合計		300,000						

2014 年度財産目録

2014 年 12 月 31 日現在

科 目		金 額	摘 要
現金・預金	合 計	8,093,411	
現 金		0	
淡路信用金庫/本町支店 / 普通預金		798,878	No.0454865
淡路信用金庫/本店営業部/普通預金		4,950,654	No.0300206
"		500,064	No.0319813
"		120,014	No.0319821
"		152	No.0321012
淡路信用金庫/本町支店 / 普通預金		1,723,649	No.0749012
有価証券	合 計	10,000	
淡路信用金庫 出資証券		10,000	額面50円 200口 No.21942

財務諸表による個別注記

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産・・・法人税法の規定により、平成19年3月31日以前に取得した物は旧定率法、平成19年4月1日以後に取得した物は、定率法によっています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

(3) 有価証券の評価基準及び評価方法

移動平均法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末帳簿残高は、次のとおりであります。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
エアコン	510,000	499,795	10,205
パーテーション	271,950	247,744	24,206
ファックス	202,160	0	廃棄除却
コピー機	493,500	493,499	1
コピー機	472,500	274,050	198,450
合 計	1,950,110	1,515,088	232,862

*廃棄除却損 10,108円

16. 監 査 報 告

一般社団法人淡路青年会議所
代表理事 原田 啓行 殿

私たち監事は、平成26年1月1日から平成26年12月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及びこれらの附属明細書）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示してしるものと認めます。

平成26年12月29日

一般社団法人淡路青年会議所

監事 上村 雄二郎 印

監事 飛松 孝治 印

17. 資 料

1. 各事業別写真
2. 新聞記事切抜

17. 資料 事業写真

1月例会～新たな羅針盤を手に入れる～・第2回定時総会 2014年1月15日(水)



新年会 2014年1月15日(水)



2月例会～今こそ拡大の刻～2014年2月12日（水）



3月例会～新たなる自分を切り拓く～2014年3月12日（水）



淡路 JC 説明会 2014 年 3 月 18 日 (火)



LOM 役員懇談会 2014 年 3 月 25 日 (火)



4月例会～自ら燃える心を持つ～ 2014年4月9日（水）



研修事業～Pride of Awaji Jaycee～ 2014年4月18日（金）



第 20 回記念大会わんぱく相撲淡路場所 2014 年 5 月 5 日 (月)



5 月例会～団結せよ！組織力は委員会から～ 2014 年 5 月 14 (水)



A 70v7			B 70v7			
	人間力	公堂	拓大	社開	例会	LOM
1	人間力	2-0	2-0	社開	3-2	1-0
2	公堂	0-2	3-2	例会	2-3	0-0
3	拓大	0-2	2-3	LOM	0-1	0-0

6月例会～“まちづくり”温故知新～ 2014年6月11日(水)



2014年度わんぱく相撲兵庫ブロック大会 2014年6月15日(日)



7月例会～一票に未来を託して～ 2014年7月9日（水）



淡路島まつりおどり大会～みんなで広げよう交流の輪～ 2014年8月2日（土）



8月例会～次代を担う Jaycee となれ！～ 2013年8月6日（水）



9月例会～継続と発展の絶対条件～ 2014年9月10日（水）



淡路 JC 説明会（後期） 2014年9月17日（水）



10月例会～時を超えて受け継がれるもの～ 2014年10月8日（水）



日本のふるさと淡路島～はじまりの地からのメッセージ～ 2014年10月26日(日)



11月例会～Jaycee精神の継承～ 2014年11月12日(水)



12月例会～新たなる旅路へ～ 2014年12月10日（水）



淡路

妥協なき挑戦

平成26年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。私も一般社団法人淡路青年会議所は、半世紀以上もの間、「淡路はひとつ」の理念のもと一貫した地域のひとつへり・まちづくりを行ってまいりました。時代が変わるうとも、その理念は決して変わることはありません。

私たち青年世代はバブル期を経験せず、失われた20年と呼ばれる真つた道中を歩んで参りました。そのような暗い状況であっても、物質的には豊かであり、何でも簡単に手に入るという食いや生活が楽になりました。とてもすばらしい生活が送られてきました。でも「一日々の生活が楽しければそれでいい」という過ごし方をしている方が多くなります。必要以上に「個人」を尊重する風潮で、きわめて利己的な考えを持つ者が多くなってきたように感じます。それが行き過ぎてしまつたら、組織やコミュニティ、社会が健全な形で存在できなくなることも否定できません。そのような問題を払拭するため、まず他者に敬意を払い、そして自

一般社団法人淡路青年会議所
第52代理事長 原田啓行氏



選択と集中、そして未来へ

らをはぐくんでくれた地域に感謝し、さまざまな問題に対し、具体的な行動を起こしていただける真のリーダーシップの育成に取り組みたいと考えております。

また、まちづくりにおける課題の原点は「人それぞれ豊かさの概念が違うところにある」と考えます。すでにある財産が多ければ多いほど、さまざまな思想が交錯し、身動きが取れない事態を生むことがあります。このような

状況を切り開くためには、まず「淡路島にとって、何が必要で何が必要ではないのか」、すなわち何を「捨て」、何を「守り」、どう「創造する」かとの視点が必要になります。そのような中でも決して失ってはいけないものがあります。それは長い年月に積み重ねられ、紡がれてきた歴史・伝統・文化に裏付けられた地域の在り方、すなわち淡路島のアイデンティティーです。先人から受け継がれてき

た大切なものをあらためて深く理解し、時代に則した発想を持って再生することで新たな創造が行われます。今こそ、この淡路島の存在意義を示すために「選択と集中」を図り、明確なコンセプトを掲げる必要があります。

この愛すべき淡路島の特色を磨き上げ、どの地域よりも魅力的で価値の高いものを目指す。そうすることで他から見ても淡路島が必要不可欠な存在となり、また、それを目指す行為の積み

重ねが本当の意味での島民の淡路島に対する「誇り」となります。本年度、スローガンを「妥協なき挑戦」新たな1ページを刻むために」といたしました。同じ時代に生きる同志とともに、妥協なきひとつへり・まちづくりに取り組み、そのような一瞬一瞬をかみしめ挑戦していくことが、この淡路島の歴史に新しい1ページを刻むものと信じております。

「今できること」は今回から「妥協なき挑戦」とタイトルを変更します。未来の淡路島づくりに向け、淡路青年会議所のメンバーからの寄稿を掲載します。

-
- ニュースのご連絡は
洲本支局
〒656-0026
洲本市栄町2-2-15
(本館ビル2階)
0799 (22) 1450
FAX 0799 (25) 2125
-
- 姫路支局
〒670-0921
姫路市橋町119
姫路不動産ビル内
079 (224) 5551
FAX 079 (226) 3191
-
- 駐在
加古川 079 (421) 7520
-
- 豊岡支局
〒668-0025
豊岡市幸町13-20
0796 (22) 6151
FAX 0796 (29) 2338
-
- 通信部
香住 0796 (36) 4499
-
- 神戸総局
〒650-0015
神戸市中央区
多賀通4-1-5
078 (351) 1771
FAX 078 (361) 3001
-
- 阪神支局
〒662-0918
西宮市六瀬寺町9-11
0798 (33) 5881
FAX 0788 (37) 2477
-

淡路

妥協なき挑戦

一般社団法人淡路青年会議所(淡路J.C.)で平成26(2014)年度出向理事を務めています。19年に淡路J.C.のドアをノックし、はや8年目を迎えました。今年度、第52代原田理事長が指し示す「妥協なき挑戦」のもと、活動を行うのですが、喫緊の課題となっているのが、会員の拡大です。

青年会議所について説明をさせていただきますと、ある青年が米国で立ち上げた団体で、またたく間に世界各国に波及し、昭和24年、日本でも創立されました。24年といえば、第二次世界大戦後の焼け野原が残る時代であり、そんな時代に志高く「明るい豊かな社会の実現」を掲げ、日々、地域社会の問題に立ち向かっている団体です。淡路島でも87年に淡路J.C.が創立し、今年で52年目を迎えました。今日まで活動できているのも、みなさま方の多大なるご支援、ご鞭撻のためであると感謝しております。この場をお借りし、深

一般社団法人淡路青年会議所

中村篤弘氏



経験せずにはわからない

く御礼申し上げます。話を戻しますが、近年は長引く不況などさまざまな要因で、会員の減少に歯止めがきかない状況です。これは淡路J.C.のみならず、全国の各種団体でも同様のことが言えます。入会者は減っていますが、私は逆に守りに入るほど視野は狭まり、目先の物事にしか関心が薄れ、現状から脱することができなくなるのではないかと考えます。青

年であるわれわれの世代こそ外に出て、目の前で起こっている出来事を肌で感じ、多種多様な価値観に触れる。そうすることで現状を打破し、ビジョンに向かって飛躍する可能性がつかめるのではないかと思います。

正直、淡路J.C.に偏見をお持ちの方も多いらっしゃると思いますが、個人的には「あって当然だ」と思います。しかし、その偏見は拭い去ることができ

ます。よく先輩に「目の前にあるリンゴ、甘いか酸いかわかるか? かじってみたらわかる!」と言われました。まさにその通りで「経験せずには何事もわからない」ということです。私自身、淡路J.C.に一種の偏見を持っていました。入会してみれば、イメージとは全く異なるものでした。後々、考えますと、イメージはすべて、淡路J.C.と縁の薄い第三者から植えつけられ

たものでした。自分の頭で考えず、人から言われたことに踊らされてしまった自分自身の浅はかさをあらためて反省する次第です。今となれば、J.C.には感謝の念しかありません。ご入会いただければ、必ず自身の成長につながることを約束いたします。

最後になりましたが、われわれ淡路J.C.は今年、「妥協なき挑戦」をスローガンに、これまで以上に邁進する所存です。さまざまな場面で多くの方に御世話になりますが、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻、そして会員拡大にご協力いただきますようお願い申し上げます。

-
- ニュースのご連絡は
- 洲本支局**
- 〒656-0026
- 洲本市栄町2-2-15
- (本四ビル2階)
- 0799(22)1450
- FAX 0799(25)2125
- 姫路支局**
- 〒670-0921
- 姫路市練町119
- 姫路不動産ビル内
- 079(224)5551
- FAX 079(226)3191
- 駐在**
- 加古川 079(421)7520
- 豊岡支局**
- 〒668-0025
- 豊岡市幸町13-20
- 0796(22)6151
- FAX 0796(29)2338
- 通信部**
- 香住 0796(36)4499
- 神戸総局**
- 〒650-0015
- 神戸市中央区
- 多聞通4-1-5
- 078(351)1771
- FAX 078(361)3001
- 阪神支局**
- 〒662-0918
- 西宮市六浦寺町9-11
- 0798(33)5881
- FAX 0798(37)2477
-

淡路

妥協なき挑戦

平成21年春、淡路J.Cに出会うまで「青年会議所」のことを何も知りませんでした。説明会に誘われ、軽い気持ちで行った先で触れたメンバーの「熱いハート」に惚れ、同年7月に晴れて淡路J.Cのメンバーとなりました。

入会当初は右も左もわからず、ただ言われるままに行動していたように思います。しかし、そんな中で礼儀礼節や社会人としてのマナーなど、当時の私に欠けていた多くの部分をメンバーから学びました。普段交わす何気ない会話の端々から、J.C活動だけでなく、プライベートや仕事に至るまで、いろいろなヒントをいただきました。

入会当時、周囲のメンバーは全員が年上で、そういった環境に今まで身を置いたことがありませんでした。その意味で「よい経験」という言葉だけでは片づけられないくらい経験を積ませてもらったと思っています。

あれから約6年がたち、最も印象に残っている出来事があります。昨年、2度目の理事(委員長)をさせていただ

一般社団法人淡路青年会議所
川越勇輔氏



“大人の学校”で得たこと

だいたとまのことです。一つひとつの事業に対し、他のメンバーと企画から事業の本番に至るまで多くの時間と苦業をともにしました。そんな1年が終わるころ、同じ委員会のメンバーの一人と話をしている、ある質問をされました。「この1年で一番しんどかったのはいつだった?」。すると、そのメンバーは即答で「間違いない、わんぱくも辛い時期だったかもしれない。しかし、相撲の事業前日だった」と答えました。わんぱく相撲は、淡路J.Cで長年続く青少年育成事業です。私の委員会を担当事業で、多くの子供が真剣勝負をする以上、こちらも「準備を万全に」と思い、準備に動んだことを覚えていますが、毎晩のように集まり、準備をしていましたが、確かに体力的にも辛い時期だったかもしれない。しかし、相撲の事業前日だった」と答えました。わんぱく相撲は、淡路J.Cで長年続く青少年育成事業です。私の委員会を担当事業で、多くの子供が真剣勝負をする以上、こちらも「準備を万全に」と思い、準備に動んだことを覚えていますが、毎晩のように集まり、準備をしていましたが、確かに体力的にも辛い時期だったかもしれない。しかし、相撲の事業前日だった」と答えました。

入会当初は自分のことだけで精いっぱいでしたが、今は素晴らしい仲間とともに淡路島のひとつつくり・まちづくり。真剣に取り組んでいます。よく青年会議所は「大人の学校」と言われます。大人になってからでも一つの目標に向かい真剣に話し合い、共に濃い時間を過ごすことによって、自分自身の成長と一生付き合える友人ができる。そんな場が青年会議所であり、淡路J.Cであると思っています。

これからの淡路島を担う若い方々にぜひ入会していただき、「ともにまちづくりを通じて、成長できたら」と感じています。

今後もし、われわれの活動にご理解とご協力をお願いいたします。

-
 ニュースのご連絡は
洲本支局
 〒656-0026
 洲本市栄町2-2-15
 (本町ビル2階)
 0799 (22) 1450
 FAX 0799 (25) 2125
- 姫路支局**
 〒670-0921
 姫路市錦町119
 姫路不動産ビル内
 079 (224) 5551
 FAX 079 (226) 3191
- 駐在**
 加古川 079 (421) 7520
- 豊岡支局**
 〒668-0025
 豊岡市幸町13-20
 0796 (22) 6151
 FAX 0796 (29) 2338
- 通信部**
 書住 0796 (38) 4499
- 神戸総局**
 〒650-0015
 神戸市中央区
 多摩通4-1-5
 078 (351) 1771
 FAX 078 (381) 3001
- 阪神支局**
 〒662-0918
 西宮市六甲寺町9-11
 0798 (33) 5861
 FAX 0798 (37) 2477

妥協なき挑戦

一般社団法人淡路青年会議所
時枝弘記氏

日本中で、外で遊ぶ子供たちが減っていると感じます。淡路島でも、外で遊ぶことやスポーツをするのが昔ほど重要視されていらないように思います。そのことが、文部科学省の調査では体力や運動能力の低下につながっているわけです。なぜそんな結果になるか、子供を見る目と目線です。手軽に何時間も遊んでしまえるゲーム機の登場や屋外で気軽に遊べる場所の減少、また、何かしらのスポーツクラブに入らない、入らなくてもいいという環境など原因を挙げれば、きりがありません。便利ですと引き換えに失ったものも多くあると感じます。

われわれ「一般社団法人淡路青年会議所」は毎年5月、青少年育成事業として「わんぱく相撲淡路場所」を開催させていただいており、今年で20回を数えます。相撲を通して、青少年の健全な精神と身体育成を図ることを目的としています。子供たちの健全な育成には、パーソナルな場では感じることのできない経験を通して得られる「気づき」や「心の成長」がなければならぬと考えています。

大会では淡路全島の子供たちに参加を呼びかけ、小学1〜6年生の多くの児童たちに参加

「ぶつかり合い」を通じて育む

「子供たちを取り巻く環境が悪い」といつてもいいかもしれませんが、子供たちはその環境を当たり前として育っています。淡路島の未来を担う子供たちの

健やかな育成を促すべく、われわれの責任と誇り、第一20回記念大会は「わんぱく相撲淡路場所」を開催させていただきます。今年も第20回記念大会として、今年も「負けて悔しい」「勝つうれしい」という結果に感ずる感情も大事ですが、「どんな相手であれ、挑戦する」という気持ちを自分自身に刻んでいってほしい。その気持ちを大会参加後もさまざまな場面で発揮し、「勝つこと」なく挑戦できるようにしてほしい。と想っています。そのことが多くの経験を積み、未来を切り開いてくれる人材の育成につながると思っています。

「子供たちを取り巻く環境が悪い」といつてもいいかもしれませんが、子供たちはその環境を当たり前として育っています。淡路島の未来を担う子供たちの

健やかな育成を促すべく、われわれの責任と誇り、第一20回記念大会は「わんぱく相撲淡路場所」を開催させていただきます。今年も第20回記念大会として、今年も「負けて悔しい」「勝つうれしい」という結果に感ずる感情も大事ですが、「どんな相手であれ、挑戦する」という気持ちを自分自身に刻んでいってほしい。その気持ちを大会参加後もさまざまな場面で発揮し、「勝つこと」なく挑戦できるようにしてほしい。と想っています。そのことが多くの経験を積み、未来を切り開いてくれる人材の育成につながると思っています。



わんぱく相撲 参加者募集

来月5日 石屋小で20回記念大会



小学生が土俵でぶつかり合う「わんぱく相撲淡路場所」が5月5日、淡路市立石屋小学校で開催される。一般社団法人淡路青年会議所（JCI）が主催するもので、今年で20回記念大会を迎え、同JCIでは「過去最多の100人の参加を目指す」と参加者を募集している。

大会は各学年ごとに総当たりのリーグ戦を行い、4〜6年の男子優勝者は6月15日の兵庫ブロック地区大会（淡路市・津名スポーツセンター）に出場、さらに地区大会で上位入りすれば8月に東京・両国国技館で開催される全国大会に参加できる。昨年は淡路市内の小学生3人が全国大会に駒を進めた。

かつては80人以上が出場していたが、ここ数年は50人前後の参加者が推移している。同JCIは20回記念大会とあって過去最多の100人の参加を目標に掲げ、三賞（殊勲、敢闘、技能）や最多参加小学校への表彰を新設。担当の時枝弘記委員長は「土俵で体をぶつけあうことで相手に挑む勇気を育み、青少年の育成につなげたい。ぜひ参加を」と呼びかけている。

申し込み、問い合わせは 千656-0013 洲本市下加茂1-1-86 一般社団法人淡路青年会議所（☎0799・22・6611）へ。

神戸新聞 (第3種郵便物認可)

第20回記念わんぱく相撲淡路場所

来月5日に淡路市・石屋小

集まれ島の力自慢

集まれ島の力自慢。淡路の小学生力士が土俵上で心技体を高める「わんぱく相撲淡路場所」が5月5日、淡路市石屋の石屋小学校である。今年には第20回の記念大会で、殊勲、敢闘、技能の三賞などを新設。主催する淡路青年会議所は参加者を募っている。(佐藤健介)



小さな力士たちの挑戦を呼び掛ける淡路青年会議所のメンバー。洲本市役所

子どもへの健全育成を混同、4〜6年生は男図る恒例行事で、学年 女別で競う。4〜6年ごとにリーグ戦を、男子優勝者は6月15日、1〜3年生は男女 日に津名ホーツセン

今年三賞新設 参加者を募集

ター(淡路市大谷)である兵庫ブロック地区大会に進む。同大会上位4人は全国大会(8月3日、東京・西園国技館)の出場権を得る。ピーク時は90人近くに上ったエントリーも少子化で減少し、近年は50人前後にとどまるという。このため20回を記念し三賞のほか、選手数が最多の小学校を表彰。いずれも低学年と高学年に分けて選出することで参加を促す。

同会議所で大会運営を担当する時枝弘記さん(22)は「土俵という舞台で体と体をつつけ合い、相手に挑む勇気を育てほしい」と話している。

午前10時半〜午後4時。荒天時は6日に順延。参加無料。20日まで申し込み。同会議所事務局 ☎0799・22・6611

妥協なき挑戦

一般社団法人淡路青年会議所
西山高右氏

私は一般社団法人淡路青年会議所(淡路JC)で今年のLOM活性化委員長を務めています。LOMとは聞きなれない言葉だと思いますが、地区青年会議所(Local Organization)の頭文字をとった略称で、日本全国には約700地域にLOMがあり、淡路JCもその1つということになりました。

長引く不況など、さまざまな要因が絡み合い、最近では必要以上に「個」を尊重する風潮が生まれ、利己的な考えを持つ人が多くなってきたように感じます。それが行き過ぎると社会が健全でなくなるのは確かです。対話の重要性をよく考え、人と人との関わり合いを今まで以上のものとしていかなければなりません。今こそ他者に敬意を払い、思いやる必要があるのではないのでしょうか。

私はサレシス業という職業柄、人々との関わり合いの中で生活を営んでいますが、コミュニケーションの重要性を深く考えた事はありませんでした。目先の事にしか関心がなく、本質を追究していなかった感も否めません。

淡路JCは島内のさまざまな業種を営む青年経済人が一堂に

淡路島全体を「笑顔の島」に



Awaji Island

会する組織で、そこで自分とは、聞いた。私を担当するLOM活性化委員会の役割は、原田理事長が指し示す「妥協なき挑戦」のもと、会員全員と協和し、交流の輪を大きく広げ、組織内を活性化させる事であり、まずは自分の視野を広げることから始めました。相手の言葉に耳を傾け、それまで気づかなかった事を発見する度、コミュニケーションの重要性を痛感しました。また事業へ積極的に参加して行く中で、笑顔で関わり合っていく事が相互交流の意識を高める事に繋がるのだと確信をもち、改めてお話し致します。

2014年(平成26年)5月6日 火曜日 不申 戸

児童42人が好取組披露

淡路市相撲大会で力比べ



土俵上で懸命に力を振り絞る小学生力士たち＝石屋小学校

この日の5日、力を自慢の小学生淡路島と毎年開く。今年も第一を決める「わんぱく相撲淡路場所」が、淡路市岩屋の石屋小学校であった。小学1～6年生42人が手に汗握る取組を披露し、土俵際の家族や地域の人たちを沸かせた。

淡路青年会議所(洲本市)の主催。子どもたちに勇気を振り絞る姿を一番懸命に取り、体をぶつけ合う体

【優勝者】1年 佐藤智斗(神代)、2年 城田有斗(塩田)、3年 中川凌我(塩田)、4年 女子 杉本波音(鳥飼)、4年 男子 古東諒斗(神代)、5年 女子 藤平希蘭々(阿万)、5年 男子 萩原海輝(石屋)、6年 男子 尻亮佑(室津)

【最多参加小学校】低学年 神代、高学年 石屋、阿万

【最多参加小学校】低学年 神代、高学年 石屋、阿万

【優勝者】1年 佐藤智斗(神代)、2年 城田有斗(塩田)、3年 中川凌我(塩田)、4年 女子 杉本波音(鳥飼)、4年 男子 古東諒斗(神代)、5年 女子 藤平希蘭々(阿万)、5年 男子 萩原海輝(石屋)、6年 男子 尻亮佑(室津)

【最多参加小学校】低学年 神代、高学年 石屋、阿万

わんぱく相撲 20回記念白熱

淡路場所



第20回記念大会わんぱく相撲淡路場所(淡路青年会)が5日、淡路市岩屋の市立石屋小学校で開かれ、小学1～6年生計42人が白熱した取組を繰り広げた。

2年生で優勝した同市立塩田小、城田有斗君(7)は「リーグ戦で1回負けたことが悔しいが、優勝できてうれしい」と話した。

4～6年の男子の優勝者は、6月15日に開かれる県大会に出場し、8月に東京・両国国技館で開催される全国大会(東京青年会議所、日本相撲協会主催、読売新聞社など後援)を目指す。

他の部門の優勝者は次のみ。

▽1年 佐藤智斗(神代)▽3年 中川凌我(塩田)▽4年 女子 杉本波音(鳥飼)▽4年 男子 古東諒斗(神代)▽5年 女子 藤平希蘭々(阿万)▽5年 男子 萩原海輝(石屋)▽6年 男子 尻亮佑(室津)

白熱した取組が続いた淡路場所(淡路市立石屋小で)

わんぱく相撲「はっけいよう」



激しい戦いが展開された「わんぱく相撲淡路場所」—淡路市岩屋

淡路場所 児童42人が熱戦

真剣勝負を通じて健全な精神を身に着けてもらうこと、淡路市立石屋小学校（同市石屋）で「わんぱく相撲淡路場所」が開かれ、42人が参加して熱戦を繰り広げた。

一般社団法人淡路青年会議所が主催しているもので、20度目を迎えて三賞（敬称略）

《1年生》①佐藤智聡（神代）
 《2年生》①城田有斗（塩田）
 《3年生》①中川凌我（塩田）
 《4年生》

女子）①杉本波音（鳥飼）
 《5年生女子》①藤平希蘭（阿万）
 《4年生》①古東諒斗（神代）
 《5年生》①萩原海輝（石屋）
 《6年生》①胆亮佑（室津）
 《三賞・低学年》殊勲賞—土井彩華（都志小2年）
 敢闘賞—上田亘（神代小1年）
 技能賞—中谷心人（江井小2年）
 《同賞・高学年》殊勲賞—福岡沙依（志筑小5年）
 敢闘賞—中川拓夢（塩田小5年）
 技能賞—藤平希蘭（阿万）
 《最多参加小学校賞・低学年》神代
 《同賞・高学年》石屋、育波、阿万

妥協なき挑戦

子供たちの未来のために

一般社団法人淡路青年会議所
福富健介氏



私は淡路市志筑で歯科医師をしております。当院では通常の歯科治療に加え、日本口腔インプラント学会専門医資格を取得しており、インプラント治療も積極的に行っています。また一般社団法人淡路青年会議所（淡路JIC）では、例年委員会の副委員長を務めております。

さて、私が島内の高校を卒業したのは明石海峡大橋が開通した平成10年です。大阪の歯科大学に進学し、卒業後、神戸の市民病院に4年間勤務と約12年間は淡路島から離れておりました。その後、22年に父親の経営する医療法人に勤務するため帰ってまいりました。当時は、若い先生が帰って来ると地域の皆さまから歓迎され、また私自身も橋が架かって便利になった淡路島に戻って、地域に貢献できること（これも幸せに感じておりました）。

しかし、再び暮らしてみると私が育った頃の淡路島とはいろいろと変わっていることに気がきました。確かに橋がかかり便利にはなりましたが、人口の減少、特に若い世代、子どもたちの人口は大きく減少しており、核家族化や共働き家庭が増えたこともあり、子育て環境はすくなく変わってまいりました。

日本全国それぞれが異なる社会背景と地域環境が、いまの淡路島にも存在しています。その中で、成長を遂げる機会が、その地域で子どもたちを育てていくことが大切であると考えます。淡路島では、学校の統廃合や学区の再編なども含め、子どもたちにとっても、さまざまな環境が変化しております。私自身、この淡路島で育ち、これからの仕事を担っていくこと、また淡路島で子どもを育てていくことを考えています。

淡路JICは「明るい豊かな淡路島づくり」のために活動している組織であり、私自身も一人の自立性と社会の公共性が生き生きと協和する確かな時代を目指して日々活動しています。そして、社会を変える力強い運動展開と実行力が必要であり、団体の淡路JICの紹介があり、二つ返事で入会いたしました。私たちが淡路JICは月に二度、淡路島で活動しています。淡路島に暮らす子どもたちの未来のために妥協なく挑戦を続けたいと思います。

小さな力士12人 全国大会出場へ

兵庫・わんぱく相撲
真剣勝負を通じて健全な
精神を身につけてもらおう
と、淡路市立津名体育セン
ター(同市大谷)で「わんぱ
く相撲兵庫ブロック大会」
が行われ、小学4、5、6
年の男子児童12人が全国大
会への切符を手にした。



一般社団法人淡路青年会
議所を含む尼崎、伊丹、高
砂、西宮、姫路の6青年会
議所でつくる運営協議会が
開催した。当日は各地の予
選を突破してきた18人が参
加。試合は各学年ごとのリ
ーグ戦方式で行われ、土俵
上で、激しいぶつかり合い
が繰り広げられると、大き
な歓声が飛んだ。

優勝を含む4位までの上
位入賞者12人は、8月に東
京・両国国技館で開催され
る全国大会へ出場する。全
国大会出場者は次の通り。

《4年生》①八木健慎
(姫路) ②古東諒斗(淡
路) ③田中誠乃(伊丹) ④
梶浦傘太(高砂) 《5年
生》①大辻理紀(高砂) ②
神崎大貴(姫路) ③森勇翔
(尼崎) ④中西陸人(伊
丹) 《6年生》①村山尊
(高砂) ②山畑陸(伊丹)
③畠亮佑(淡路) ④茂司知
義(姫路)

「わんぱく大相撲」で上
位入賞した選手ら。12人
が全国大会への切符を手
にした
淡路市大谷

妥協なき挑戦

一般社団法人淡路青年会
議所
植野泰幸氏

私が一般社団法人淡路青年会
議所(淡路J.C.)に入会して2
年目を迎えました。初めて説明
会に誘われたときには、「青年
会議所」と言われても「わんぱ
く」は知りませんでした。た、説
明会目には見えない内に移め
た何か熱いものがあると感じ
た。この淡路J.C.の輪に飛び込みま
した。

入会当初は、正直何も左も
からない状態で、私は何をし
ていけばいいのだろうか? と不安
を抱いておりました。入会から
1年が過ぎ、メンバーの一員と
していろいろな事業に参加する
ことで、少しずつではありますが
が、内に秘めた熱いものが私の
中にも芽生えてきていると感じ
ております。

本年度、私は淡路J.C.の社会
開発委員会のメンバーとして活
動しております。当委員会では
「淡路島」という地域」が必
要不可欠な存在になるための事
業を企画・運営しております。

この委員会の議論を通じて、入
会当初、私ひとりに何ができ
るだろうと考えていたことが問
違っていた、と痛感しました。

「ひとり」ではできないことに
限りがあります。しかしなが
ら、淡路J.C.の中で「ひとり」と
「ひとり」、そして「ひとり
」が集まり「ひとつの力」と
して力を合わせることで、人数
以上の活動、行動を起こせるこ
う学びました。そして、この考え
は淡路島のまちづくりでも同じ

淡路島の存在意義示す

であると私は考えます。

経済悪化に伴う不況、少子高
齢化、人口減少、正直、淡路
島に明るい未来が待っている状
況ではありません。このような
危機感を感じておるのは私だけ
ではないと思います。そしてこ
のような状況の中でこそ二人
ひとりの力を合わせ、まちづ
くりを行っていくことが『明る
い豊かな淡路島』に繋がってい
くと考えます。

ただこれだけでは、ほかの地
域との差別化にならないのも現
実的な問題です。私は建築業を
営んでいるのですが、ある先輩
から「家を建てる際、お客さま
は施工業者を選ぶのに何を基準
にするか知っていますか? コス
トも重要ではあるが、そのほか
の部分が大変なんだ。その施工
業者にしかならない部分をお客さ
まに提供することがこれからは
大切になってくる」という話を
伺いました。「施工業者」を
「地域」に置き換えても同じで
あり、ほかの地域にはない、こ
こにしかないコンテンツが必要
になってくるのではと思いま
す。

ここで、淡路J.C.の原田啓行
理事長が言われていた「淡路島
の存在意義を示すために選択と
集中を図り、明確なコンセプト
を掲げる必要がある」(平成26
年1月21日産経新聞掲載)こと
がまちづくりを行う上で大切で
あると私も確信いたします。こ
のために日々、挑戦していきま
す。最後はなりません。これ
からも多くの方に多くの場面で
お世話になりますが、今後とも
変わらぬご支援をよろしくお願い
いたします。



妥協なき挑戦

私は五右衛門でお墓なきを返す石屋を営んでおります。私の扱っているお墓は、今は会えない、人とのつながりを感じることができず、また自分自身の明日を生きるエネルギーを与えてくれるものと思っています。不要であるお墓を返すお墓に手を合わせることで、変わらぬ自分の心を持ち、先祖さまに対し正面に向き合い、今の自分を認めることができます。この心のつながりの輪がお墓であり、この世に生を受け、生かされている人へ感謝することができるといえます。このようにお墓として、石の本質・意味を学び理解を深め、そして関わる人に伝えていくことが、私の仕事だと考えています。

このように仕事について深く考えることが多くなりました。それは、一般社団法人淡路青年会議所(淡路JCI)に入会したことが大きいです。私は大阪での学生生活が終わり、家業であるお墓を継ぐために、淡路島に帰ってきたのですが、その頃はすでに異業種も増えてきており、この仕事職人としての技術を磨くだけではいりかなくなりました。そんな時、近隣の先輩から淡路JCIのことを教えていただき、淡路島に在住の若い人たちはほとんど皆、お墓を返すというのに興味を持ち入会しました。

一緒にもっと魅力あふれる島に

一般社団法人淡路青年会議所
拡大戦略会議議長 池澄泰彦氏



淡路JCIにはさまざまな魅力があります。ひとつに「リーダー」を育成するための研修です。中でも3日間入塾という研修があり、これは30分の間に身に付けたお題について、起承転結をつけていかに想いを聞き手に伝えるかという研修です。淡路島へ入りに関する重要事項を感じました。

そして淡路JCIの最大の魅力が、時間とお金を超えること、足りないことも許されます。私も何度かその場を立つたままでも分るものの待たずたり、言いたくないことも言えたり、この研修で私は時間をうまく使って話を組み立てることができるようになりました。そして淡路JCIの重要性、そして淡路JCIの魅力を伝えていくための準備がすすんでいくのを感じました。

このように社会開発事業は、淡路島をひとつと捉えて行われるのではなく、私たちが淡路島をひとつと捉えて行われるのを感じました。淡路島をひとつと捉え、しっ

妥協なき挑戦

日本のふるさと淡路島

一般社団法人淡路青年会議所
社会開発委員長 有賀雄一氏



平成22年、大阪から淡路島に帰って3年がたち、淡路島に元気がないと感じていたときのことで、一般社団法人淡路青年会議所(淡路JCI)が島民の声を行政に届けるべく、市民参加型の「島民討議会」を開催するという新聞記事を見て、これは面白そうだなと思い、公募市民として参加しました。メンバーや討議会に参加された方々と触れ合う機会を得たことで、淡路JCIの活動に興味を持ち、入会しました。

淡路島は豊かな自然がいまなお存在し、海の幸、山の幸にも恵まれ、高い食料自給率を誇っている。阪神間などの経済圏にも近い立地条件など、生活する上で必要なものに恵まれ、ともすれば、今のままの淡路島でよいと考える人がいるかもしれません。しかし、少子高齢化などの影響で2040年には日本全国の自治体のうち約半数が消滅するといわれており、淡路島も例外ではありません。そのような状況を打破するために、淡路島をひとつと捉え、しっ

かりと先を見据えて活動をしていかなければなりません。淡路島は現在3市から成り立っていますが、島外で出身地を聞かれたときに、南あわじ市や洲本市、淡路市と答える方はいないのでないでしょうか。島外の方からみても、3市ではなくあくまでも淡路島という地域で捉えられています。

淡路島が恵まれた島であるといつことには皆さんの方が認識していらっしゃると思います。ですが、他の地域の方々に淡路島とはどのような島であるかを明確に答えられる人はどれだけののでしょうか。自分たちの住む淡路島とはどのような島であるかを他の地域の方々に説明できなければ、どうやって魅力を伝えられるのでしょうか。

淡路島にはたくまげの魅力があります。しかし、自然、食、文化、歴史などこの地域にも言えることで、他の地域も自分たちの地域の魅力を発信しようと考えています。淡路島が独自の魅力を発信していくためには、他の地域にはない唯一無二の価値をしっかりと認識しなければなりません。

ほかの地域にはない淡路島の価値とは、日本最古の歴史書である古事記に記されたイサナキノミコトとイサナミノミコトによる国生み神話です。初めて完全な形で生まれた島、すなわち「日本の始まりの地」であるといつことです。淡路島には日本に誇れる伊弉諾神宮があります。島民のなかには淡路島で一番大きな神社で、初詣に行くところがいつも認識されない人が多いのが現状です。

日本のはじまりがこのわれわれが住む淡路島であり、日本を創られたイサナキノミコトがお休みにされた島です。この価値をしっかりと島民が認識し、国生みの地淡路島を大きな柱として磨き上げて一体的に発信し、他の地域の方々に提供する。淡路島という地域が光り輝くことができると考えます。

「国生み神話」アニメに



郷土愛を育もうと、アニメーションとコンクールを企画した淡路青年会議所のメンバー＝洲本市役所

淡路青年会議所 来月26日に上映

淡路島を舞台にイザナギ、イザナミの夫婦が織り上げた「国生み神話」のアニメーション制作を、淡路青年会議所が計画している。古事記の冒頭を飾るタイナミックな始まりの物語を広く発信。少年高齢化が進む中、郷土の誇りをあらためて確認するべく狙いで、10月には完成を記念して上映会を開く。

(佐藤健介)

タイトルは「日本のふるさと淡路島」。「天の浮橋」に立つ神が「天の沼矛」で海原をかき回し、矛の先から滴り落ちた滴が固まって最初の国土「あつろ島」となる。日本誕生の名場面を約10分間展開する。映像制作を神戸市の業者に委託し、国生み神話に詳しい有識者も島内3市の教

育委員会と協議しながら内容を確認している。完成作は「神話の島」としての価値を考えるフォーラム「日本のふるさと淡路島くはじまりの地からのメッセージ」(10月26日、淡路市立しづかホール)で初上映。参加者にDVDを配る。今回の事業を担当した同

作文、絵画も募集「郷土の誇り再確認を」

作文は1200字以内で小学4～6年が対象。絵画は未就学児、小学生低学年、同高学年の3部門を設け、画用紙サイズは四つ切りで画材は自由。いずれも9月30日まで募集し、フォーラムで応募全作品を展示するほか、入賞者を表彰する。フォーラムは午後2時開会で参加無料。同会議所は0799・22・6611

会議所の有賀雄一さん(39)は「国生みの地であることを、まっくらのコンセプトに据える。伝統、文化、食に基づいた淡路島の魅力を発信したい」と説明。今後は観光施設やイベント会場での上映、教材化などを検討するという。関連事業として、島の未来をテーマにした作文と絵画のコンクールを企画する。



アニメ制作過程の絵コンテ。天の沼矛を授かったイザナギ、イザナミが描かれる

産 経 新 聞

「日本のふるさと淡路島」

国生み神話をアニメ化



アニメ「日本のふるさと淡路島」の絵コンテ

淡路JC、子供たちに継承

淡路青年会議所は国生み神話をもとにしたアニメーション「日本のふるさと淡路島」はじまりの地からのメッセージ」を制作することを決め、同時に島内の小学生以下を対象に「未来の淡路島」をテーマにした作文・絵画コンクールを実施すると発表した。10月26日に淡路市のしづかホールでアニメの上映会と作文・絵画の表彰式を行う。

イザナギノミコト、イザナミノミコトによる国生み神話を島内外に周知させ、淡路島の子供たちに継承していくために実施するも

「未来の淡路島」児童の作文・絵画を募集

の。アニメは伊弉諾神宮の本名孝至宮司ら有識者による会議で内容を協議し、神戸市の制作会社に依頼している。10分余の作品は10月



国生み神話をもとにしたアニメの制作と作文・絵画コンクールを実施する淡路青年会議所のメンバー（洲本市）

26日に上映会を開くほか、DVD600枚を製作して島内の学校、観光協会、図書館などに配布する予定。同会議所社会開発委員会の有賀雄一委員長は「淡路島が日本の始まりであることを理解している人は少ない。国生み神話が町づくりのコンセプトとして根付くことが大事」と話している。

作文・絵画コンクールは「未来の淡路島」をテーマに、作文（1200字以内）は小学4～6年生を対象として、絵画は未就学児、小学校低学年、高学年の3部に分けて実施する。30日締め切り。問い合わせは同会議所（☎0799・22・6611）。

礼儀重んじ、助け合う心持つ子供たちに

妥協なき挑戦



私は南あわじ市松帆で材木屋を営んでおります。淡路島内の建築業者や施工向けの木材のほか、内外装用建材の販売、住宅設備機器の販売・施工、大工工事の請負などさまざまなものを取り扱っております。

小さい頃から多種多様な木材に囲まれ、木の香りに包まれ、そして淡路島の大自然の中で育ちました。高校卒業後は大阪の大学に進学し、卒業後、家を継ぐために淡路島に帰ってきました。

日々の仕事に追われる毎日の中で、業務を効率化するために、もっと自分自身をスキルアップさせたいという思いが高まってきました。また、結婚して2人の子供ができてからは、子供たちの将来、そしてその子供たちが

一般社団法人淡路青年会議所 例会委員会 浅井克也委員長

が住む淡路島の将来のことをよく考えるようになり、どんな淡路島を残せるのかを悩んでいました。そんな頃、一般社団法人淡路青年会議所（淡路JC）の先輩から入会のお誘いがありました。

JCという団体は知っていましたが、実際どういった活動をしているのかほとんど知りませんでした。聞いてみると、淡路島内の20歳から40歳までの青年経営者が「明るく豊かな淡路島の表現のためにひとつり・まちづくりをしている」とを知り、自分が求めている団体であると思ひ、入会いたしました。

JC活動の中で社会人としてのマナーや礼儀、忙しい中で時間の使い方など多くのことを学びました。入会から3年目の今年、例会委員会の委員長を務めております。

例会というのは月に一度決まった日に開催され、淡路全島からメンバーが集まり、情報交換や研修などを行う、いわばJC活動の基盤ともいえるものです。例会委員会では、講師をお招きして講演していただく講師例会、メンバーのスキルアップを目的とした研修例会、メンバー同士の交流を目的としたスポーツ例会などを企画しております。

明るく豊かな社会を目指す上で欠かすことのできない人と人との関わり・繋がり・助け合いの重要性を念頭において、メンバーと協力しながら例会を作りあげています。また、メンバーが凛とした気持ちで例会に臨めるよう、礼儀礼節を重んじ、厳粛かつ規律ある運営を心掛けております。例会においてメンバーの一人ひとりが成長すること、組織活性化の源となり、「明るく豊かな淡路島」の実現につながるものと確信しております。

このように私は、JC活動に関わることでさまざまな気付きを得ることができました。礼儀礼節を重んじ、助け合いの心を持った子供たちがいる淡路島にするために行動しようという心で奮っております。最後になりましたが今後ともわれわれの活動にご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

◇日本のふるさと淡路島くはじまりの地からのメッセージく 26

日午後2時、淡路市志筑新島のしづかホール。伊弉諾神宮宮司の本名孝至氏が基調講演。未来の淡路島作文・絵画コンクール入賞者表彰式、国生み神話アニメーション『日本のふるさと淡路島』完成記念試写会など。入場無料。問い合わせは淡路青年会議所（☎079

18. 資料 新聞記事

2014年10月27日 神戸新聞

ち 2014年(平成26年)10月27日 月曜日

国生み神話の価値語る

淡路市 ふるさとフォーラム

国生み神話の舞台と淡路市立しづかホール
なつた淡路島の価値を
考えるフォーラム「日
本のふるさと淡路島」
はじまりの地からのメ
ッセージ」(淡路青年
会議所主催)が26日、
淡路市立しづかホール
であった。国王を生誕
させたイザナギ、イザ
ナミの夫婦神のアニメ
や講演を通じ、参加者
は郷土の魅力を再確認
していた。

フォーラムでは、子
どもが島の未来を表現
した作文と絵画のコン
クールの表彰式が開か
れた。作文の入選者が
「100年たっても美
しい自然を残し、おい
しい食べ物で全国の人
に味わってもらいた
い」と受賞作を朗読。
タマネギやスイセンを
乗せた玉船など、愛郷
心あふれる絵画も飾ら
れた。

2神を祭る伊弉諾神
宮(淡路市)の本名孝
至宮司が講演。「心も
体も成熟して産み落と
したのが淡路島」とし
た上で「男女ともにそ
れぞれの立場で、世界
に貢献できる世の中を
築くべきだとの示唆
が、古代の伝承に垣間
見える」と語った。

神話のアニメも上映
され、2神が「天の
沼矛で海をかき回し、
矛先から落ちた滴が固
まって最初の国土「お
のころ島」を生むなど
創世の物語を紹介し
た。(佐藤健介)



国のはじまりの物語をわかりやすく伝えるアニメーション＝淡路市立しづかホール

神々からの伝言

二十四節気の霜降(23日)を過ぎて朝晩の冷え込みが身に沁む季節となった。紙面の片隅には「紅葉だより」の欄が登場し、本格的な紅葉狩りのシーズンを迎えるが、安全に配慮した運送事業法の改正で、走行距離が制限されたことによる人件費高と円安の影響による燃料高もあり、観光バス代金の高騰が著しい。そんな中でひと足早い紅葉を楽しもうと登山した人たちが、突然に噴火した御獄山の猛威で遭難してから1カ月が経過し、行方不明者6人の捜索は春の雪解けまで凍結された。受難して命を亡くされた方々に哀悼の誠を捧げたい。

大東亜戦争の終結(昭和20年)から50年にあたる平成7年(阪神・淡路大震災の年)に始めた「全国戦没学徒追悼祭」は20回目となった。例年は戦没学徒記念若人の広場で開催されてきたが、南あわじ市による公園化事業で改修工事であることから、福良湾に面

アニメ「日本のはじまり淡路島」

244

して同施設の「記念塔」を真上に見上げる「淡路じやのひれアウトドアリゾート」の敷地を拝借して斎行した。

前日(20日)の準備段階では本格的な降雨に翻弄されたが、当日の朝には天気が回復し、多少の泥濘は残ったが晴天の中で儀式を斎行することができた。会場の提供を快諾された関係者各位に衷心より感謝の意を表した。

追悼儀式は全国から集まった神道青年全国協議会(南坊城光興会長)の会員が神道儀礼を奉仕し、海上自衛隊徳島航空基地隊喇叭隊の吹奏、仏教者の読経、賛美歌奉唱と献花が行われ、宗教や宗派の枠を超えた和合の祈りを捧げた。

式典後には「全国戦没学徒を追悼する会」の総会と懇親の直会席がホテルニ

故郷に誇り持てる人づくりに賛辞



「日本のふるさと淡路島～はじまりの地からのメッセージ～」で表彰された児童たち

国生み伝承という唯一無比の民族発祥伝承を起爆剤として郷土の活性化をめざそうと、淡路青年会議所(原田啓行理事長)では「日本のはじまり淡路島」のアニメーションの製作に取り組んできた。また「未来の淡路島」をテーマとした絵画と作文を島内の児童たちから募集した。このたびDVDが完成、その初公開と絵画・作文コンクールの表彰式が「日本のふるさと淡路島」はじまりの地からのメッセージと題して、26日午後2時から、しづかホール(淡路市)で開催された。子供たちが描く未来の淡路島は、いずれも「豊かな大自然の環境を大切にしたい」との思いが強く、淡路島に来てほしい」との気持ちがあふく表現されていた。

イザナギノミコトとイザナミノミコトの国生みや神生みの伝承を分かりやすく表現して青少年に伝えたい。日本という「国」と「民族」が誕生した淡路島に「誇りをもてる人づくり」を、と郷土に重い一石を投じた若者たちの英断に敬意を表し、賛辞を贈りたい。

(伊弉諾神宮 本名孝至宮司)

妥協なき挑戦

はじまりの地「淡路島」を伝える



一般社団法人淡路青年会議所
社会開発委員会副委員長 植野泰幸氏

先月26日、当青年会議所は

「日本のふるさと淡路島くはじまりの地からのメッセージ」というフォーラムを開催いたしました。本年度、当青年会議所は淡路島が「はじまりの地」であることを島民の皆さまに感じていただきたいと考え、国生み神話アニメーション「日本のふるさと淡路島」を制作しました。フォーラムでは、伊弉諾神宮の本名孝至宮司の講演の後に、完成映像を披露させていただきました。

アニメは島内3市、各市の教育委員会、有識者の皆さまのご協力のもと、小学校の授業などでも使っていただけの映像に仕上がりました。映像はイザナギノミコトを主人公とし、国生み、神生みの話、イザナミノミコトを追いかけて黄泉の国を訪

れる話、そして、黄泉の世界から淡路島の幽宮、伊弉諾神宮でお住まいになれるまでの話をまとめました。

この映像をご覧になられた方々に感想をお聞きますと、淡路島がはじまりの島であることを知って誇りに思われた方、伊弉諾神宮と国生み神話がより身近に感じられた方、そして、日本人の心が国生み神話に込められていると感じられた方などがいらっしゃいました。

私は活動を通じて、私たちが暮らす淡路島は「国生みの地」すなわち「日本のはじまりの地」であり、そのことを島民は誇りを持ち、自信を持って島内外に広く伝えていくことが今後とも必要であると強く感じました。幼少期から淡路島が日本の中でどのような島であるかを知っていることは地域を知る上で大切であり、それは郷土愛を育むとともに「誇り」を持つことの

大切さを知ることにつながると考えます。

このアニメ映像は観光用としても使用していただくことを考えています。淡路島を訪れた方々に国生み神話を

を知っていたら、淡路島がはじまりの地であることや神話の中に日本人の素晴らしい精神が込められていることを知っていただきたいと思います。2020年は東京オリンピックの年であるとともに、日本書紀編纂1300年であり、淡路島を広く発信する機会が訪れる中で、この度の取り組みがさらに実りのあるものに発展することを祈念いたしております。

最後に、淡路島の将来を考えると、淡路島にとって失ってはならないものは伝統・文化・風土・立地などに裏付けられたアイデンティティーであり、その中でも他の地域にはない唯一無二の価値「はじまりの地」淡路島にゆるぎない誇りを持つことが今後の淡路島の発展には欠かせないと感じています。

この価値を知った上で、国際社会において、淡路島が光り輝く魅力ある島になるために、さらに前に向かって進んでいくことが大切であると考えます。当青年会議所は、設立当初より淡路島をひとつとして捉え、明るい豊かな淡路島を実現するために活動しております。今後とも、淡路島の発展のために尽力して参りたいと考えておりますので、皆さまよろしくお願ひ申し上げます。

妥協なき挑戦

一般社団法人淡路青年会議所理事長
原田啓行氏

新たな一歩に向けて



師走となり新しい年の足音ももうすぐそこまで聞こえてまいりました。52年目だった淡路青年会議所の本年度の活動も佳境を迎え、53年目に向け新たな一歩を踏み出そうとしています。

この一年間、子どもの活動に対して多大なるご支援、ご協力を賜りました関係各位に対し深く感謝申し上げます。

本年度は「妥協なき挑戦！～新たな一歩を刻むために～」をスローガンに掲げ、多くの活動を行ってまいりました。当青年会議所に受け継がれる「淡路はひとつ」の理念のもと、この愛すべき淡路島が少しでも前向きに変化するよう、何をどうすればよいのか、しっかりと正論を述べ行動を起こし

ていくこと。それは、私たち青年としての責務であると同時に、乗り越えていくべき指標でもありました。

「挑戦することで勇氣と強さを得、乗り越えることで挑戦する喜びを知る」。その想いは当初より変わっておりません。今後変わることはありません。そのような挑戦の一環として、今年度は新たな同志を幅広く集うために、さまざまな取り組みを行いました。

まず、先行きが見えない経済状況の中、慌ただしい日々を折り合いをつけて、まちづくりに参画することは大変な困難が伴うものと誰もが思うところであります。しかし、そのような状況だからこそ、自分の周りの事だけに執着するのではなく、新たな価値観に触れ、自らの視野を広

めることが青年世代にとって必要な経験であることは疑う余地もありません。その本質的な部分を広く発信していくことも

青年を育成していくことは、組織の維持・継続といった意味合いだけでなく、この淡路島にとっても非常に大切なことであると信じてやみません。

また、10月26日、本年度のメーン事業「日本のふるさと淡路島」はじまりの地からのメッセージ」を無事に開催することができました。淡路島は多彩なコンテンツにあふれています。しかしながら、それぞれをバラバラに発信しているのが現状であり、このままでは淡路島は本来持っているポテンシャルを十分に発揮することはできません。

淡路島には他の地域では決して掲げることのできない絶対的な価値があります。それは、日本の「はじまりの地」であるという事です。そのことを、島民の皆様方にもっと知っていただくとともに、島外へその価値を発信していく。その価値を今後の担い手である子どもたちに受け継いでいくとともに、誇りと愛郷心を育む。そのような想いを込めた事業を行えたことを誇りに思います。

に、より多くの人との接点を持つた結果、多くの新入会員を迎える運びとなりました。志高きにもどうぞご期待ください。

2015年度

事業計画書

2015年1月1日～12月31日

**一 般 社 団 法 人
淡 路 青 年 会 議 所**

一般社団法人淡路青年会議所

2015 年度 スローガン

淡路島 NEXT STAGE

～革新が伝統を創る～



2015 年度 理事長

平川 智己

1. 理 事 長 所 信

はじめに

1949年、明るい豊かな社会の実現を理想とし、責任感と情熱をもった青年有志により日本の青年会議所（JC）運動は始まりました。この淡路においても1963年「淡路はひとつ」の理念のもと淡路JCは誕生し、53年目を迎えます。今日まで先輩諸兄から受け継がれてきたJC運動の意義や目的、想いや情熱を絶やすことなく次代に引き継がなければなりません。忘れてはならないもの、これからやっていかなければならないことを明確に指し示し、活動していくことを約束します。また急激な時代の流れに恐れず、勇気を持って立ち向かうべく積極的な議論をし、行動することが淡路島の今後を担う我々にとって必要であると考えます。

Jaycee として

青年会議所に所属できるのは20歳から40歳までの限られた期間です。その限られた時の中で単年度制ならではの様々な役職を経験することにより多くの気づきや学びを得る事ができます。まず、そこで絶対に忘れてはならないものは、今まで先輩諸兄が「奉仕・修練・友情」の三信条のもと創られてきた伝統です。まちづくりの先駆者としてイニシアティブをはかっていくためには、過去のJC運動の意義や目的、情熱をもう一度深く理解することが不可欠です。同時に、現在の社会的、経済的な困難に恐れず立ち向かっていく中でしかJayceeとしての資質を磨くことができないものと考えます。机上の話ではなく高い志をもって外に向け「まず行動する」ことで、より多くのことを得、成長できることと確信します。

志の共有

「一人ひとりの力が重なり合う事によって世の中が変化する」、「メンバーそれぞれの環境、考え方は違っていても、淡路に対する想いは同じである」、そのことを再確認し、同じ意識を共有できる場が全メンバーの集う例会です。例会の運営においては、年間を通して各委員会がしっかりとしたテーマを持ち、委員会相互の関連性を持つことでJC活動の足元を固めることができると考えます。また自分の与えられた役割を誠心誠意まっとうすることが、心に響く有意義な時間を創りだすこととなり、メンバーおのこの成長に繋がるものと確信します。

未来のために

少子高齢化が進む淡路島において、活発な子どもたちの存在は、まちを明るく、そして私たちに大きな活力を与えてくれます。子どもの健全育成において、親や多くの友達はもちろん、地域の大人とのふれあいは非常に大切なプロセスです。その中で、社会性や協調性を学び、思いやりや信頼する心を育むことができます。しかしながら、現在の子どもたちは家庭環境や学校生活も変化してしまい、親、友達、地域の大人たちとの繋がりも希薄になっているように感じます。そこで、我々はより多くの子どもたちが地域とともにあることを考え、この淡路島の恵まれた自然から醸成されたコミュニティだからこそ、育める人と人との関わりを実感できる場を提供します。そして子どもたちが郷土を愛し、たくましく成長することが淡路島の未来に繋がると考えます。

発信力の拡大

会員の減少また会員数の伸び悩みといったところは、各地青年会議所でも抱えている重大な問題の一つです。そして淡路JCにおいても同様にこの問題を抱えております。実際に私が入会した頃より会員数が大幅に減少しており、活動の幅が狭まっていることをひしひしと実感しています。この問題に真剣に取り組んでいかなければ、淡路JCという組織自体が衰退していきかねません。また、拡大の捉え方として、単純に人数を増やすという考え方ではなく、それぞれの知識、ネットワーク、スキルをもった会員が集まることで生まれる「組織が持つ力を拡大する」という観点が必要です。あらゆる可能性を考慮し、一人でも多くの同志とともに我々の想いを広く島民に伝えることが出来るよう、メンバー全員で情報共有し、一丸となる体制づくりが必要であると考えます。

これからの淡路島

世界でいちばん人気のある国として、ここ数年、日本は海外から注目を浴びています。東日本大震災での対応、オリンピック誘致を決めたことなどが挙げられますが、自分の国より日本が好きだと答える外国人が存在するほどの理由はどこにあるのでしょうか。今までは古風な文化の国と他国からは評価はされていましたが、そこには日本人が日本を愛する理由は見出されていませんでした。しかし昨今、パスポートの自由度の高さから信用、信頼を得て、ツーリストとしても世界一位ということもあり、行儀、作法等の文化が国際的に認められてまいりました。また食文化、ものづくりについては日本人の勤勉さ、器用さが評価されています。

淡路島は地政学的にも日本の縮図と言えます。日本列島と同様、淡路島は海に囲まれ、

山があり、「島」ならではの独自性が風土を育み、調和のとれた魅力ある地域を形成してきました。現在、国際社会において、日本のアイデンティティーは評価されています。だからこそ、淡路島のアイデンティティーを大きな視野でとらえ、国際社会における淡路島の強みを明らかにすることが今後の淡路島の発展に繋がると考えます。淡路島は本州と四国をつなぐ「島」であり、阪神間の経済圏からも近いといった立地条件を活かすことで、国際社会に能動的に対応できる先進的なモデル都市になりえる可能性があるものと考えます。本年度、我々といたしましては海外目線の日本をよく理解したうえで、淡路島の価値を明確にするとともに幅広く発信し、国際社会に対ししっかりと存在意義を示してまいります。そうする事で、日本ひいては国際的にも際立った存在感を放つ地域になる事を確信します。

さいごに

「明るい豊かな淡路島」を実現するために
設立当初より受け継がれてきた淡路青年会議所としての誇りを持ち、忘れてはならないものと、これからやっていかなければならないものを追求しよう。そして何事にも怖れず、力強く行動しよう。苦しいくらいお互い積極的な関わりを持とう。単年度制のJC活動ならではの結果を確実に導き出す必要があり、その積み重ねこそが「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がることを確信します。

2. 基本方針

- 一. 伝統を踏まえ、勇気をもって挑戦しよう
- 一. 恐れず、遠慮せず互いにぶつかり合おう
- 一. 不可能から入らず、まず可能性から考えよう

3. 副 理 事 長 抱 負

副理事長 有賀 雄一 浅井 克也 中田 勝文 甚尾 篤弘



一般社団法人淡路青年会議所のメンバーとして、必ず胸に秘めているのは「明るい豊かな淡路島」という輝かしい未来像であると考えます。先輩諸兄が築き上げてこられた52年の歴史や伝統を継承し、各委員会が理事長の指し示す方向性を見失わずに与えられた役割を全力で取り組んでいけるよう、三役間の意思統一を図り各委員長と情報共有していく必要があります。

まずは副理事長の立場を考え、今日までJC活動を通じ培ってきたことをメンバーに出し惜しみなく伝えていく必要があります。委員長の殆どが初理事ということもあり、やる気に満ち溢れる半面、手探り状態でのスタートであるに違いありません。そのような中でも生き生きと活動できるようにするのも我々三役の担いであると考えます。淡路JCとしての変えてはならない伝統、そして今後のために変えていくべき事柄を見極め、メンバー全員が与えられた役割をしっかりと認識しJC活動に邁進できるようサポートをいたします。またJCの三信条「奉仕・修練・友情」を基本とし、三役関係並びに委員長が密接に関わり行動することによって、個々の成長へ繋がるようにいたします。JC活動で重要なのは積極的な変化であり、まずは我々三役が積極的に関わることによって、周りへインパクトを与え変化を促してまいります。三役として委員長任せにするのではなく、責任を感じ行動することで各委員会の活動を有意義なものにし理事長の指し示す方向へと導いてまいります。

副理事長という立場をいただき、新たなフィールドでの活動となりますが、理事長の指し示す方針をメンバー全員が理解しJC活動に邁進できるようサポートを行うことで「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がるものと確信します。

基本方針

1. 三役間の意思統一を図り情報共有を行います。
2. 先輩諸兄から受け継いだJC哲学をしっかりと伝えます。
3. 積極的に関わり、理事長の指し示す方向へ導きます。

4. 専務理事抱負

専務理事 三倉 克仁



我々一般社団法人淡路青年会議所は「明るい豊かな淡路島」を実現するために、日々活動しています。これまで先輩諸兄から受け継がれてきた想いを継承するとともに、時代とともに変えるべきものをしっかりと見極めて行動していかなければいけません。急激な時代の変化に流されないよう、メンバー同士が真剣に議論し勇気をもって行動することができる組織にしていく必要があります。

情報化が急激に進んでいる時代だからこそ、人間関係が希薄にならないようメンバー同士の関わりを大切に、理事長が指し示す方向へと導くためにLOM全体の連絡調整を行います。専務理事として三役間での情報共有や意思の疎通を図り、委員会やメンバー全員まで伝わるよう気を配ることで、円滑な組織運営に繋がっていくと考えます。そして、理事会の設営に関しても重要な業務のひとつであり、理事会が効率よく本質的な議論が行われるよう、メンバーが法人格を持つ組織の一員である自覚を持ち、定款、運営規則、コンプライアンスの遵守を図り、真剣に議論できる環境を整えます。組織の根幹を支える重要な役割であることを十分認識し責任感を持って、メンバー全員に我々の活動や運動の意義や目的を浸透させます。また、他LOMや特別会員、関係諸団体と連絡調整を行うことも専務理事の重要な役割のひとつであります。他LOMや特別会員などと連携を密にし、迅速に有益な情報共有を図ることで、メンバーにとってより活動の幅が広がっていくと考えます。

専務理事としての役割を全うし組織運営を円滑に行い、メンバー全員がJC活動並びにJC運動に誇りを持って行動することで、理事長が掲げる未来となり、ひいては「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がると確信いたします。

基本方針

1. LOM全体に気を配り、理事長が指し示す方針を浸透させます。
2. メンバー同士が真剣に議論できる環境を整えます。
3. 円滑な組織運営に努めます。

5. 監事 抱負

監事 原田 啓行 池澄 泰彦



組織が抱える課題や問題点は、形は変われどこれまでと同様に存在します。長引いた景気の低迷やそれに伴う経済の疲弊などにより、メンバーの減少やまちづくりへの参加意識の低下が起こり、ここ近年、組織の経験不足が顕著になってまいりました。しかしながら、当青年会議所の存在意義は、明るい豊かな社会の実現であり、組織の問題で歩みを止めるわけにはいきません。53回目の挑戦にあたり、監事として、これまで培ってきた経験や知識、そして、諸先輩方から受け継いできた哲学を、惜しむことなくメンバーの皆様方に伝えて参ります。同時に、時代に呼応したフレッシュな考え方を否定することなく、むしろ、それらが素晴らしい形で実現できるようサポート役に努めます。その際に苦言を呈することもあるかもしれませんが、皆様方には一定のご理解、そしてご容赦をいただきながら一年間全うして参る所存です。短い間ですが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

基本方針

1. 第三者の立場として、客観性を持った目線からの的確なアドバイスを行います。
2. 青年会議所メンバーとしてのあるべき姿を追求し、指導いたします。

6. 公室長・委員長事業計画並びに予算及び役割業務

理事長公室

公室長 波戸 大樹

スローガン

TRY NEXT



我々は、「明るい豊かな淡路島」の実現に向け、率先して行動する団体としてあり続けていかなければなりません。そのためには、理事長の所信に基づいた各事業が、目的を達する上で円滑な組織運営を心がける必要があります。そこで理事長公室として基礎的業務を迅速かつ確実にやり、積極的な議論ができる環境を整え、組織をサポートすることが重要と考えます。

組織が円滑に進むための重要な位置付けである理事長公室は、理事長の秘書的業務や専務理事の補佐、理事会・三役会の設営等、決められたことを確実に遂行することであり、円滑な会議運営のために事前準備を確実にやることは、必要不可欠な務めであり、組織の現状を常に把握し、正確な情報を迅速に発信することで、理事長・三役そして各委員会とのファシリテーター役として、理事長の掲げる所信に基づいた組織となるよう全力でサポートいたします。また、常に各委員会の置かれている状況を把握することで、お互いの感じ方・考え方を知り、認め合うことに繋がり組織がより強固なものになり得ます。今後のJC運動の発信力を今まで以上に高めていくには、ともに活動する仲間を一人でも多く募り、入会に導く必要があります。そのためには、会員拡大活動をLOM全体の課題として取り組み、メンバー同士の会員拡大活動に関する情報共有を図れるようにするとともに、「奉仕・修練・友情」の三信条を基に活動していることを入会候補者に伝えるように努めます。

お互いの想いを共有し率先してコミュニケーションを図り、各委員会との架け橋になることにより、円滑な組織運営ができ、メンバーの一体感が高まることで、「明るい豊かな淡路島」の実現につながると確信いたします。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額(円)	備考
会員名簿の作成	2月	会員名簿の発行	正会員 特別会員	330,000	
前期入会候補者説明会	3月	入会候補者説明会の 企画・設営及び運営	正会員 入会候補者	28,000	
後期入会候補者説明会	9月	入会候補者説明会の 企画・設営及び運営	正会員 入会候補者	28,000	
			合計	386,000	

役割業務	実施月	業務内容
・ 理事長の秘書的業務及び 専務事の補佐	通年	会員名簿 2015年2月、名刺 2014年11月
・ 入会案内冊子作成	1月	
・ 会員名簿及び名刺の作成	2月	
・ 一般庶務事項及び発送文書の 管理	2月 通年	
・ 財務に関する処理及びコスト ダウンの調査	通年	
・ 渉外業務全般		
・ 年会費・入会金の調査	通年	
・ 会費の徴収	前期・後期	
・ 事務局全般にわたる業務及び 管理	通年	
・ 理事会の設営及び議事録の 作成	通年	
・ 三役会の設営	通年	
・ 通信案内簿及び諸記録の整理	通年	
・ ゴルフ同好会・卒業ゴルフコン ペの開催	通年	
・ 会員拡大に関する業務	通年	
・ 公室活動の記録保存	通年	
・ 全事業への参加協力	通年	
・ 理事長諮問に関する答申業務	通年	

スローガン

率先垂範



「JC 活動の基盤は例会にあり」 今、一般社団法人淡路青年会議所は JC 歴の浅いメンバーの割合の増加、例会出席率の低下など多くの課題があります。このような中で、組織の底上げや活性化を図るためにも JC 活動の基盤である例会がより重要であります。このために今一度、メンバーの例会に対する参加意識を高め、資質向上を図ることが必要不可欠であると考えます。

まずは、JC 活動の基盤を盤石とするために先輩諸兄が培ってきた細部まで洗練された例会設営をしっかりと行っていきます。また、当委員会が先頭をきり毎月の例会や事業を通じ、各委員会と積極的に連携し関わり合いを持つことによって、より活発的な意見交換の場となるよう、出席しやすい環境を整えていきます。本年度、当委員会として高い意識こそが行動力の源であることに重点を置き、企画・運営を行っていきます。「意識が変われば行動が変わる」と言われるようメンバーのモチベーションの向上に努め、情熱や使命感を兼ね備えた率先垂範の精神を育てていきます。そのために、今私たちの取り巻く社会の中で何が求められているのかをしっかりと捉え調査・研究し目的を定め、様々な角度から多くの学びや気づきを得られる例会とすることにより、メンバーの貴重な時間を有意義なものにいたします。さらに、対内だけではなく対外に向けた広い視野での例会を創出することで、一般社団法人淡路青年会議所を島民に対して広く発信する機会となり、会員拡大の一助へすると共に地域の活性化に繋げていきます。

本年度の例会を通じ、メンバーが相互に切磋琢磨しながら一人ひとりの資質が向上することは、組織全体の活性化となり、ひいては「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がると確信いたします。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額(円)	備考
例会の企画・運営	1・4・6・ 8・9月	例会の企画・運営	正会員 準会員	408,000	
			合計	408,000	

役割業務	実施月	業務内容
・ 例会の企画・運営（5回）	1・4・6・ 8・9月	例会の企画・運営
・ 例会の設営	通年	
・ 例会欠席者へのアテンダンス案内及びフォロー	通年	
・ 会員拡大に関する業務（関連委員会との連絡調整）	通年	
・ 委員会活動及び事業の記録保存	通年	
・ 全事業への参加協力	通年	
・ 理事長諮問に関する答申業務	通年	

スローガン

信念を貫き、果敢に挑む！



都市部に人口が集中することにより、淡路島も地方と呼ばれる他の地域と同じく少子高齢化や雇用不足といった諸問題を抱えています。しかし、他のどの地域にも真似ることのできない魅力がこの淡路島にはあります。その魅力を再認識し、発信を行い、淡路島の発展や活性化させるための行動を起こすことが我々の使命であります。「淡路はひとつ」の理念を基に、未来を切り拓く気概を持ち行動いたします。

淡路島が日本国内のみならず、国際社会においてその存在を示す時にきています。しかし、現状は淡路島の存在意義の重要性や、その価値の理解度は個人によってばらつきがあります。何故ならば、近隣に大都市があることや、気候風土にも恵まれていること、食物等の天然資源も豊富であり、産業も揃っていることなど、今すぐに我々の生活が窮することは考えにくい状況であるからです。その結果、存在意義を意識せずとも生活が成り立ち、見過ごされています。過去は、島国であるという利点を活かしつつ、他の文化を融合させながらも独立性を持った地域として存在していました。だからこそ素晴らしい価値と成り得るものが今なお残っています。このような状況の中、我々が取るべきスタンスは、現在から未来を見るだけでなく、悠久の過去から未来を見据え行動することが大切です。様々な価値がある中、基軸を定め、行動することの重要性を訴え、淡路島が一体となる未来を描き、その魅力を国内外に捉われず幅広く発信することが、今後の社会において淡路島の存在を示すことになり、更なる発展へと繋がります。

先人達が残してくれた貴重な価値を活かし、他のどんな地域も真似ることのできない魅力を最大限に発信することこそが、「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がるものと確信いたします。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額(円)	備考
社会開発事業	7月	社会開発事業の企画・設営及び運営	正会員 準会員	1,500,000	会場設営費等 講師関係費等 資料作成費等
12月例会	12月	例会の企画・設営及び運営	正会員 準会員	100,000	会場設営費等 消耗品費等
			合計	1,600,000	

役割業務	実施月	業務内容
・社会開発事業の企画・設営及び運営	7月	社会開発事業の企画・設営及び運営
・例会の企画・設営及び運営(1回)	12月	例会の企画・設営及び運営
・例会欠席者へのアテンダンスの案内及びフォロー	12月	
・会員拡大に関する業務(関連委員会との連絡調整)	通年	

スローガン

「繋がり」が未来を創る！！



いつの時代も子どもたちの存在はまちを明るくし、活力を与えてくれます。少子高齢化、人口減少など多く問題を抱える淡路島ですが、まぎれもなく将来の淡路島を背負って立つのは今を生きる子どもたちであり、我々、大人はその子どもたちに対し、多くの気づきや学びの場を提供することで、この淡路島に対し活力を与え続けることが必要不可欠である

と考えます。

幼少期において学校生活を離れ、普段接する事のない多くの人と触れ合うことは子どもの成長過程において、社会性や協調性を学び、思いやりや信頼する心を育むために重要であります。しかしながら近年の子どもたちは塾や習い事で時間に追われ、遊べる空間も制限され、仲間と過ごせる機会が減少しているのが現状です。この時代の変化に伴い子どもたちのコミュニケーションもWEBや携帯電話などの便利で手軽なツールを利用したものへと変化してまいりました。しかしこれらのコミュニケーション形態は本来あるべき人と人との関わり方を表しているのではなく、子どもたちに必要と考えるコミュニケーションとは人と人との対面・対話により、話す相手の表情や態度から相手が何を伝えたいか、自分が何を伝えたいかを直接的に五感で感じ取るものであります。そこで、当委員会では青少年事業を通じて子どもたちに時間、空間を与えることにより仲間と繋がれる触れ合いの場を創造し、本質的なコミュニケーションの実践を行うことで学びや気づきを与えることのできる事業を実施いたします。

人と人との繋がれる触れ合いの場を創造することで心の豊かさを育み自分の個性を表現できる次代を担う子どもたちが増えることは「明るい豊かな社会」の実現に繋がると確信いたします。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施	内容	対象者	予算額(円)	備考
わんぱく相撲の企画・設営及び運営	5月	わんぱく相撲の企画・設営及び運営	淡路島在住小学生	110,000	会場設営等
青少年育成事業の企画・設営及び運営	8月	青少年育成の企画・運営及び運営	淡路島在住小学生	200,000	会場設営等
例会の企画・設営及び運営	10月	例会の企画・設営及び運営	正会員	21,000	会場設営等
			合計	331,000	

役割業務	実施	業務内容
・わんぱく企画・設営及び運営	5月	わんぱく相撲の企画・設営及び運営
・青少年育成事業の企画・設営及び運営	8月	青少年育成事業の企画・運営及び運営
・例会の企画・設営及び運営	10月	例会の企画・設営及び運営
・例会欠席者へのアテンダンスの案内及びフォロー	通年	
・会員拡大に関する業務（関連委員会との連絡調整）	通年	
・委員会活動及び事業の記録保	通年	
・全事業への参加協力	通年	
・理事長諮問に関する答申業務	通年	

スローガン

一歩前へ！～踏み出す先に確かな成長～



「参画意識なくして組織活性はならず」会員交流委員会では交流事業を通じ、メンバーのJC活動への参画意識向上、ならびにメンバー間の関わりを強化することが最優先課題であると考えます。昨年度は多くの新入会員がメンバーとなり、また多くの経験あるメンバーが卒業された今、LOM内の関わり、繋がりを今一度深め、様々な活動への参画意識向上のもと、能動的な行動力をもった自己成長を図ることが命題であります。

本年度、当委員会では新年会の企画運営、淡路島まつりおどり大会への参加を中心とした会員の交流事業を担っております。新年会では、事業に向けて、メンバー全員がおもてなしの精神の理解、ならびに積極的に行動するきっかけづくりの場を事前に設け、事業において新年度の体制ならびに方針をお披露目すると共に、来賓へのおもてなしを恙なく行います。また、淡路島まつりおどり大会においては、メンバー同士がより深く関われるよう一体感のある事業運営に務めます。そして、今年度は若いメンバーが多くなる中、そのフレッシュさを最大限活かし、組織を活性化できるような交流活動をすすめていきます。年齢・経験の浅いメンバーが知らない、わからないから躊躇するのではなく、何事にも失敗を恐れず、知らない、わからないからこそチャレンジ、行動できる自己形成が必要であると考えます。その第一歩はまず、志を同じうするメンバー間の繋がりが必要不可欠であり、その繋がりを強固なものにするためにも、当委員会が率先して、メンバーの参画意識の向上に繋がる交流の場を設け、各々が相互的に自己成長できるよう努めます。

メンバー一人ひとりが交流を通じ、相互的な自己成長を成せば、組織としてさらなるステージへ繋がり、そして何より一般社団法人淡路青年会議所が活性化することこそが「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がるものと確信しております。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施	内容	対象者	予算額	備考
新年会の企画・設営及び運営	1月	新年会の企画・設営及び運営	正会員・特別会員・来賓・他 LOM	250,000	会場設営等
例会の企画・設営及び運営	5月	例会の企画・運営及び運営	正会員	66,000	会場設営等
淡路島まつりおどり大会の企画・設営及び運営	8月	淡路島まつりおどり大会の企画・設営及び運営	正会員・特別会員・来賓・他 LOM	189,000	会場設営等
			合計	505,000	

役割業務	実施	業務内容
・新年会の企画・設営及び運営	1月	新年会の企画・設営及び運営
・例会の企画・設営及び運営	5月	例会の企画・運営及び運営
・淡路島まつりおどり大会の企画・設営及び運営	8月	淡路島まつりおどり大会の企画・設営及び運営
・例会欠席者へのアテンダンスの案内及びフォロー	通年	
・公的出向の際の LOM ナイトの設営及び運営	通年	LOM ナイトの設営
・会員拡大に関する業務（関連委員会との連絡調整）	通年	
・委員会活動及び事業の記録保	通年	
・全事業への参加協力	通年	
・理事長諮問に関する答申業務	通年	

スローガン

共走共汗 ～新たなる絆を求めて～



我々の活動は半世紀以上の歴史を刻み、「淡路はひとつ」の理念の基、明るい豊かな淡路島を創造し尽力してきました。時代を動かすも、経済を動かしていくも全ての原動力は人間の心にあると考えます。自らが行動していくことに対する気概を持ち、青年らしく何事にも恐れず努力し続ける事で、自ずと新たな学びと楽しみを発見することができます。その上で、青年らしく率先して行動することが重要であると考えます。

本年度、当委員会では、「互いの心を理解する」をテーマに活動をしていきます。何事にもこれで終わりというゴール地点はどこにもなく、努力し続ける限り無限に進歩できる可能性を誰しもが秘めております。だからこそ一年間、皆で事を成していくためにも、先ずはこのJCというステージで一人ひとりが人間錬成を行い、積極的な行動力や心を磨く機会が必要であります。例会では、人間としての最大の目的を追求し、学びと楽しみ溢れる企画を実施し一体感を図っていきます。また絆づくり事業では、苦楽を共にその先にある高いゴールを目指し、メンバー同士の絆を深められる企画を行います。結果として、人の価値観を共有でき、個々の行動を変化させるよい機会を作ることができます。また目先の事だけではなく新たな視野を持つこともできれば、正しい判断ができ、メンバー相互の理解を深め、真の友情に発展することは間違いありません。そして、担いの一つである理事会を体験する機会を設け、またその後のフォローをしていくことで組織運営と方向性の共有、気づきの場となるようしっかりと働きかけに努めます。

未来に向かって行動していく仲間と共に絆を深め、事業を成し遂げていく為にも各々が魅力あふれる人財へと成長することが、組織の発展へ繋がり、ひいては「明るい豊かな淡路島」の実現に繋がると確信致します。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額(円)	備考
例会の企画・設営及び運営	2・11月	例会の企画及び運営	メンバー	55,000	会場設営費
絆づくり事業	6月	絆づくり事業	メンバー	94,000	会場設営費
			合計	149,000	

役割業務	実施月	業務内容
・例会の企画・設営及び運営(2回)	2・11月	・2月例会・11月例会の企画・設営及び運営
・例会欠席者へのアテンダンスの案内及びフォロー	通年	
・理事会ウォッチングの企画・設営	通年	
・絆づくり事業の企画・設営及び運営	6月	・絆づくり事業
・会員拡大に関する業務(関連委員会との連絡調整)	通年	
・委員会活動及び事業の記録保存	通年	
・全事業への参加協力	通年	
・理事長諮問に関する答申業務	通年	

スローガン

有志竟成～志を共有し、明日へ繋げる～



一般社団法人淡路青年会議所が地域に根ざした運動を展開し続けるためには、社会に対して常に情報を発信し、地域での存在感を示すことが重要です。そして、時代が変われども、変わることのない我々の理念をもとにした活動や想いをメンバーと共有し、その結果得られた活動内容や想いをより多くの方々のもとへ発信し、知っていただけるようにすることが必要です。

今年度、当委員会では「総務」と「広報」という二つの役割をいただきました。「総務」では、総会の設営及び運営の役割を担わせていただくなかで、組織運営の要となる情報と方向性をメンバー一人ひとりが共有できるよう、資料の整備と発信を確実かつ迅速に行います。「広報」では、我々の活動を理解し把握できるような広報であるとともに、担当メンバーの想いや苦勞を掲載し、LOM メンバーが一体感を感じられる広報誌を目指します。そして、ホームページの管理・運営では、現在利用しているメディアを活用し、老若男女関わらず、分かりやすく興味を持てるようなホームページ作りを行います。情報が溢れかえっている現代社会では、常に新しい情報を発信し続けなければ、私たちが発信したい情報が埋もれてしまいます。そこで、多くの方から我々の行っている活動に対する理解と協力が得られるよう、的確なタイミングで、必要とする情報発信を積極的に行います。その結果、さまざまな方に、一般社団法人淡路青年会議所を知っていただくことへと繋げていきます。

LOM メンバー一人ひとりが同じ情報を共有し、一体感ある LOM へなるよう、尽力致します。そして、我々の活動を多くの方に認識いただき、JC 運動が広く深く浸透することに貢献することが「明るい豊かな淡路島」を実現することへ繋がると確信いたします。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施	内容	対象者	予算額	備考
ホームページの管理・運営	通年	ホームページの管理運営	正会員	148,000	ホームページ制作費
対内広報誌の発行	通年	JC プレスの発行	一般		
総合資料の作成	2月	PDF データ及び CD-R	特別会員	320,000	保存用
兵庫ブロック公式訪問及び役員懇談会の企画・設営及び運営	2月	兵庫ブロック公式訪問資料作成、役員懇談会の企画・設営及び運営	正会員 ブロック	1,000 47,000	
例会の企画・設営及び運営	3・7月	例会の企画・設営及び運営 総会資料の作成及び議事録の作成	正会員 準会員	101,000	例会設営費、講師料
総会の設営及び運営	1・8・12月		正会員	0	
			合計	617,000	

役割業務	実施	業務内容
・例会の企画・設営及び運営（2回）	3・7月	例会の企画・設営及び運営
・例会欠席者へのアテンダンスの案内及びフォロー	3・7月	
・2015年度総合資料の作成	2月	総合資料の作成
・総会の設営及び運営、総会資料及び議事録の作成	1・8・12月	総会の設営及び運営、総会資料及び議事録の作成
・選挙管理委員会の設置	7月	選挙管理委員会の設置
・対内広報誌の発行	通年	対内広報誌の発行
・ホームページの管理運営	通年	ホームページの管理運営
・褒賞に関する報告書作成及び褒賞委員会企画・設営及び運営	12月	褒賞に関する報告書作成及び褒賞委員会の企画、設営及び運営
・LOM 事業の記録及び保存のための取材活動	通年	
・兵庫ブロック公式訪問資料作成、役員懇談会の企画設営及び運営	2月	兵庫ブロック公式訪問資料作成、役員懇談会の企画設営及び運営
・会員拡大に関する業務		
・委員会活動及び事業の記録保存	通年	
・全事業への参加協力	通年	
・理事長諮問に関する答申業務	通年	

7. 出 向 者 抱 負

公益社団法人日本青年会議所
JC プログラム実践委員会

甚尾 篤弘



公益社団法人日本青年会議所 JC プログラム実践委員会へ出向させていただくことになりました。当委員会へは2度目の出向となります。私自身、日本のトレーナー登録していることもあっての出向となりますが、志同じうする日本各地のメンバーと共に切磋琢磨し自己の成長、LOMに寄与できるよう努めます。ご支援、ご協力よろしく申し上げます。

公益社団法人日本青年会議所
地域グループ 地域再興会議

吉井 崇行



公益社団法人日本青年会議所 地域グループ 地域再興会議に出向させて頂くことになりました。地域から日本を再興させるための会議です。この出向を通じて、地域の資源を活かした地域の再興について知見を広め、情報等をLOMに持ち帰り役立てたいと考えています。皆様のご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区協議会
地域活力推進委員会

川越 勇輔



公益社団法人日本青年会議所 近畿地区協議会 地域活力推進委員会に出向させて頂く事になりました。役割としては地域の魅力を発信する地区大会でのメインフォーラム、公開討論会、会員拡大、ホームページの更新等と多岐に渡っております。近畿という大きな枠組みで物事を考え行動するよい機会を与えていただいたことに感謝しております。しっかりと一年間活動を行い、一つでも多くのことをLOMに持ち帰ってきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
書 記



藤川 龍介

兵庫ブロック協議会 書記に出向させていただくことになりました。諸会議の設営や議事録作成など、運営の補佐的な役割が主になります。淡路 JC からの出向という自覚を持ち、LOM での活動にその経験を反映できるよう頑張りたいと思います。一年間よろしくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
日本 JC 連携推進会議



中田勝文

本年度、日本 JC 連携推進会議に出向させて頂くことになりました。私自身このような事業を担当する会議に出向するのは、大変有意義なことであると感じております。この出向を通じて今までとは違った広い視野をで見ていくよう頑張ってお参ります。

そして淡路青年会議所のメンバーとして恥じない活動をして参りたいと思っておりますので皆様のご支援ご協力のほどよろしくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
兵庫の未来創造委員会



横山泰明

本年、公益社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会兵庫の兵庫未来創造委員会に出向させて頂くことになりました。役割としては、青少年事例発表・JC カップ兵庫予選大会運営・防災ネットワーク強化の三つの事業を行います。より良い事業になる一助となるべく精一杯頑張ってお参ります。そして、LOM へ何か一つでも持って帰り、伝えることができるように全ての会議に出席して参ります。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
アカデミー委員会

竹田 良平



この度、兵庫アカデミー委員会に出向させて頂くことになりました竹田です。アカデミー委員会ではまず、JCの基礎を身に着け、セレモニーの大切さ、心構えをしっかりと学び、研修・事業を通じて主導力を持った地域リーダーとなりえる素地を身につけ、そして地域において市民を魅了する人材になれるよう努力してまいります。さらに他LOMのメンバーと交流を深め今後のJC活動に活かしたいと考えております。LOMを代表して事業に取り組んでいきますので、ご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い致します

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
アカデミー委員会

滝本 拓之



この度、兵庫アカデミー委員会に出向させていただくことになりました。初めての出向で少し不安がありますが、今後のJC活動をより良いものにスキルアップをする機会だと思っています。また他LOMの方々とも積極的に交流を深め自分自身に無いものを学び今後に繋げる1年間にしていきたいと考えています。何かと至らない私ですが1年間宜しくお願いいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
アカデミー委員会

折田 修作



この度、兵庫アカデミー委員会に出向させていただくことになりました。社会人として、スキルアップをするまたとないチャンスだと思っております。また、他LOMの方々との交流を深め、楽しみながら、自己の精進へ繋げていきたいと思っております。残りわずかなJC生活ですが、一年間頑張ってまいりますので、メンバー諸兄のご指導、ご鞭撻よろしく申し上げます。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
JC 運動発信委員会

三浦 義崇



願いいたします。

この度、JC 運動発信委員会に出向させていただくことになりました。広報およびブロックナイト、ブロック大会のブース出展等の役割を担っている委員会です。出向先では多くの事を学ばせて頂き、委員長を盛り上げられるように頑張りたいと思います。また、去年に引き続きの出向ですので、より多くのものをLOMへ持ち帰れるようにしなければならないと考えております。一年間どうぞよろしくお

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
ブロック大会運営委員会

藤井 宏昌



ブロック大会運営委員会に出向させていただくことになりました。今年度は加古川の地で開催となっております。委員長をはじめ熱いメンバーが多く、学ぶべき点も数多くあるように感じております。ここで培った経験をLOMへ持ち帰り、メンバーにしっかりお伝えしたいと思います。1年間頑張ってお参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
財務規則審査会議

植野 泰幸



本年度、兵庫ブロック協議会 財務規則会議に出向させていただくことになりました。ブロックの委員会から上程される議案を財政面、コンプライアンス面で審査していきます。他LOMの方々と交流し、一年間の経験を淡路JCに持ち帰り、フィードバックできるよう頑張りますのでどうぞよろしくお願います。

8. 正味財産増減予算

自 2015 年 1 月 1 日

至 2015 年 12 月 31 日

単位：円

科 目	修正予算額	当初予算額	決算額	備考
	H27.1.1～H27.12.31	H27.1.1～H27.12.31	H26.1.1～H26.12.31	
I 一般正味財産増減の部				
1.経常増減の部				
(1)経常収益				
①受取入会金	0	0	250,000	
②受取会費	7,770,000	7,530,000	7,990,000	
正会員受取会費	7,440,000	7,200,000	7,840,000	43名×¥160,000、7名×80,000
その他受取会費	330,000	330,000	150,000	卒業生11名×¥30,000
③事業収益	0	0	2,253,000	
受託事業収益	0	0	0	
登録料	0	0	1,838,000	
その他事業収益	0	0	415,000	
④受取負担金	0	0	0	
⑤寄付金	0	0	300,000	
⑥雑収益	1,500	1,500	13,124	
受取利息	1,500	1,500	1,448	
配当金	0	0	500	
雑収益	0	0	11,176	
経常収益計	7,771,500	7,531,500	10,806,124	
(2)経常費用				
①事業費				
給料手当	102,400	72,400	72,400	
福利厚生費	0	0	0	
会議費 賃借料	907,900	907,900	519,930	
消耗品費	531,732	531,732	363,256	
レンタル料	0	0	0	
食糧費	112,000	112,000	17,760	
人件費	7,000	7,000	0	
支払手数料	160,000	160,000	170,000	
講師関係費	10,800	10,800	24,990	
謝礼金	738,000	738,000	315,000	
資料作成費	280,030	280,030	1,291,425	
広告普及費	232,880	232,880	135,844	
報告書作成費	10,799	10,799	200,799	
旅費交通費	220,000	220,000	67,850	
交際費	0	0	1,739,400	
保険料	30,590	30,590	13,890	
印刷製本費	649,000	649,000	701,500	
通信運搬費	18,691	18,691	9,425	
支払負担金	11,000	11,000	11,000	
雑費	75,578	75,578	17,652	
事業費計	4,098,400	4,068,400	5,672,121	

単位：円

科 目	修正予算額	当初予算額	決算額	備考
	H27.1.1～H27.12.31	H27.1.1～H27.12.31	H26.1.1～H26.12.31	
②管理費				
会議費	10,000	10,000	10,400	
給料手当	867,600	897,600	887,600	
退職給付引当金			0	
福利厚生費	155,000	155,000	124,973	交通費・雇用保険料
渉外費	200,000	200,000	302,019	褒賞¥60,000+各種登録¥78,000
慶弔費	200,000	200,000	126,260	
減価償却費	140,000	60,000	143,679	
消耗品費	550,000	450,000	370,546	コピー用紙・トナー他
消耗什器備品費	0	0	0	
通信費	450,000	520,000	443,613	電話代・JCプレス送料等
印刷製本費	30,000	60,000	27,300	
賃借料	1,020,000	1,020,000	1,020,000	¥85,000×12ヶ月
光熱水料費	250,000	250,000	233,922	
謝礼金	100,000	100,000	108,000	税理士報酬
修理費	50,000	50,000	28,823	
租税公課	25,000	25,000	22,552	印紙代・県民税(¥22,000)
雑費	100,000	100,000	80,994	新聞代等
特別会計繰出金				
事務局整備引当金				
小計	4,147,600	4,097,600	3,930,681	
③負担金				
JCI会費	63,000	56,700	55,566	¥1,260×50名
日本JC会費	280,000	255,000	275,000	¥30,000+¥50,00×50名
国際協力資金	91,250	82,125	89,425	¥5×365日×50名
近畿地区会費	92,000	83,000	90,200	¥2,000+¥1,800×50名
兵庫ブロック会費	290,000	265,000	285,000	¥40,000+¥5,000×50名
小計	816,250	741,825	795,191	
管理費計	4,963,850	4,839,425	4,725,872	
経常費用計	9,062,250	8,907,825	10,397,993	
当期経常増減額	△ 1,290,750	△ 1,376,325	408,131	
2.経常外増減の部				
(1)経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用				
経常外費用計	0	0	10,108	
経常外費用増減額				
一般正味財産増減額	△ 1,290,750	△ 1,376,325	398,023	
一般正味財産期首残高	8,636,273	7,777,757	8,238,250	
一般正味財産期末残高	7,345,523	6,401,432	8,636,273	
II 正味財産期末残高	7,345,523	6,401,432	8,636,273	

委員会名	収入の部		支出の部		備考
	科目	予算額	科目	予算額	
理事長公室	事業収入	386,000	会場費 賃借料	43,200	
			消耗品	10,800	
			食糧費	0	
			人件費	0	
			支払手数料	0	
			講師関係費	0	
			諸謝金	0	
			資料作成費	1,000	
			広告普及費	0	
			報告書作成費	0	
			旅費交通費	0	
			交際費	0	
			保険料	0	
			印刷製本費	324,000	
			通信運搬費	0	
		支払負担金	0		
		雑費	0		
		予備費	7,000		
	小計	386,000	小計	386,000	
例会	事業収入	408,000	会場費 賃借料	107,000	
			消耗品	43,200	
			食糧費	0	
			人件費	0	
			支払手数料	0	
			講師関係費	0	
			諸謝金	150,000	
			資料作成費	5,240	
			広告普及費	0	
			報告書作成費	0	
			旅費交通費	90,000	
			交際費	0	
			保険料	0	
			印刷製本費	0	
			通信運搬費	246	
		支払負担金	0		
		雑費	0		
		予備費	12,314		
	小計	408,000	小計	408,000	
社会開発	事業収入	1,600,000	会場費 賃借料	429,000	
			消耗品	98,000	
			食糧費	100,000	
			人件費	7,000	
			支払手数料	30,000	
			講師関係費	0	
			諸謝金	500,000	
			資料作成費	120,820	
			広告普及費	120,000	
			報告書作成費	10,000	
			旅費交通費	100,000	
			交際費	0	
			保険料	0	
			印刷製本費	0	
			通信運搬費	8,000	
		支払負担金	0		
		雑費	30,000		
		予備費	47,180		
	小計	1,600,000	小計	1,600,000	
青少年育成	事業収入	331,000	会場費 賃借料	44,000	
			消耗品	64,200	
			食糧費	12,000	
			人件費	0	
			支払手数料	0	
			講師関係費	0	
			諸謝金	50,000	
			資料作成費	2,050	
			広告普及費	112,880	
			報告書作成費	0	
			旅費交通費	0	
			交際費	0	
			保険料	10,000	
			印刷製本費	13,000	
			通信運搬費	910	
		支払負担金	10,000		
		雑費	0		
		予備費	11,960		
	小計	331,000	小計	331,000	

単位：円

単位：円

会員交流	事業収入	505,000	会場費 賃借料	105,200
			消耗品	167,200
			食糧費	0
			人件費	0
			支払手数料	130,000
			講師関係費	0
			諸謝金	18,000
			資料作成費	2,000
			広告普及費	0
			報告書作成費	0
			旅費交通費	0
			交際費	0
			保険料	15,550
			印刷製本費	0
			通信運搬費	7,239
		支払負担金	1,000	
		雑費	45,578	
		予備費	13,233	
	小計	505,000	小計	505,000
絆づくり・研修	事業収入	149,000	会場費 賃借料	115,600
			消耗品	16,200
			食糧費	0
			人件費	0
			支払手数料	0
			講師関係費	5,400
			諸謝金	0
			資料作成費	2,460
			広告普及費	0
			報告書作成費	0
			旅費交通費	0
			交際費	0
			保険料	5,040
			印刷製本費	0
			通信運搬費	0
		支払負担金	0	
		雑費	0	
		予備費	4,300	
	小計	149,000	小計	149,000
総務広報	事業収入	617,000	会場費 賃借料	63,900
			消耗品	21,600
			食糧費	0
			人件費	0
			支払手数料	0
			講師関係費	5,400
			諸謝金	20,000
			資料作成費	146,460
			広告普及費	0
			報告書作成費	799
			旅費交通費	30,000
			交際費	0
			保険料	0
			印刷製本費	312,000
			通信運搬費	2,296
		支払負担金	0	
		雑費	0	
		予備費	14,545	
	小計	617,000	小計	617,000
全体	事業収入	3,996,000	会場費 賃借料	907,900
			消耗品	421,200
			食糧費	112,000
			人件費	7,000
			支払手数料	160,000
			講師関係費	10,800
			諸謝金	738,000
			資料作成費	280,030
			広告普及費	232,880
			報告書作成費	10,799
			旅費交通費	220,000
			交際費	0
			保険料	30,590
			印刷製本費	649,000
			通信運搬費	18,691
		支払負担金	11,000	
		雑費	75,578	
		予備費	110,532	
	合計	3,996,000	合計	3,996,000

9. 2015 年度 一般社団法人淡路青年会議所 役員名簿

【理事長】	平川 智己
【直前理事長兼監事】	原田 啓行
【監事】	池澄 泰彦
【副理事長】	有賀 雄一
	浅井 克也
	中田 勝文
	甚尾 篤弘
【専務理事】	三倉 克仁
【出向理事】	川越 勇輔
	吉井 崇行
【理事】	植野 泰幸
	竹田 良平
	時枝 弘記
	波戸 大樹
	藤井 宏昌
	三浦 義崇
	横山 泰明

10. 出向者一覧

公益社団法人日本青年会議所

出 向 先	役 職	出向者氏名
JC プログラム実践委員会	委 員	甚尾 篤弘
地域再興会議	委 員	吉井 崇行

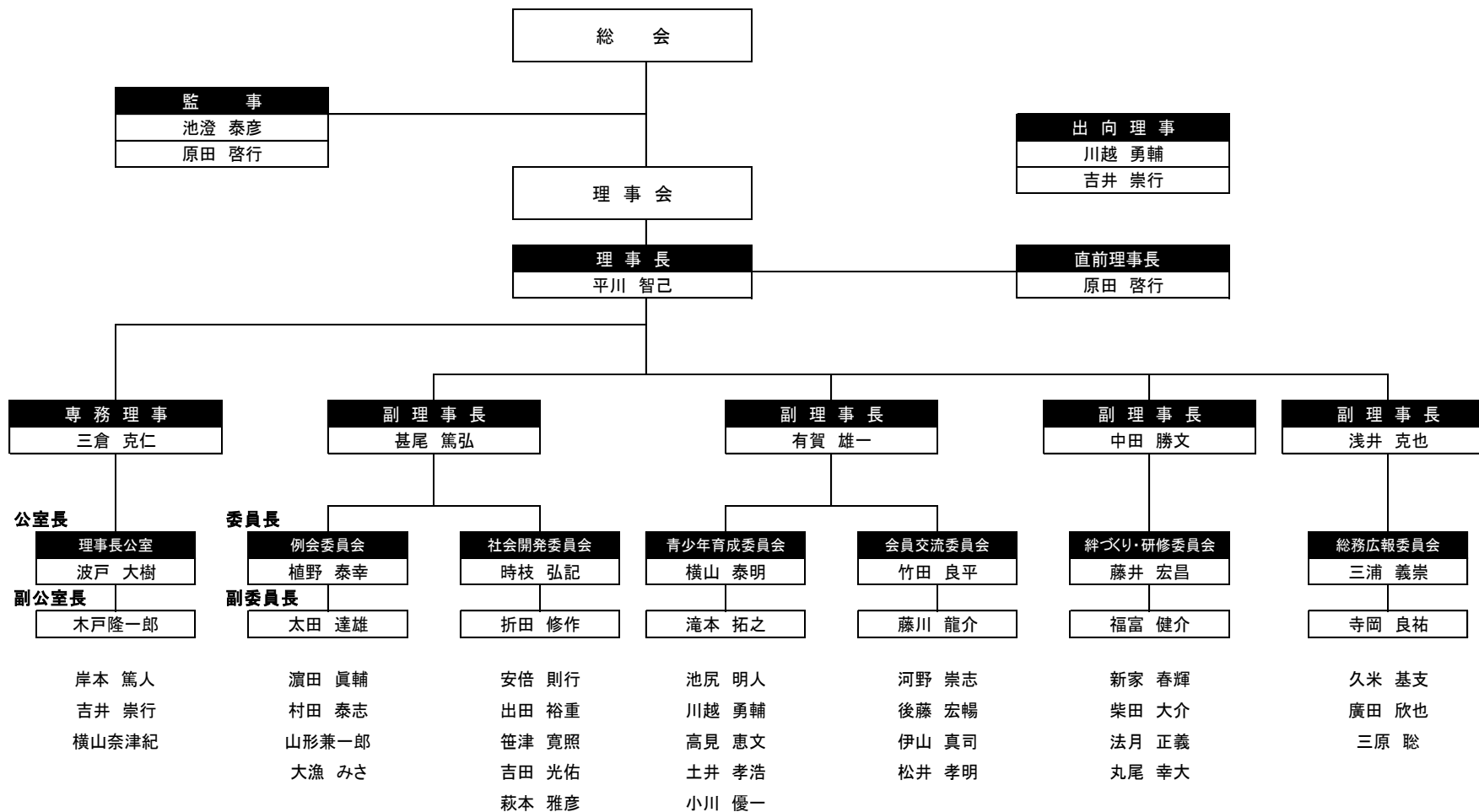
公益社団法人日本青年会議所 近畿地区協議会

出 向 先	役 職	出向者氏名
地域活力推進委員会	委 員	川越 勇輔

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

出 向 先	役 職	出向者氏名
	書 記	藤川 龍介
日本JC連携推進会議	委 員	中田 勝文
兵庫未来創造委員会	委 員	横山 泰明
兵庫アカデミー委員会	委 員	竹田 良平
兵庫アカデミー委員会	委 員	滝本 拓之
兵庫アカデミー委員会	委 員	折田 修作
JC運動発信委員会	委 員	三浦 義崇
ブロック大会運営委員会	委 員	藤井 宏昌
財務規則審査会議	委 員	植野 泰彦

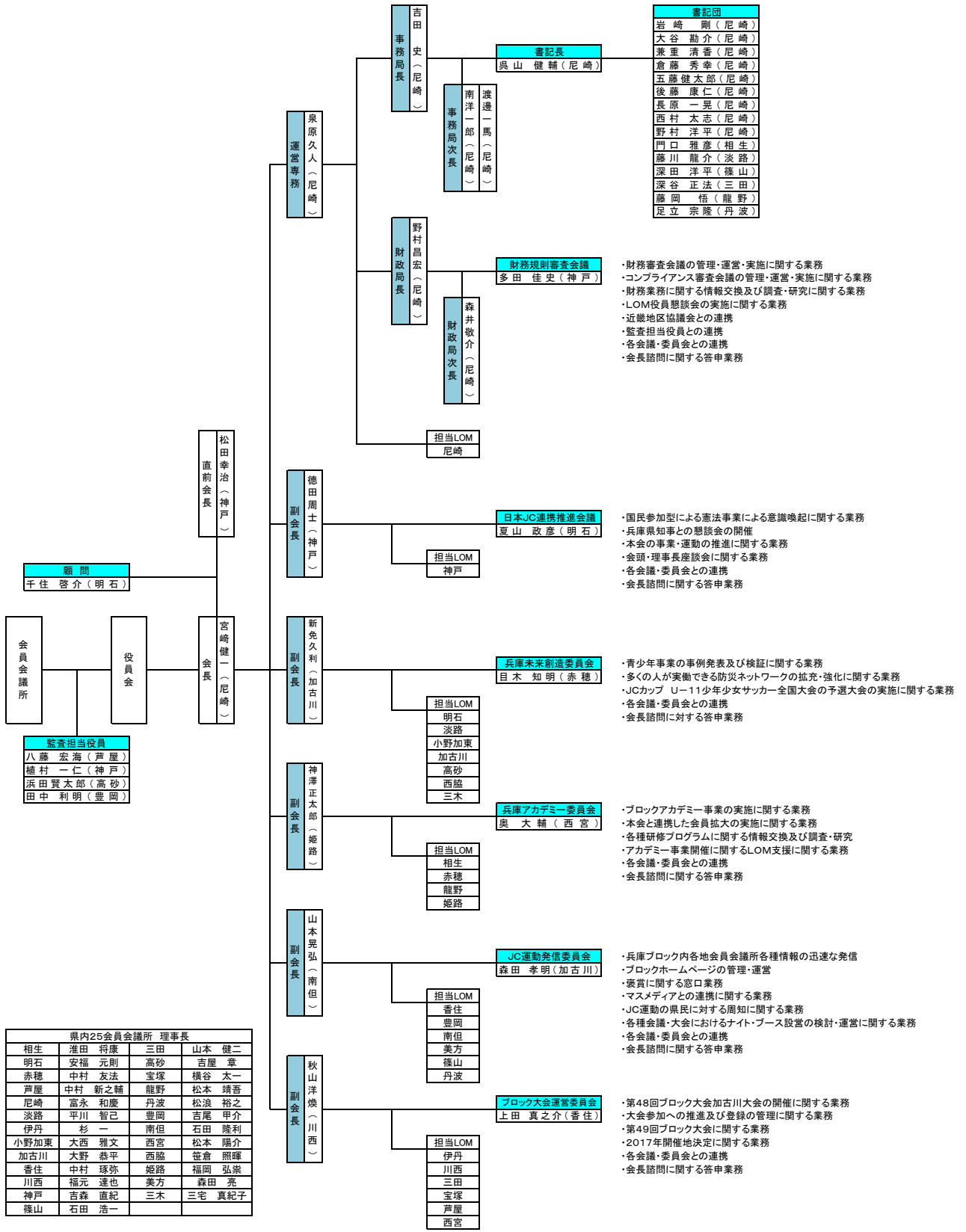
11. 組織及び委員会構成



12. 年間スケジュール

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
例 会	14日(水)	10日(火)	11日(水)	8日(水)	13日(水)	10日(水)	9日(水)	9日(水)	9日(水)	14日(水)	11日(水)	9日(水)	
	1月例会 17:30-20:00 伊弉諾神宮	2月例会 18:30-21:00 ホテルニューアワジ	3月例会 18:30-21:00 洲本市文化体育館	4月例会 18:30-21:00 洲本市文化体育館	5月例会 18:30-21:00 洲本市文化体育館	6月例会 18:30-21:00 洲本市文化体育館	7月例会 18:30-20:30 洲本市文化体育館	8月例会 18:30-20:00 洲本市文化体育館	9月例会 18:30-21:00 洲本市文化体育館	10月例会 18:30-21:00 洲本市文化体育館	11月例会 18:30-21:00 洲本市文化体育館	12月例会 17:30-20:00 茨城県観光ホテル	
総 会	14日(水) 第5回定時総会								9日(水) 臨時総会				9日(土) 第5回定時総会
理 事 会	7日(水) 17:30-19:30 伊弉諾 茨城県	4日(水) 19:00-21:30 伊弉諾 茨城県	4日(水) 19:00-21:30 伊弉諾 茨城県	1日(水) 19:00-21:30 伊弉諾 茨城県	8日(水) 19:00-21:30 伊弉諾 茨城県	5日(水) 19:00-21:30 伊弉諾 茨城県	3日(水) 19:00-21:30 伊弉諾 茨城県	1日(水) 19:00-21:30 伊弉諾 茨城県	7月29日(水) 19:00-21:30 伊弉諾 茨城県	2日(水) 19:00-21:30 伊弉諾 茨城県	7日(水) 19:00-21:30 伊弉諾 茨城県	4日(水) 19:00-21:30 伊弉諾 茨城県	2日(水) 19:00-21:30 伊弉諾 茨城県
三 役 会	28日(月)	23日(月)	23日(月)	27日(月)	25日(月)	22日(月)	21日(火)	24日(月)	23日(月)	25日(月)	24日(火)	21日(月)	
日本青年会館所	京都会議 22日(水)-25日(日)							サマーコンヴェンション(鎌倉) 18日(土)-19日(日)		全国職員大会(八戸) 24日(水)-27日(日)			
JCI関係							A3FAC 11日(水)-14日(日)					JCI世界会議(金沢) 3日(火)-5日(日)	
近 畿 区	会員会館所会議												
	地区事業							近畿地区大会(草津)					
兵庫ブロック 地区協議会	会員会館所会議		9日(日)神戸	21日(土)西宮	25日(土)川西		27日(土)和古川	10日(土)尼崎			24日(土)姫路	23日(月)祝神戸	
	正副会長会議	17日(土)西宮		8日(日)赤穂	11日(土)高砂	23日(土)明石	13日(土)芦屋	10日(土)尼崎	9日(土)和古川	10日(土)豊崎	14日(土)倉吉	12日(土)姫路	
	役員会議	17日(土)西宮		8日(日)赤穂	11日(土)高砂	23日(土)明石	13日(土)芦屋	10日(土)尼崎	9日(土)和古川	10日(土)豊崎	14日(土)倉吉	12日(土)姫路	
	合同役員長会議		9日(日)神戸										
	LOM役員懇談会		開始 ←						→ 終了				
その他事業		北方編士の日 行巻の日	県議会議員との懇談会 ※要招待			審決事業			ブロック大会(和古川) 30日(日)	知事懇談会			
兵庫ブロック内 各地周年記念式典						高砂55周年 赤穂55周年 宝塚50周年 未定	西宮55周年 20日(土)						
神戸十 団協議会	理事長公室		会員名簿	前期入会挨拶者説明会						後期入会挨拶者説明会			
	例会	1月例会			4月例会		6月例会		8月例会	9月例会			
	社会開発							社会開発事業				12月例会	
	青少年育成					第21回 和んぼの樹旗決闘場所			青少年育成事業		10月例会		
	会員交流	新年会				5月例会			決闘場まつりおどり大会				
	絆づくり・研修		2月例会				絆づくり事業				11月例会		
	報務伝報	ホームページ作成 定時総会設置	総会資料作成 兵庫ブロック LOM役員懇談会	3月例会				7月例会	臨時総会設置				定時総会設置

13. 日本JC近畿地区兵庫ブロック協議会組織図





Awaji Island